

令和2年度事業報告書

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

1. 令和2年度 京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」
資料①「平成30(2019)年～令和2(2020)年度 相談支援実績」
資料②「令和2年度 京都市精神障害者地域移行促進事業(委託)実績」
資料③「令和2年度 相談支援事例」
資料④「平成30(2019)年度～令和2(2020)年度 なごやかサロン 実績」
資料⑤「令和2(2020)年度 なごやかサロン グループワーク活動一覧」
資料⑥「苦情対応」
資料⑦「実習、ネットワーク、研修」
資料⑧「令和2(2020)年度 委託相談支援実績報告件数」
資料⑨「職員体制」
資料⑩「令和2(2020)年度 個人情報管理状況報告書」
2. 京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
 - (1) 相談支援事業実績報告書
 - (2) 相談概要報告書
 - (3) こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」事業実績報告
3. 京都市精神障害者地域移行・地域定着支援事業
 - (1) 実績報告書
 - (2) 収支計算報告書
4. 令和2年度 決算報告書(財務諸表) ※別紙添付資料「決算報告書」
5. 令和2年度 職員一覧(令和2年度4月1日現在)
6. 具体的な内容事項 資料
 - (1) ア 定員・在籍者数・施設稼働率について ※別紙添付資料①④
 - イ 職員配置数 ※別紙添付資料⑨、資料5
 - ウ 利用者満足度の把握状況 ※別紙添付資料④⑤⑥
 - (2) 令和2年度決算報告書(財務諸表)(4.に同じ)
 - (3) 「指定管理業務のみに係る決算状況(収支状況)が分かる書類」※別紙添付資料「決算報告書」なごやかP44～50・京都市朱雀工房P52～57
 - (4) 事故報告 ※無し

令和2年度 京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」 事業報告（案）

1. 概要

「なごやか」は令和2年度より育休から復職した職員を含め相談員7名（相談支援専門員7名、うち1名はサロンとの兼務）体制となり、「なごやかサロン」は専任職員1名、兼務職員1名、サポートスタッフ5名で、常時2名での見守り体制となっている。

“京都市障害者地域生活支援センター運営事業（相談支援事業）”における実績は、相談者実数249名（うち新規91名、継続158名）（前年度248名）、相談延件数（利用者、家族）は合計3,667名（うち電話2,153件、来所198件、訪問1,011件、その他305件）（昨年度3,256件）、相談延件数（関係機関）は合計5,458件（昨年度4,057件）、ケア会議参加件数95件（昨年度147件）、ケアプラン作成件数54件（昨年度57件）、セルフプラン作成補助件数10件（昨年度9件）、計画相談支援契約者数は63名（うち障害児相談支援契約者数2名）（令和3年3月末現在）である。モニタリング期間別には毎月50名、3箇月10名、6箇月2名（うち障害児相談支援契約者は毎月2名）。請求金額合計は7,714,652円（月平均612,888円）（令和元年度 合計7,327,108円 月平均610,592円）。特徴として、①令和元年度落ち込んだ相談件数は、例年通りの同水準となった。実績に反映される記録作成を意識したことや育休職員の復職による職員体制の影響であると考えられる。②指定をとって以降、初めて障害児相談支援の契約を結び、支援を実施している。③新型コロナウイルス感染症の影響でケース会議への参加回数は半減しているが、会議の代替手段として郵送やFAXなどにより関係機関との情報共有を行なった、ことが挙げられる。

“京都市精神障害者地域移行促進事業”においては、実務者会議の実施を行いケース検討及び地域移行に係る事業等の検討を行った。しかし令和元年度に比べ新型コロナウイルス感染症の影響を受け開催回数は減り、会議の延期や書面開催、ZOOMでの実施など形を変え実施を行うこともあった。普及啓発活動についても同様に活動がほとんどなくなり、一部ZOOMを使つての活動を行った。ピアサポーターの活動も講演活動は激減し、ZOOMを使った病棟の相談会や、WEBを活用しての普及啓発活動を行った。

“こころのふれあい交流サロン”は、基礎事業であるサロン運営を専任職員1名とサポートスタッフ5名の常時2名体制で行った。機能強化事業は、専任職員1名と兼務職員1名とで、4か所から7か所への派遣先拡大に対応した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/9～5/31までの約2か月間、京都市からの指示でサロンを閉所した。市内13か所のサロンが全て閉所となり、派遣相談も休止となった。閉所期間中も京都市からの指示で専任スタッフは通常勤務、サポートスタッフは曜日限定、時間短縮の勤務とした。閉所期間中の業務は、電話や知らずに来られた方への対応、室内消毒を行った。また、サロン職員全員に個人情報管理における業務指導を行う機会も作った。京都市の指示に沿って、「手洗い」「咳エチケット」「体調確認」「換気」「共有備品を限りなく少なくし、定期的に消毒」「卓上アクリル板設置（朱雀工房における取組みの共有）」等の感染防止策を講じ、6/1～再開した。

2. 達成状況

（1）相談支援事業（委託相談・計画相談支援・障害児相談支援）

① 質の高い相談支援の実施

ケース報告・検討を行う“相談支援ミーティング（月4回）”と事業運営面の報

告・検討を行う“事業運営ミーティング（月2回以上）”を継続し、新規依頼ケースの検討や各事業、各相談員の相談支援担当ケースの共有化を図った。また、ケース対応やフォローの仕組みとして、初回面談や一部のケースで複数職員による担当制をとり、担当職員の抱え込みによるバーンアウトを防ぐ取り組みを継続した。課題としては、新規ケースの対応に追われ、継続ケースの共有・検討が不十分であった点が挙げられる。

令和2年度は6月・9月・3月の計3回職員間グループワークを行い、職員が持ち回りで各々が設定したテーマ（手話、地域移行支援、災害支援や家族支援等の研修）をもとに話をして、知識や支援方法の共有を図った。

また、10月には15支援センターを対象とした合同研修会を主催した。テーマは「支援センターの業務特性理解、意見交換、業務に生かせる方法を模索する」とし、5つのグループに分かれて話し合いを行った。当日29名の参加者、アンケート結果では「他支援センターの話聞いて良かった。」等概ね満足いただけた内容であった。

② 個人情報管理の改善

個人情報の漏えい、滅失、き損等することがないように、京都市から求められている個人情報管理項目について適正な管理に努めた。特に“個人情報に記載された書類等の外部への持ち出しに関する厳正な取り扱い”や“業務用携帯や電子媒体の紛失防止のための取り組み”については管理簿にて持出のチェックを行う仕組みを導入した他、育休明けの職員に対して個別のレクチャーを行うなど、職員間で規程や管理マニュアルの周知を行い、情報流失や紛失防止に向けた取り組みを行った。

③ 地域協議会や各ネットワークへの参加

4～5月にかけて中部自立支援協議会や各ネットワークなどの開催が一部延期されたが、6月以降は順次集まりが再開され、参加する会議やネットワークについては担当制をとり、スタッフミーティングでの報告や記録回覧等で速やかに共有化を図った。また、参加方法についてはZOOMによるオンラインでの会議開催や出席が増えたことが挙げられる。

④ 障害支援区分認定調査

市からの委託を受けた7件全ての認定調査を実施し、市への提出を行った。

⑤ 新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けた取り組み

日常的な消毒作業、非接触体温計や防護のための備品の調達、ビニールでの仕切りの設置などの環境整備を行った。京都市の「介護サービス事業所施設」でのガイドライン等を参考に対応策について検討を行った。また、京都府の緊急包括支援事業にて感染防止のための備品（防護服、消毒用アルコールなど）を購入した。

(2) 京都市精神障害者地域移行促進事業（委託） ※（）内昨年度数

① 京都市地域移行促進事業実務者会議の実施

全9回の実施を行い、その内書面開催とZOOMでの開催を1回ずつ、家族会やピアサポーターを含めた事業内容検討会議も書面開催での実施を行い、13機関（延べ125名）の参加があった。ケースについては21名（27名）の方の検討共有を行いその内11名（21名）の方の地域移行を実施し5名（14名）の退院者を出すことができた。退院者については令和元年度左京区が多かったが、令和2年度の支援事業所が中京に多くあった為中京区への退院の方が過半数になっている。しかし新型コロナウイルスの影響で病院訪問ができないことや病院からも対象者を上げにくい状

況もあり令和元年度よりも少ない数となっている。

また地域移行促進に係る取り組みとしては2つのワーキングに分かれ検討を行い、病院からの相談がよりしやすくなるよう相談票の改定と前年度作成したパンフレットの活用アンケートを実施し、病院での地域移行の実態調査を行った。

② ピアサポーターによる活動と育成・養成

ピアサポートの活動としては、新型コロナウイルス感染症の影響の為、定期訪問していた第2北山病院の活動が中止になったり、講演等の依頼がなくなったりしたことで活動は大幅に縮小し、実施回数25回(73回)、参加者数784名(1889名)となった。しかしいわくら病院での活動が中心となってZOOMを活用した病棟患者との相談会の実施や、WEBを活用したぴあHappiness通信の作成をすることで普及啓発活動を実施した。

③ 地域移行促進事業の普及啓発及び推進の為の取り組み

普及啓発の活動については同様に令和元年度に比べ縮小し21回(40回)実施し738名(1198名)の方に対して実施を行った。研修や人の集まる場所での実施はなくなりZOOMでの会議等での実施が増えた。

また研修会の実施を行い、和歌山での地域移行の取り組みについて講師の方にZOOMでの出演をしていただきお話しいただき、その後京都市の取り組みとして事業の説明や相談支援事業所や病院、支援センターから現場の取り組みについてのご報告をしていただき45名の参加者での共有を図った。

(3) 地域相談(指定一般相談支援事業)

5名の地域移行支援を3名の職員での実施を行い、請求金額合計は747,515円。支援したうち3名が退院。1名は令和2年度も継続しての支援。1名は入院継続となった。退院した利用者のうち2名はその後計画相談支援を継続している。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で新規の相談が減少し、もともとなごやかを利用しての方や、地域移行支援事業を再利用することになった方が2名。あとは地域移行促進事業でつながりのある病院より相談をいただいたケース2名となっている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で病院からの外出・外泊支援が制限され、実際に十分な地域生活の体験ができないまま退院となるケースが多くあった。退院後の支援者のフォローが手厚く行われたにも関わらず、退院しているために報酬に反映されていないケースもある。

支援としては病院近くの外出、物件探し、必要品の購入、サービスの調整など、感染状況に応じて病院と連携しながら行われている。

(4) こころのふれあい交流サロン(委託)

① 基礎事業

1日の平均来所者数は、令和元年度と比較して-1.2名の7.1名。サロンは12席ほどが設置されており、10名程度では密集状況を避けることができた。日常的に将棋やオセロ、囲碁等での利用者間交流や、設置しているパソコンでのインターネット利用が活発である。行事では合唱団グラス練習や茶話会等、感染リスクのある活動を休止したため、令和元年度と比較して活動回数は半減し、平均参加者数も-0.7名の3.4名となった。飲食を伴わない活動としてハロウィンイベントやクリスマス会(クイズ、楽器演奏など)は実施したが、参加者が多くニーズを感じた。ひまわりの会(当事者会)について、これまで中心的に役割を担ってこられた利用者から20周年の記念行事開催の提案をいただいたが、ひまわりの会の位置づけや「なごやかサロン」の行事の範囲内で実施することへの折り合いがつかず、具体的な形には至っていない。当事者会はその時集まった利用希望者で継続している。

サロン利用時の個別支援として、希望者への定期、不定期の来所面接に対応した。また、一定期間であるが若年性認知症の方の利用を受け入れ、食事やトイレの見守りなどの個別対応を行った。サロンの利用者が亡くなられたことについて他利用者からの問い合わせにどう対応すべきか職員間で協議した。伝える・伝えないのそれぞれのリスクを整理し、「個人のことは伝えることができない」との理由や態度で対応することになった。今後伝えないことでの課題が生じた際には再検討することにした。

管理運営面では、施設周辺におけるタバコのポイ捨て問題が断続的にあり、当該利用者に何度も理解や協力を求めた。また、利用者間交流の中で「宗教色の強い話があり迷惑」との苦情があったため、それぞれの利用者へ話をした。サロンに設置している意見箱には2通の投書があり、内容は個人的な悩みや当事者会の望ましい在り方に対する要望であった。それぞれの投書に対して掲示にて返答を行っている。閉所期間中、サロン職員へ個人情報管理についての業務指導を行っているが、電話対応や日報・利用者名簿の取扱いへの意識を高め、事故対応への理解を深める機会になった。

② 機能強化事業

「なごみ（左京）」「はんなり（上京）」「るまん（山科）」「つばさ（伏見）」の4か所は専任職員が引き続き担当し、新たに派遣先として加わった「円町（中京）」「ふう（下京）」「ふらっとすべえす（東山）」の3か所は、兼務職員1名が担当し、それぞれ月2回の派遣相談を実施した。1回の平均派遣相談件数は、令和元年度と比較して-0.32名の0.87名である。相談件数が下がった要因として、派遣先サロンの利用者数が全体的に減少していることが考えられる。派遣先サロンごと相談件数には大きく開きがある。

3. 中長期に向けた重点的取り組み

(1) 事業運営

京都市から求められる支援センターの役割を踏まえ、障害種別を問わず多様なニーズに応えるための相談体制の構築を行った。具体的には自発的に制度や福祉サービスにつながりにくい方、虐待や引きこもりにより支援の必要性が高いケースへの対応などが求められており、行政などの関係機関と連携しながら対応を行った。課題としては、新規依頼を受けるための相談体制の構築に向けて継続ケースの見直しが不可欠であるが、令和2年度はその検討が不十分であった。

(2) 職員の育成と定着

4月に職員全員に対してヒアリングを実施し、令和元年度の振り返りと令和2年度の目標を確認したが、研修計画の策定には至っていない。また、外部・法人内を含め研修の実施が見送られたため、研修を受ける機会が激減した。

サロン専任職員に対しては、主に実績報告集計の事務負担を軽減した。サロン見守りの常時2名体制が作れたため、法人内研修は受講しやすい状況となった。

(3) 地域交流・地域貢献

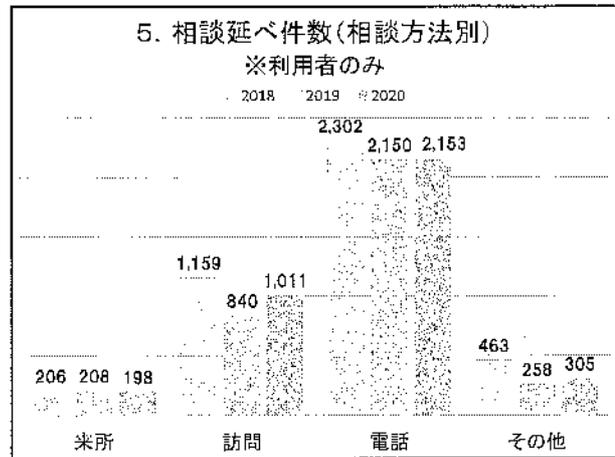
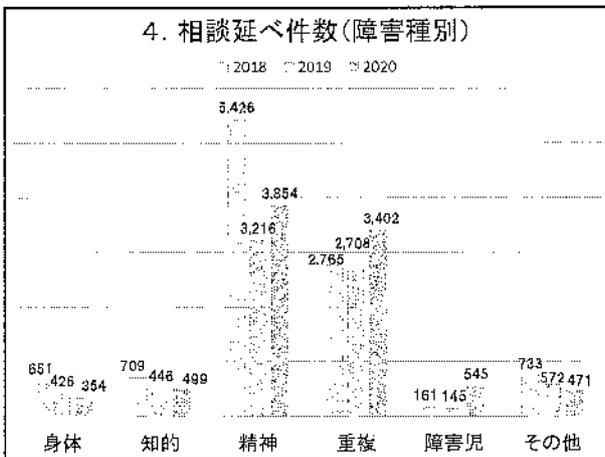
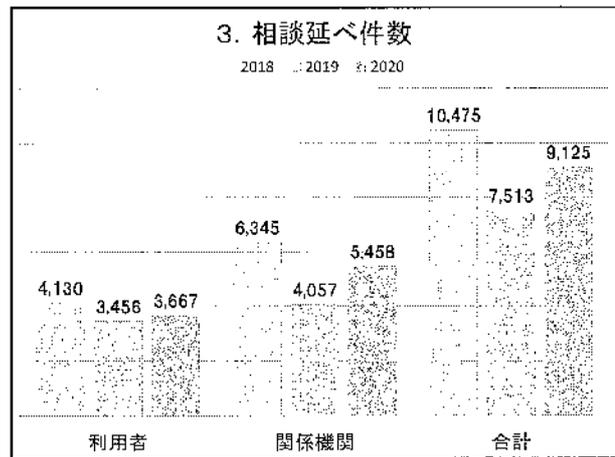
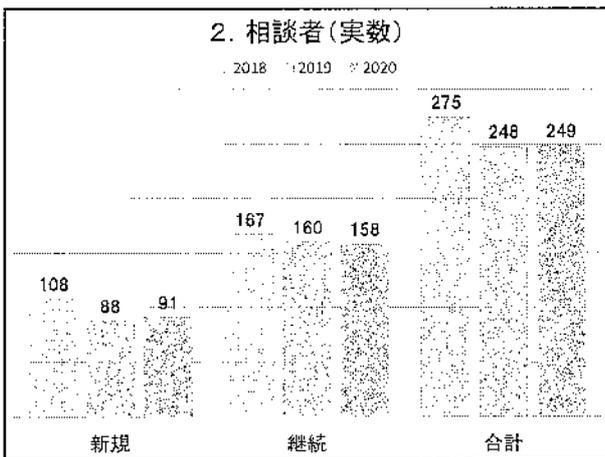
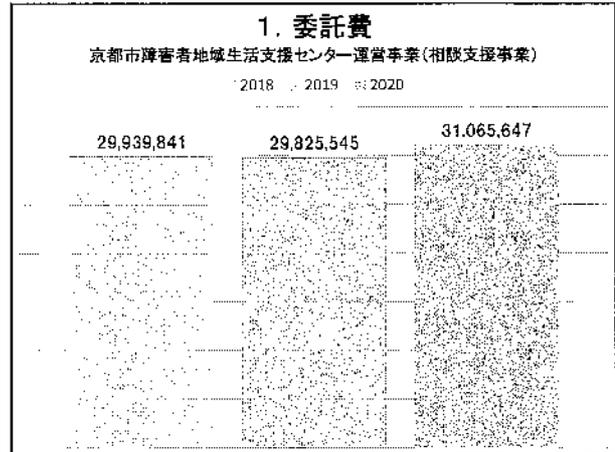
上半期は新型コロナウイルス感染症の影響で外部の会議や研修等の延期や中止が相次いだ他、例年参加している地域の活動等が中止となったが、下半期からは再開されたネットワーク会議等への参加、大学や相談支援従事者初任者研修等への講師派遣を行った。

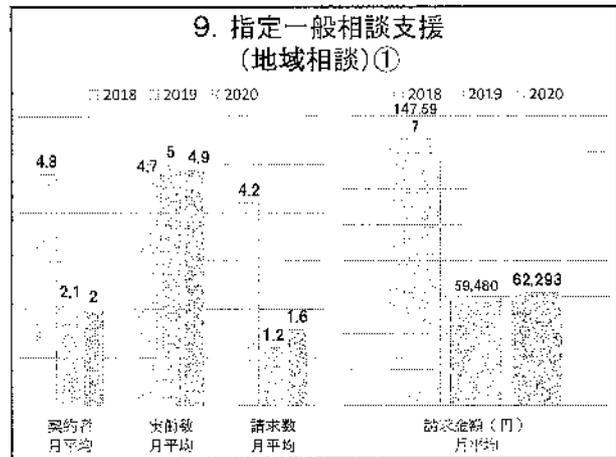
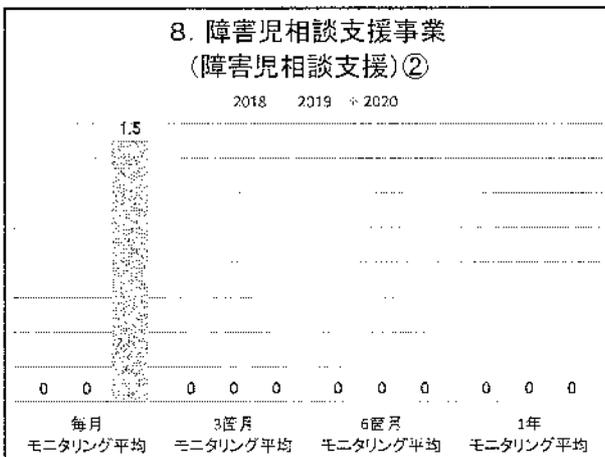
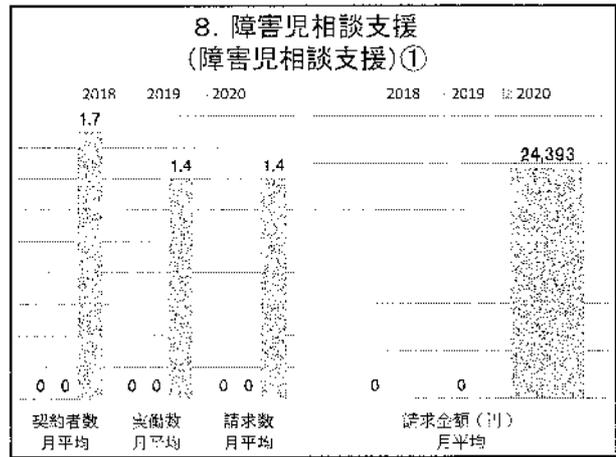
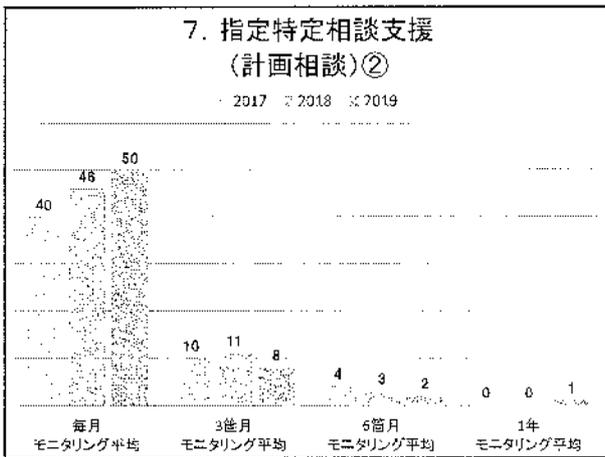
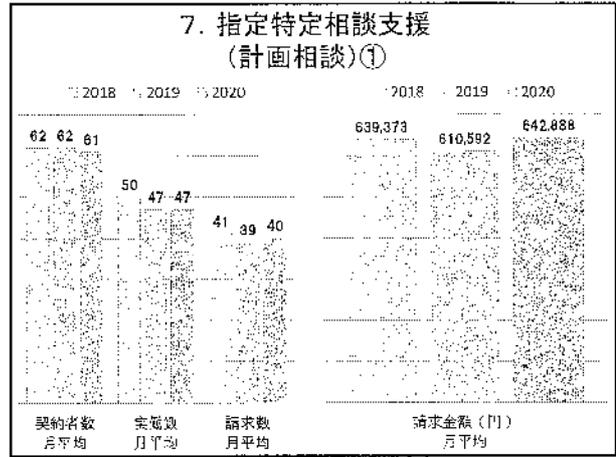
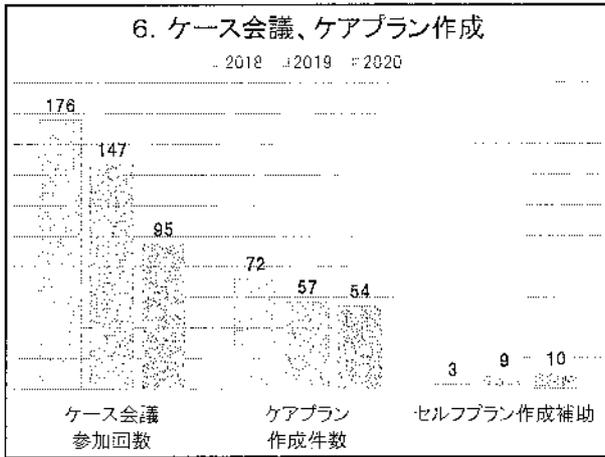
『相談支援 実績』

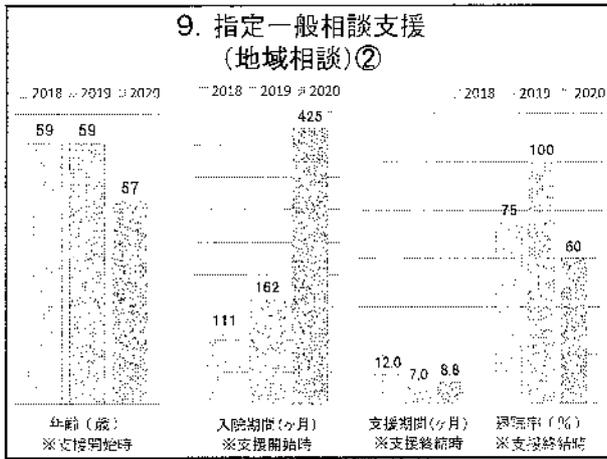
- ・京都市障害者地域生活支援センター運営事業（相談支援事業※委託）
- ・指定特定相談支援事業（計画相談）
- ・指定障害児相談支援事業（障害児相談）
- ・指定一般相談支援事業（地域相談）

※京都市内の15支援センターで数値比較されているもの

京都市中部障害者地域生活支援センター
「なごやか」







『京都市精神障害者地域移行 促進事業（委託）実績』

京都市中部障害者地域生活支援センター
「なごやか」

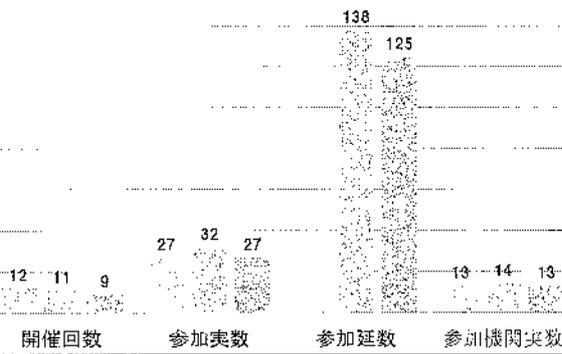
委託費

2018 2019 2020

3,958,000 4,021,450 3,715,800

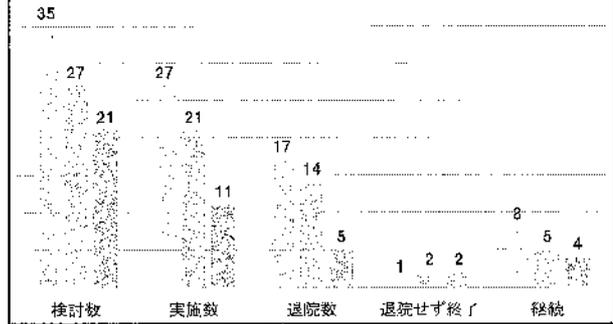
実務者会議

2018 2019 2020



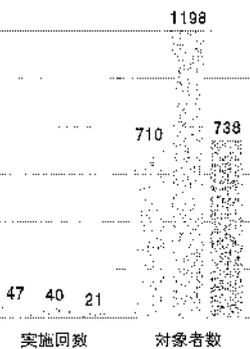
京都市全体の地域移行支援実施状況 ※実務者会議において把握している内容

2018 2019 2020



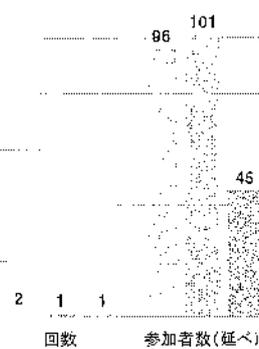
普及啓発

2018 2019 2020



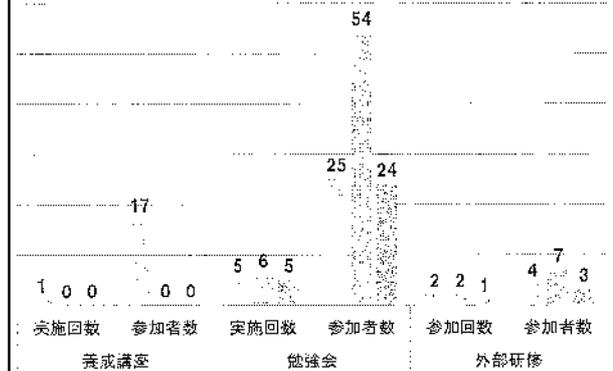
研修会

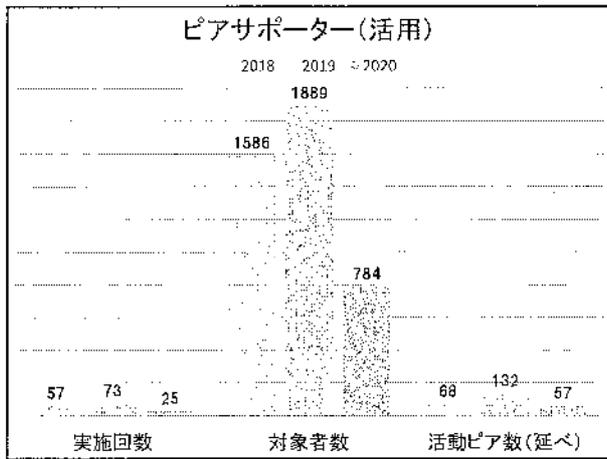
2018 2019 2020



ピアサポーター(育成)

2018 2019 2020





『相談支援 事例』

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

◇事例1.

<p>虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース</p> <p>タイトル： 家庭内のトラブル</p> <p>性別： 女性 年代： 20代</p> <p>概要： 母、義父から「こだわりが強く、他の家族(引きこもりの実兄、義妹)とトラブルになっている。どう関わったらよいか？」との相談。母や義理父の本人に対するかかわりについて助言(周囲が本人の特性を理解して接するとともに、お互いに折り合い点を見つけられるように対話を続けること。本人が母の関わりを強く求めていることにはできる限り応じ、本人が満たされる機会を得ること大事にする等)し、情報提供(本人の求めがあった時に母や義理父から発達障害者支援センターや医療機関につなげることができるよう)を行った。</p>
--

◇事例2.

<p>虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース</p> <p>タイトル： 福祉事業所に不信感が強く、B型事業所等の調整困難</p> <p>性別： 男性 年齢： 40代</p> <p>概要： 保護観察所から「一般就労を希望されているがうまくいかず、福祉的就労等の相談も含めた地域の相談窓口になってもらいたい」との依頼。本人と面談を重ねるも、過去の出来事から福祉関係者・福祉事業所に対する怒りや不信感根強く、本人の意向が定まらないまま、本人や関係者を含めた定期面談を継続している。</p>
--

◇事例3.

<p>虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース</p> <p>タイトル： 家族からの適切ではない金銭管理の問題により、単身生活開始</p> <p>性別： 男性 年齢： 50代</p> <p>概要： 障害保健福祉課から計画相談支援の依頼。家族とともに生活していたが、家族からの適切ではない金銭管理の影響もあり、家族への暴言・暴力行為があり、高齢者虐待の加害者となってしまった(本人が経済的虐待の被害者という認定はなし)。家族が家を出て、本人が現住居で単身生活を開始することになったが、金銭管理の課題が大きく、B型事業所や訪問看護、区社協との連携や、家族間調整が必要となった。生活支援について本人が拒否的である中で、関係者とともに本人の意向を確認するための訪問を行った。</p>

◇事例4.

<p>虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース</p> <p>タイトル： 家族からの金銭搾取、ネグレクトを受け、単身生活開始。新たなサービスの導入や調整役の不在</p> <p>性別： 男性 年齢： 50代</p> <p>概要： 家族の不適切な関わりによって餓死寸前で支援につながっている(虐待認定なし)。保佐人より、「支援機関は多いが、各機関がそれぞれで動かれていて、調整役がおらず全体が把握できない。計画相談を担ってもらうことはできないか？」との相談。現状確認(本人への不利益、本人の困り事)、各機関の役割や責任、相談支援導入の流れ等整理している。その結果、改めて障害保健福祉課から依頼があり、計画相談支援を開始している。</p>
--

◇事例5.

<p>虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース</p> <p>タイトル： 迷惑行為によりマンションから退去勧告</p> <p>性別： 男性 年齢： 50代</p> <p>概要： 家族から「単身生活をしている兄がマンションから退去勧告を受けている。これまでも同じことを繰り返しており、どうしたらよいものか？」との相談。日常的ではないが、マンション内の音や声に過敏さがあるようで大声を出されたり、他室のドアを蹴る、怒鳴る等の行為があった様子。法律相談で助言をもらった内容を整理し、転居に向けて居住支援法人と連携し、他区での単身生活を開始するための援助を行った。</p>
--

◇事例6.

虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース
 タイトル： 福祉サービス・通院が継続しない
 性別： 女性 年代： 20代
 概要： 家族と同居していたが、家族負担が大きく、入院を経て単身生活を開始することとなった。これまで家族が家事など生活全般を支えてきた面が大きく、本人が納得した上での単身生活でもなかったため、しんどさを抱えている。外出や人への恐怖、自分自身への否定的感覚、様々な場面での強いこだわりあり。居宅介護利用をするも「自分の特性を理解してくれない。」と衝突あり、定着しない。医療でも、通院に対するしんどさや「自分のことをわかってくれない。」という思いが大きく、中断。限られた支援者のみの関わりとなっている。

◇事例7.

虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース
 タイトル： 過去の触法行為を伏せ、B型事業所への通所を進めたい
 性別： 女性 年代： 50代
 概要： 区社協から福祉的就労を含めた相談機関としての役割について依頼がある。本人との面談を重ね、一般就労を目指しつつ、まずはB型事業所等福祉的就労を検討していくことになり、当センターで事業所調整や見学等同行支援を担った。過去の触法行為については、偏見を受けるのが怖いのでオープンにしたいという本人意向が強く、当初当センターにおいても、詳しい聞き取りはできず葛藤があった。所内・関係機関との協議の結果、B型事業所が求める情報が通所や支援に必要な事柄であるかどうか確認した上で、原則個人情報本人の同意を得て行う方針で関わりを継続していくことになった。

◇事例8.

虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース
 タイトル： 他利用者とのトラブルや訴えが多く、福祉サービスにつながりにくい方
 性別： 男性 年齢： 30代
 概要： これまで複数の就労支援継続事業を利用されてきたが、職員や他の利用者とのトラブルや事業所への不満等訴えが多く、利用継続が難しかった。障害特性により、相手の言葉を理解することの難しさがベースにあると思われる。改めて当法人の事業所を利用されるにあたり計画相談の依頼を受けたが、近隣への不満から急遽転居をされることとなり、支援中断となっている。

◇事例9.

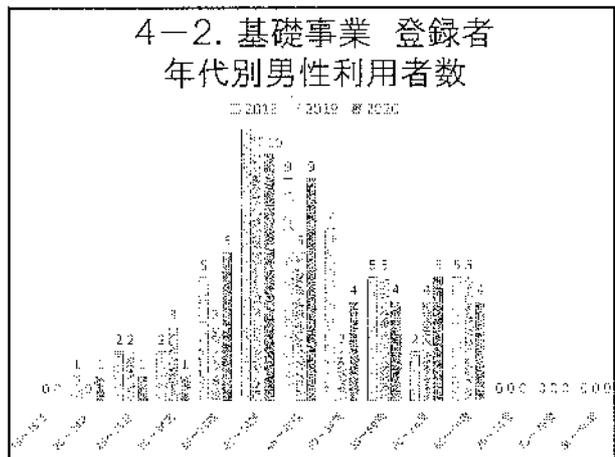
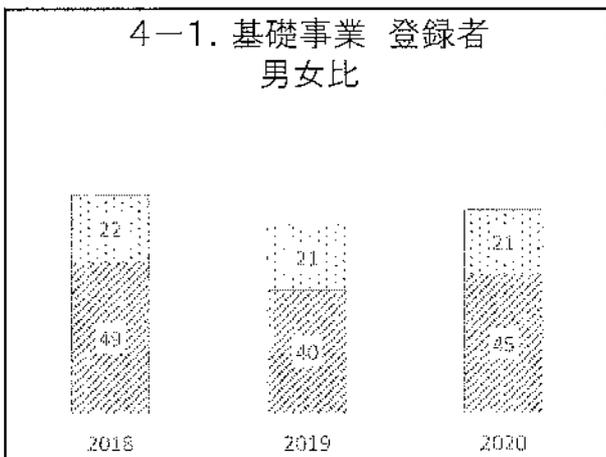
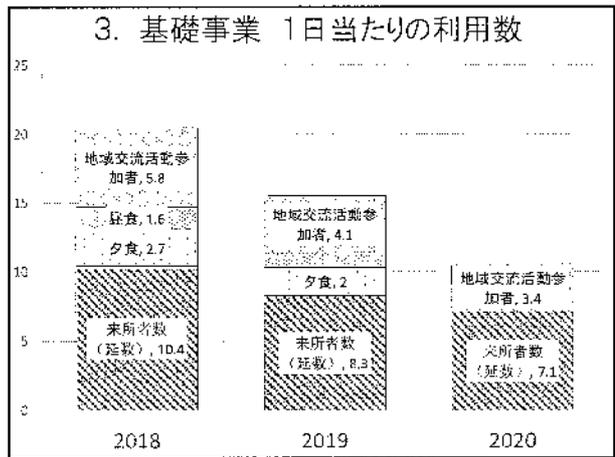
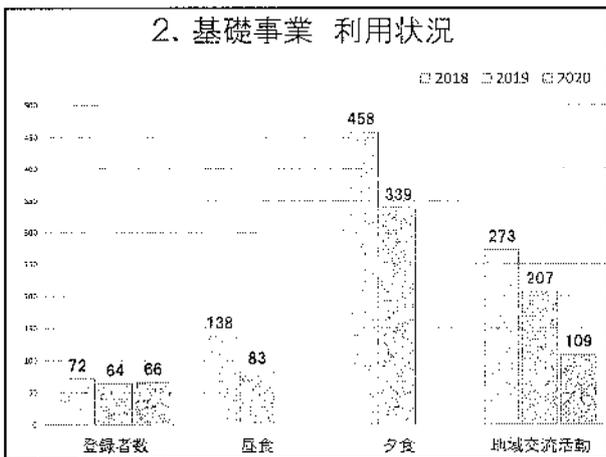
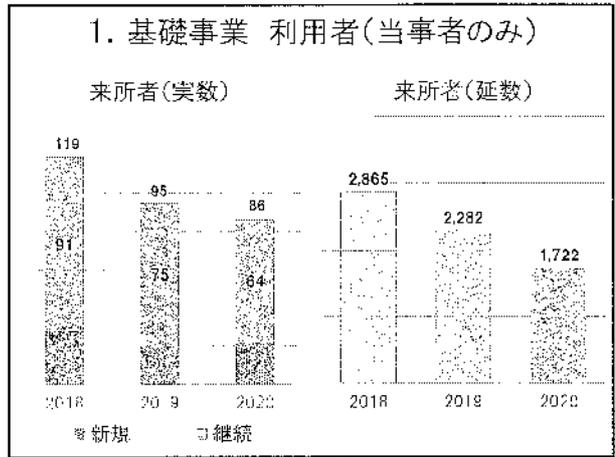
虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース
 タイトル： 透析治療が中断しがちで、臨時受診や救急搬送が繰り返されている
 性別： 男性 年代： 50代
 概要： 障害福祉サービスでのヘルパー利用と介護保険を併用し、地域生活のサポートを行っている。本人の気持ちの変動で透析通院を拒否されるため、体調が悪化し救急搬送をされることが何回もあった。怠薬や食事管理の危うさから、徐々に症状が悪化している。何度も電話や訪問等で本人へ説明するが、通院再開は一時的なものになっている。

◇事例10.

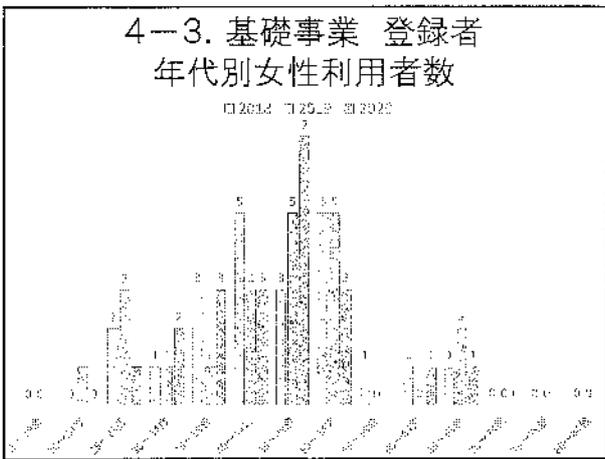
虐待ケース ・ 触法ケース ・ サービス利用に至っていないケース ・ その他困難ケース
 タイトル： 長期入院からの退院であるが、コロナ禍で入院中の支援が限定的となった
 性別： 男性 年齢： 60代
 概要： 精神科病院で30年の入院をされていたが、本人がGHへの退院を希望され、地域移行支援を行った。コロナ禍で、B型事業所等の体験利用等ができず、退院後の支援で丁寧なアセスメントが求められた。当センターとしては計画相談として、他機関と連携しながら支援を行っている。

『こころのふれあい交流サロン 実績』

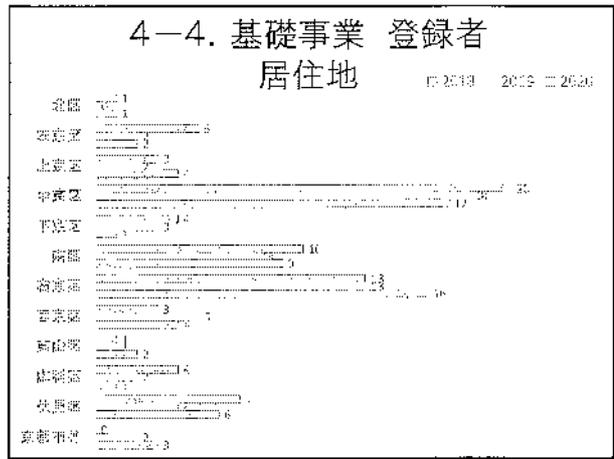
こころのふれあい交流サロン
「なごやかサロン」



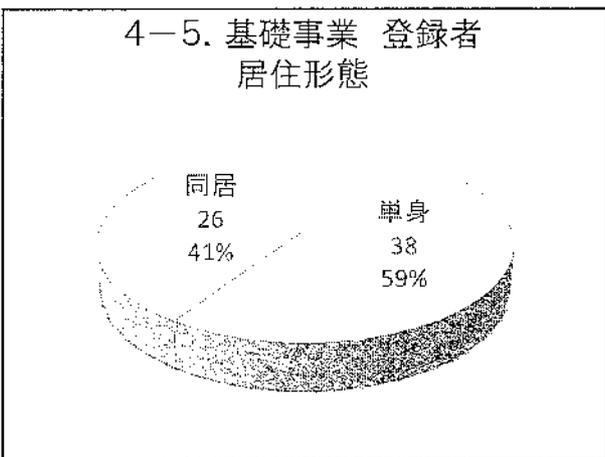
4-3. 基礎事業 登録者
年代別女性利用者数



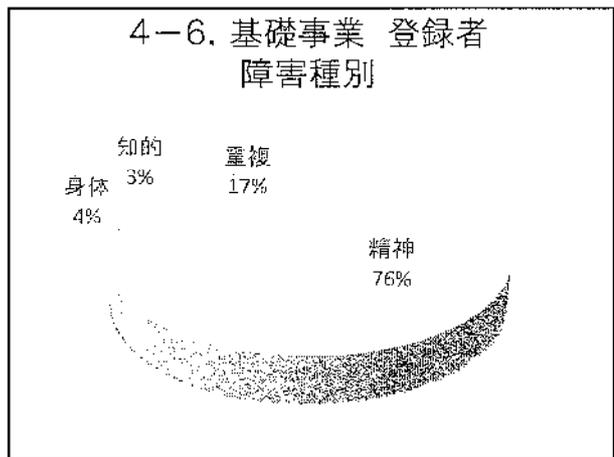
4-4. 基礎事業 登録者
居住地



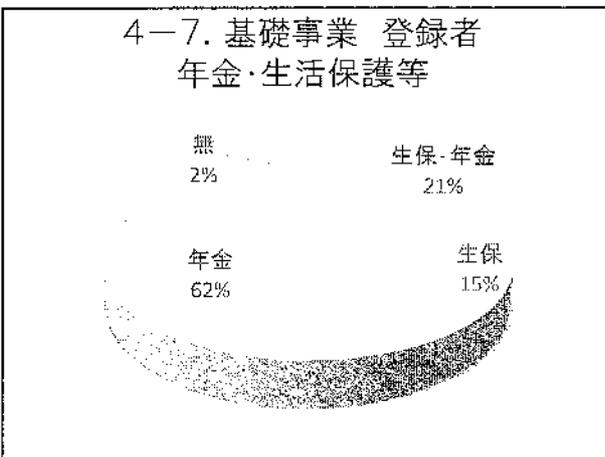
4-5. 基礎事業 登録者
居住形態



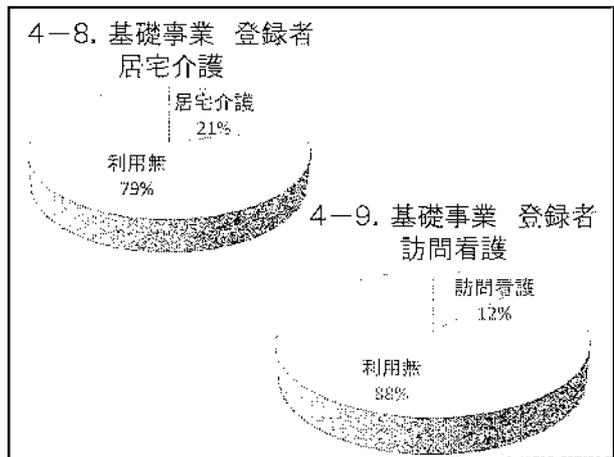
4-6. 基礎事業 登録者
障害種別



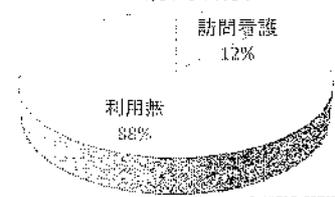
4-7. 基礎事業 登録者
年金・生活保護等

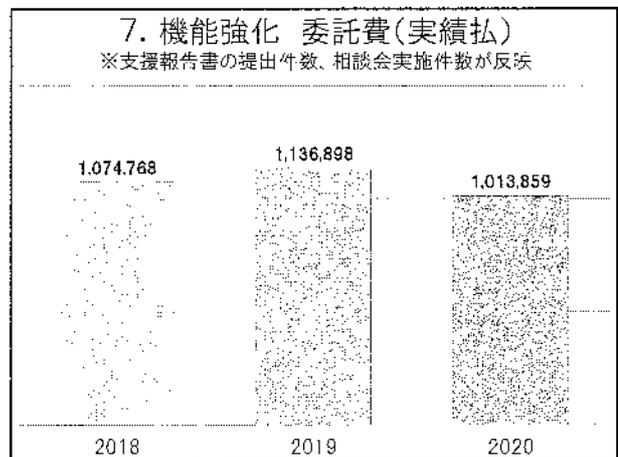
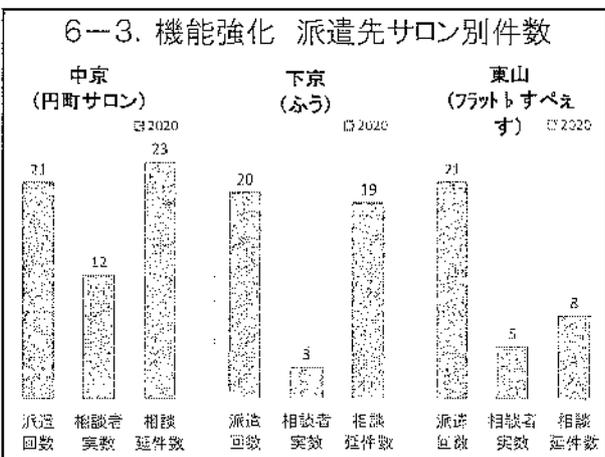
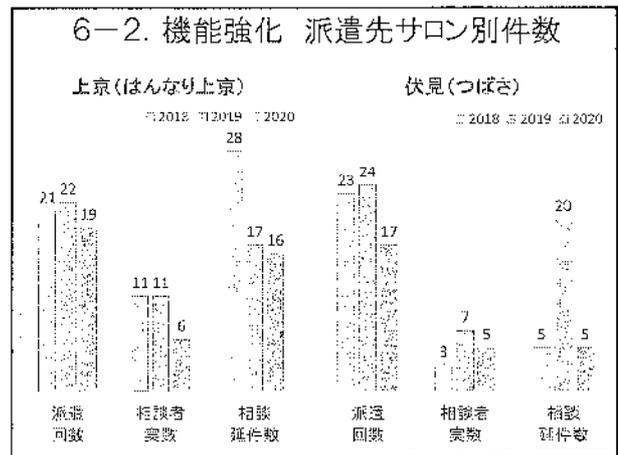
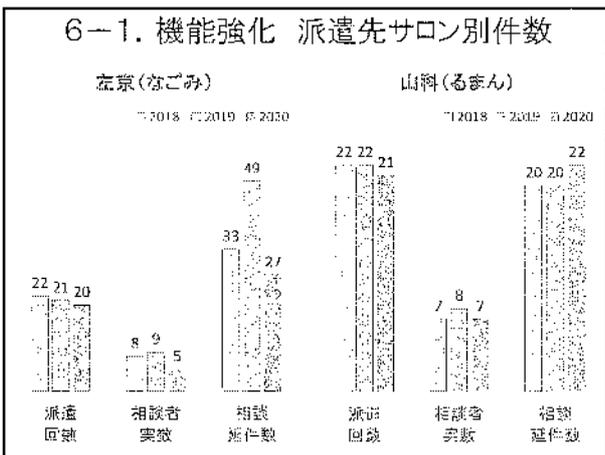
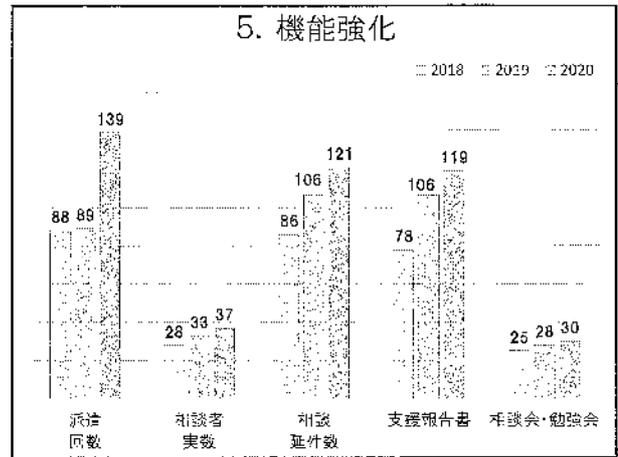
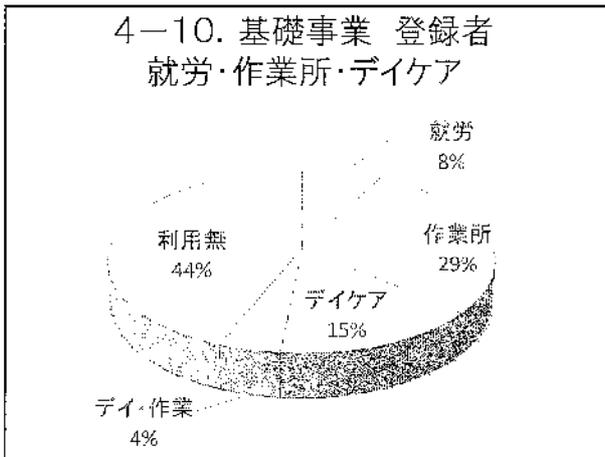


4-8. 基礎事業 登録者
居宅介護



4-9. 基礎事業 登録者
訪問看護





『グループワーク活動一覧』

こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

日付	時間	内容	人数	
4月5日 (日)	13:30~14:30	当事者会	3人	3人
				0人
6月7日 (日)	13:30~14:58	当事者会	6人	10人
6月20日 (土)	13:00~14:00	話し合い	2人	
6月27日 (土)	14:00~15:00	生活相談会	2人	
7月5日 (土)	13:30~14:30	当事者会	5人	12人
7月18日 (土)	13:30~14:30	話し合い	4人	
7月25日 (土)	9:30~14:30	生活相談会	3人	
8月2日 (日)	13:30~14:35	当事者会	5人	8人
8月22日 (土)	13:30~14:30	話し合い	2人	
8月29日 (土)	11:50~12:30	生活相談会	1人	
9月6日 (日)	13:30~14:30	当事者会	3人	9人
9月19日 (土)	13:30~14:30	話し合い	3人	
9月26日 (土)	14:00~15:20	生活相談会	3人	
10月17日 (日)	13:35~14:35	話し合い	2人	15人
10月24日 (土)	11:20~11:40, 12:58~14:00, 14:00~14:20	生活相談会	3人	
10月31日 (土)	13:30~14:30	ハロウィーンイベント(クイズ、楽器演奏等)	10人	
11月1日 (日)	13:30~14:35	当事者会	2人	6人
11月21日 (土)	13:30~14:30	茶話会	3人	
11月28日 (土)	14:00~15:00	生活相談会	1人	
12月6日 (日)	13:30~14:30	当事者会	3人	17人
12月19日 (土)	13:30~14:30	話し合い	2人	
12月26日 (土)	13:30~14:30	クリスマス会(クイズ、楽器演奏、プレゼント交換)	12人	
1月10日 (日)	13:30~14:20	当事者会	4人	10人
1月23日 (土)	13:30~14:30	話し合い	5人	
1月30日 (土)	14:20~14:50	生活相談会	1人	
2月7日 (日)	13:30~14:40	当事者会	5人	12人
2月20日 (土)	13:30~14:30	話し合い	5人	
2月27日 (土)	10:20~11:18	生活相談会	2人	
3月7日 (日)	13:30~13:55	当事者会	2人	7人
3月27日 (土)	13:30~14:30	話し合い	3人	
3月27日 (土)	14:30~15:00	生活相談会	2人	

グループワーク実施数 31件 年間利用延数 109人
 (相談会・勉強会実施数 29件)

『苦情対応』

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

◇苦情対応1.

タイトル：利用者より「相談員の対応にストレスを感じている」との苦情

対応月：令和3年2月

苦情内容：利用者より「担当相談員との関係でストレスを感じ、体調を崩している。内容是对応の遅さ、相談員との物件探しがうまくいかないこと、メールのやり取りを希望しているのに電話をすること、働くことについてはっきりとではないが、できないと言われたため」との苦情。

対応結果：本人の希望により施設長、副施設長との面談を実施。面談で聴取した内容を担当職員に伝え、担当職員から今後の対応を改善する意向を確認し本人に返答するが、本人は相談先の変更を希望された。結果、本人が当センターの圏域外への引っ越しすることになったため、現在転居先地域での相談支援引継ぎを行っている。

◇苦情対応2.

タイトル：家族より「親身でない」との苦情

対応月：令和3年3月

苦情内容：長期入院の方の地域移行支援に関して、家族からの不安の訴えがあったが、「親身でない」との苦情を受けた。

対応結果：謝罪した上で、信頼関係の構築のための対応を心掛け、継続して相談を受けている。

『実習、ネットワーク、研修』

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

1. 実習・見学 受け入れ

日程	所属先	人数
6月24日～9月16日	花園大学社会福祉学部臨床心理学科 精神保健福祉援助実習	1名
3月1日～3月31日	佛教大学社会福祉学部精神保健福祉援助実習	1名

2. 地域での障害者（児）支援への参加

日程	時間	会議名	場所	参加者名
4月2日	10:30～11:30	中部障害者地域自立支援協議会4月事務局会議	支援センター「らくなん」	藤井弘
4月6日	13:45～13:45	お昼のご挨拶	光彩の会事務局前	中村美恵
4月27日	11:30～12:30	第1回 地域移行促進事業MT	相談室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆
5月13日	10:30～11:30	中部障害者地域自立支援協議会5月事務局会議	支援センター「なごやか」	藤井弘
5月14日	10:30～10:45	中京ネットワーク事務局会議	中京区役所 2階	田中裕一
5月21日	10:30～11:30	京都市中部障害者自立支援協議会 5月運営会議	下京区役所 4F 会議室	藤井弘 山本洋
5月25日	14:30～15:30	令和元年下京こころのネットワーク第1回実務者会議	下京区役所2階 多目的室	中村美恵
6月4日	10:30～11:30	中部障害者地域自立支援協議会事務局会議	支援センター「にしじん」	藤井弘
6月10日	10:30～12:40	法テラス京都市 ヒアリング	5F 会議室	田中裕一 高瀬加帆
6月11日	10:00～12:00	第2回 地域移行促進事業MT	1F 相談室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆
6月16日	13:00～15:00	医療的ケア専門部会 担当者会議（令和2年度第1回）	既	中條了
6月18日	10:00～11:30	京都市中部障害者自立支援協議会 6月運営会議	下京区役所 4F 会議室	藤井弘 高瀬加帆
6月20日	09:00～12:15	WRAP講座	6F会議室	田中裕一 高瀬加帆
6月22日	14:30～15:30	令和元年下京こころのネットワーク第3回実務者会議	下京区役所2階 多目的室	田村美恵
6月24日	13:30～14:30	いわくら病院地域移行支援会議	いわくら病院 中会議室	田中裕一
6月24日	09:30～11:45	第1回 京都市精神障害者地域移行推進事業 実務者会議	6F 会議室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆
7月2日	10:00～11:40	中部障害者地域自立支援協議会7月事務局会議	支援センター「らくなん」	藤井弘
7月9日	13:44～13:44	ご挨拶	光彩の会事務局前	中村美恵
7月10日	10:30～12:00	2020年度第1回グループホーム専門部会 担当会議	上京区役所1階 小会議室	藤井弘 中條了
7月13日	12:00～12:00	令和2年度第1回福祉就職フェア実行委員会	ハートピア京都市4階 会議室	中條了
7月14日	16:05～16:05	地域課題研究会 担当者会議（第1回）	京都光彩の会 5F会議室	藤井弘 山本洋
7月14日	13:30～14:30	実習生 オリエンテーション	特設室	中條了
7月14日	18:30～20:00	5団体要望書の提出に向けた会議	みふ身体障害者福祉会館2階 会議室	中條了
7月16日	16:00～17:15	中京ネットワーク 事務局会議	中京区役所	田中裕一
7月16日	10:00～11:30	京都市中部障害者自立支援協議会 7月運営会議	下京区役所 4F 会議室	藤井弘 城野悠香 藤井弘 田中裕一 高瀬加帆
7月17日	10:00～11:45	第3回 地域移行促進事業MT	5F会議室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆
7月21日	15:30～17:10	中京ネットワーク 実務者会議	4階 第1会議室	田中裕一
7月22日	13:30～15:00	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院 中会議室	田中裕一
7月22日	09:30～11:45	第2回 京都市精神障害者地域移行推進事業 実務者会議	5F 会議室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆
7月27日	14:30～15:40	令和元年下京こころのネットワーク第4回実務者会議	下京区役所2階 多目的室	中村美恵
7月30日	10:00～12:00	医療的ケア専門部会担当者会議	香花ヘルパーステーション	中條了
7月31日	16:59～16:59	WRAPクラス打ち合わせ	相談室	高瀬加帆 田中裕一
7月31日	10:00～11:45	ピアサポートグループ（ハッピーフィールド）	ハッピーフィールド島田街池	田中裕一
8月7日	10:00～12:00	中部障害者地域自立支援協議会8月事務局会議	支援センター「なごやか」	藤井弘
8月19日	10:00～11:30	第4回 地域移行MT	5階 会議室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆

8月20日	13:30~15:00	京都府ピアサポート育成研修会運営会議	京都府精神保健福祉センター・体育室	田中裕一
8月20日	10:00~11:30	京都市中部障害者自立支援協議会 8月運営会議	下京区後所 4F 会議室	藤井弘 山中裕一
8月20日	18:30~20:30	相談支援専門員カフェ (2020年度第1回)	バザールカフェ	山本洋
8月24日	14:30~15:20	令和元年下京こころのネットワーク第5回実務者会議	下京区夜所2階 多目的室	中村美恵
8月26日	13:30~14:30	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院 大会議室	田中裕一
8月26日	14:00~17:00	京都府精神保健福祉施設協議会役員会	安徳楼	藤井弘 中條了
8月28日	09:30~11:45	第3回 京都市精神障害者地域移行推進事業 実務者会議	5F 会議室	藤井弘 山中裕一 高瀬加帆
8月28日	10:30~12:00	2020年度第2回グループホーム専門部会 担当者会議	上京区夜所1階 小3会議室	藤井弘 中條了
9月1日	16:00~17:15	地域課題研究会担当者会議 (令和2年度第2回)	光野の会5F会議室	藤井弘 山本洋
9月1日	16:00~17:00	中京ネットワーク 事務局会議	中京区保健福祉センター	田中裕一
9月3日	10:00~12:00	中部障害者地域自立支援協議会9月事務局会議	支援センター「にしじん」	藤井弘
9月15日	15:30~17:00	中京ネットワーク 実務者会議	中京区夜所 第1会議室	田中裕一
9月16日	13:45~15:30	ピアサロン (いわくら病院6病棟)	いわくら病院	田中裕一
9月17日	10:00~12:00	京都市中部障害者自立支援協議会 9月運営会議	下京区後所 4F 会議室	藤井弘 中村美恵
9月23日	13:30~14:30	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院 大会議室	田中裕一
9月23日	09:30~11:30	第4回 京都市精神障害者地域移行推進事業 実務者会議	5F 会議室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆
9月28日	14:30~15:30	令和元年下京こころのネットワーク第5回実務者会議	下京区夜所2階 多目的室	中村美恵
10月1日	10:30~12:00	中部障害者地域自立支援協議会10月事務局会議	支援センター「らくなん」	藤井弘
10月1日	10:30~12:00	中部障害者地域自立支援協議会12月事務局会議	支援センター「にしじん」	藤井弘
10月3日	12:20~13:30	ピア講演打ち合わせ (文教大学)	5F会議室	田中裕一 高瀬加帆
10月10日	10:50~12:00	京のかれん家族会 例会	会議室	中條了
10月12日	13:30~15:30	京都府ピア育成研修会運営会議	京都府精神保健福祉センター	田中裕一
10月13日	15:00~17:15	地域課題研究会担当者会議 (令和2年度第3回)	光野の会5F会議室	藤井弘 山本洋
10月15日	14:30~15:30	京都市下京区地域福祉合同研修会	キャンパス京都プラザ京都5階 第1研修室	中村美恵
10月16日	10:30~12:00	京都市中部障害者自立支援協議会 10月運営会議	下京区夜所 4F 会議室	藤井弘 中條了
10月16日	19:30~20:40	相談支援専門員カフェ (令和2年度第2回)	上京区総合庁舎4F会議室	山本洋
10月16日	10:30~12:00	2020年度第3回グループホーム専門部会 担当者会議	上京区夜所1階 小3会議室	藤井弘 中條了
10月19日	14:30~15:30	令和元年下京こころのネットワーク第6回実務者会議	下京区夜所2階 多目的室	中村美恵
10月21日	14:40~16:10	ピアサポート活動 (京都文教大学)	京都文教大学	高瀬加帆 田中裕一
10月22日	10:30~12:00	医療的ケア専門部会 担当者会議	春花ヘルパステーション	中條了
10月28日	13:30~14:45	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院	田中裕一
10月28日	09:30~11:30	第5回 京都市精神障害者地域移行推進事業 実務者会議	5F 会議室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆 山本洋
10月29日	15:00~16:00	権利擁護支援ネットワーク (2020年度第1回)	中京区夜所4階 第2会議室	高瀬加帆 田中裕一
10月30日	13:30~15:45	ピアサロン (いわくら病院7病棟)	いわくら病院7病棟	高瀬加帆 田中裕一
11月3日	16:00~17:00	事務局会議 (中京区こころ・愛ふれあいネットワーク)	中京区夜所	田中裕一
11月5日	10:00~12:00	中部障害者地域自立支援協議会11月事務局会議	支援センター「らくなん」	藤井弘
11月9日	13:00~14:00	京都府ピア育成研修会運営会議 (2020)	5階会議室	田中裕一
11月10日	16:00~17:15	地域課題研究会担当者会議 (令和2年度第4回)	光野の会5F会議室	藤井弘 16:30~ 山本洋 田中裕一
11月10日	15:30~17:00	中京区こころ・愛・ふれあいネットワーク実務者会議	中京区夜所 第1会議室	田中裕一
11月16日	14:30~15:30	令和元年下京こころのネットワーク第7回実務者会議	下京区夜所2階 多目的室	中村美恵
11月16日	10:30~11:45	支援センター連絡会議	京都市保健福祉局会議室	藤井弘
11月19日	10:00~12:00	京都市中部障害者自立支援協議会 11月運営会議	下京区夜所 4F 会議室	藤井弘 山本洋

11月20日	10:30~12:00	2020年度第4回グループホーム専門部会 担当者会議	上京区後所1階 小4会議室	藤井弘 中條了
11月21日	13:45~15:45	ピアWEB打ち合わせ	5階会議室	田中裕一 高瀬加帆
11月25日	13:30~14:30	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院	田中裕一
11月25日	09:30~11:30	第6回 京都市精神障害者地域移行推進事業 実務者会議	6F 会議室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆 中條了
11月27日	10:30~12:20	医療的ケア専門部会 担当者会議	春花ヘルパーステーション	藤井弘 中條了
11月27日	10:30~11:30	2020年度 グループホーム専門部会 担当者会議 (ズーム)	5階法人会議室 (ズーム)	藤井弘 中條了
12月2日	16:28~16:28	京都精神保健福祉施設協議会役員会	2階会議室	藤井弘 中條了
12月3日	12:00~17:00	健康教室 (中京区こころ・愛・ふれあいネットワーク)	中央区役所	田中裕一
12月8日	10:00~12:00	中部障害者地域自立支援協議会12月事務局会議	支援センター「にしじん」	藤井弘
12月4日	13:30~15:30	ピアサロン (いわくら病院6階棟)	いわくら病院6階棟	田中裕一
12月4日	11:00~11:50	府ピア育成研修等実報告の打ち合わせ	5階会議室	田中裕一
12月10日	10:30~12:00	地域移行ミーティング	法人会議室	藤井弘 高瀬加帆 田中裕一
12月14日	13:30~14:30	京都市ピアサポーター育成研修会運営会議	5階 会議室	田中裕一
12月17日	10:30~12:00	京都市中部障害者自立支援協議会 12月運営会議	下京区役所 4F 会議室	藤井弘 高瀬加帆 山本洋
12月17日	18:30~20:40	相談支援専門員カフェ (令和2年度第3回)	上京区総合庁舎 4F 会議室	藤井弘 高瀬加帆 田中裕一
12月17日	13:15~15:00	地域移行ミーティング	法人会議室	藤井弘 高瀬加帆 田中裕一
12月21日	13:30~15:00	2020年度 グループホーム専門部会懇談会 (ズーム)	5階法人会議室 (ズーム)	藤井弘 中條了
12月21日	17:00~18:00	花園大学講演打ち合わせ	1回廊会議室	中條了 田中裕一
12月21日	14:30~15:30	令和元年下京こころのネットワーク第8回実務者会議	下京区役所2階 多目的室	中村美恵
12月23日	13:30~14:30	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院	田中裕一
12月26日	09:30~10:30	市のピアサポーター研修等実報告の打ち合わせ	国庫室	田中裕一
1月9日	10:30~11:30	ピアWEB打ち合わせ	5階会議室	田中裕一 高瀬加帆
1月13日	15:00~18:00	中部障害者地域自立支援協議会1月事務局会議	支援センター「にしじん」	藤井弘
1月15日	15:58~15:58	グループホーム専門部会 担当者会議	上京区役所小3会議室	藤井弘 中條了
1月16日	10:30~12:20	支援センターヒアリング (zoom使用)	光彩の金沢会議室	藤井弘 中條了 山本洋 田中裕一
1月21日	10:00~12:00	京都市中部障害者自立支援協議会 1月運営会議	下京区役所 4F 会議室	藤井弘 田中裕一
1月26日	10:30~11:30	ピアWEB打ち合わせ	5階会議室	田中裕一 高瀬加帆
1月27日	10:30~11:30	第3回 京都市精神障害者地域移行推進事業 実務者会議	なごやか会議室 ※200M	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆
1月28日	14:00~14:09	事業所見学案内 (ウエルビー)	事務所	高瀬加帆
2月8日	13:12~13:12	居宅介護事業所 sign 事業所案内		高瀬加帆
2月4日	10:00~11:30	中部障害者地域自立支援協議会2月事務局会議	支援センター「なごやか」	藤井弘
2月18日	16:45~17:15	地域課題研究会担当者会議 (2020年度第5回)	下京区役所4F第1会議室	藤井弘 山本洋
2月18日	15:00~16:30	地域課題研究会懇談会 (2020年度第1回)	下京区役所4F第1会議室	藤井弘 山本洋
2月18日	10:00~12:00	京都市中部障害者自立支援協議会 2月運営会議	下京区役所 4F 会議室	藤井弘 高瀬加帆
2月18日	18:00~19:50	相談支援専門員カフェ (令和2年度第4回)	上京区総合庁舎 4F 会議室	山本洋
2月19日	10:30~12:00	グループホーム専門部会担当者会議 (zoom)	法人会議室 (zoom)	藤井弘 中條了
2月25日	10:00~11:00	中京ネットワーク事務局会議	中京保健福祉センター 2階	田中裕一
3月2日	16:20~16:50	中京ネットワーク 実務者会議	中央区防衛ビル (4階)	田中裕一
3月4日	10:00~11:30	中部障害者地域自立支援協議会3月事務局会議	支援センター「にしじん」	藤井弘

3月8日	15:00~14:30	京都市障害者地域生活支援センター連絡会議	障害者福祉推進委員会	藤井弘 中橋了
3月9日	15:30~16:30	ピア活動についての説明	5階 会議室	田中裕一
3月10日	14:00~15:28	ピアサポーター研修についての意見交換	5階 会議室	山本裕一
3月16日	16:50~18:37	チャレンジ・フーム京都 関西のご挨拶		高瀬加帆
3月16日	16:30~16:45	アイケアのご紹介、ご挨拶	丸影の会、「なごやか」事務局前	中村美恵
3月18日	10:30~12:00	京都市戸部障害者自立支援協議会 3月運営会議	下京区役所 4F 会議室	藤井弘 中村美恵 藤井弘 中橋了
3月19日	10:30~12:00	グループホーム専門部会担当者会議 (zoom)	法人会議室 (zoom)	藤井弘 中橋了
3月24日	13:30~14:30	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院	田中裕一
3月24日	09:30~11:30	第9回 京都市障害者地域移行推進事業 実務者会議	5F 会議室	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆

3. センター主催（共催）研修

日程	時間	研修名	研修先	研修参加人数	参加者名
7月27日	17:30~19:30	第1回 ピアサポーター勉強会	5F会議室	3	田中裕一 高瀬加帆
8月19日	15:30~17:00	ピアサポーター WEBサイト打ち合わせ①	5階会議室	6	田中裕一 高瀬加帆
9月17日	17:30~19:30	ピアサポーター勉強会	5階 会議室	8	田中裕一 高瀬加帆
10月31日	13:30~15:05	ピア打ち合わせ (7/2)	5階 会議室	6	
10月14日	15:30~17:00	支援センター合同研修会	サンサ石京	29	中橋了 高瀬加帆 丸影伸香 中村美恵
11月18日	17:30~19:30	ピアサポーター勉強会	5F 会議室	6	田中裕一 高瀬加帆
11月21日	10:30~12:00	ピアサポーターWRAPクラス	5階会議室※700M	10	高瀬加帆 田中裕一
12月18日	13:30~17:00	令和2年京都市障害者地域移行推進事業 関係機関研修	京都テルリ	45	藤井弘 田中裕一 高瀬加帆
1月23日	09:15~12:35	WRAPワークショップ	3F会議室	12	田中裕一 高瀬加帆

4. 講師派遣

日程	時間	研修名	場所	参加者
10月6日	09:30~12:30	相談支援従事者現任研修講師打ち合わせ	京都テルサ	藤井弘
10月6日	13:30~16:30	相談支援従事者初任者研修講師打ち合わせ	京都テルサ	藤井弘
11月10日	13:30~16:30	相談支援従事者初任者研修講師打ち合わせ	京都テルリ	藤井弘
11月24日	13:30~16:30	相談支援従事者初任者研修講師打ち合わせ	京都テルサ	藤井弘
11月24日	10:30~12:30	相談支援従事者現任研修講師打ち合わせ	京都テルサ	藤井弘
12月4日	16:40~18:10	ピアサポーター講演（立命館大学）	立命館大学	田中裕一
12月9日	14:40~16:20	花園大学 三島先生授業	花園大学 塩々館303	高瀬加帆 田中裕一
12月15日	08:45~17:30	相談支援従事者初任者研修演習4日目	京都テルサ	藤井弘
12月16日	09:00~17:30	相談支援従事者初任者研修演習5日目	京都テルサ	藤井弘
1月12日	09:00~17:30	相談支援従事者初任者研修演習6日目	京都テルサ	藤井弘
1月19日	13:30~16:00	相談支援従事者現任研修講師打ち合わせ会議	ハートピア第3会議室	藤井弘
1月28日	18:00~19:30	ピアサポーター体験談	花園大学	田中裕一
2月5日	08:45~17:30	相談支援従事者現任者研修演習2日目	ルビノ堀1	藤井弘
2月9日	08:45~17:30	相談支援従事者現任者研修演習3日目	ルビノ堀1	藤井弘
2月10日	08:45~17:30	相談支援従事者現任者研修演習4日目	ルビノ堀1	藤井弘
2月24日	09:00~17:30	相談支援従事者初任者研修演習7日目	京都テルリ	藤井弘

2月25日	09:00~17:30	相談支援従事者初任者研修演習8日目	京都7ルサ	藤井弘
-------	-------------	-------------------	-------	-----

5. 派遣研修・他都市視察

日程	時間	研修名	場所	参加者
8月24日	13:00~17:00	障害者虐待対応に関する業務研修(令和2年度)	左京区豊前と徳大会議室	山本洋 城紗依香
12月13日	10:00~12:00	支援がないから退院できない!? (居宅介護事業連絡協議会12月例会)	ひと・まち交流館京都 大会議室	田中穂一 中村英良
2月4日	12:30~16:45	京都府ピアリポーター育成研修会	ZOOMでの実施	高瀬加帆 山中穂一
2月22日	13:30~16:00	Zoomの「困った」を解消する! 「日分でオンライン○○」を始める	フボ・ル守園	山本洋
3月1日	13:30~16:40	家族支援研修	5F会議室 ※ZOOM研修	高瀬加帆
3月2日	13:30~15:45	暮らしを支援する~居住支援の視点から考える~	5階会議室 ※ZOOM参加	中橋了 田中穂一
3月17日	13:05~18:30	(障害者・高齢者) 虐待防止と身体拘束・行動制限の廃止を考える研修会	光彩の会会議室 (Youtube配信動画閲覧)	山本洋
3月18日	09:55~17:00	認知症の人と「ともに生きる」ためのフォーラム	光彩の会会議室 (Zoomオンライン配信)	山本洋
3月26日	10:00~12:00	2020年度基幹支援センター研修事業 相談支援専門員等スキルアップ事業(第3区)	光彩の会会議室 (Zoomオンライン配信)	中橋了 山本洋

平成31年度委託相談支援実績報告件数

相談件数 ※利用者＝障害者本人＋その家族

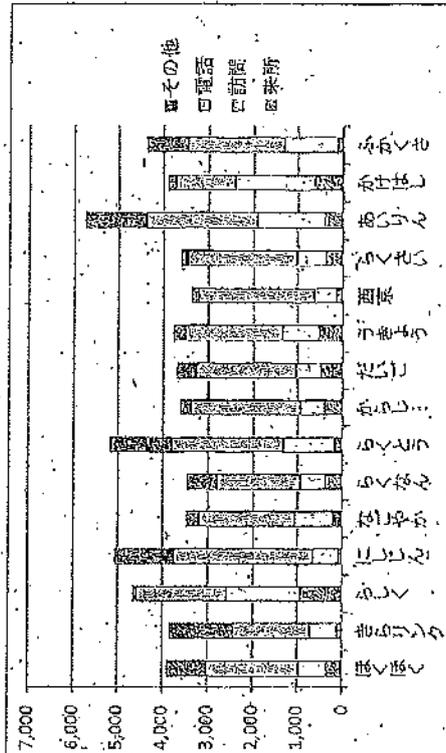
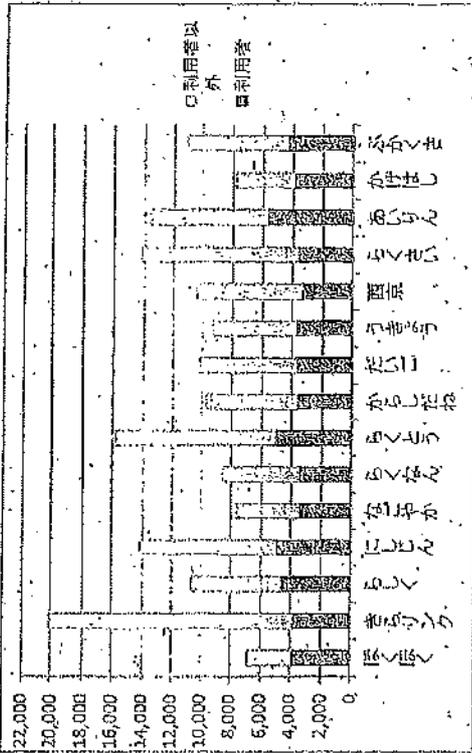
	利用者	利用者以外	合計	対前年度比率
ほくほく	3,874	2,951	6,825	67%
きらりんく	3,823	16,251	20,074	118%
らしく	4,684	6,984	11,668	95%
にしじん	5,051	9,154	14,205	101%
なごやか	3,455	4,057	7,512	72%
らくなん	3,454	5,105	8,559	70%
らくらう	5,167	10,735	15,902	78%
からしだね	3,601	6,107	9,708	105%
だいで	3,678	6,436	10,112	123%
うきよう	3,752	5,565	9,317	120%
西京	3,353	7,030	10,383	124%
ちくさい	5,539	10,633	14,222	112%
あいりん	5,742	7,892	13,634	86%
かけはし	3,889	3,885	7,774	130%
ふかくさ	4,357	5,892	11,049	143%
合計	51,417	108,329	169,746	93%

利用者の相談方法内訳

	来所	訪問	電話	その他
ほくほく	348	614	2,051	861
きらりんく	116	4,563	1,725	1,359
らしく	924	1,629	2,004	77
にしじん	93	551	3,104	1,303
なごやか	208	840	2,149	268
らくなん	374	548	1,867	665
らくらう	165	1,731	2,486	1,985
からしだね	391	528	2,435	245
だいで	464	556	2,226	450
うきよう	511	822	2,151	268
西京	151	484	2,571	147
ちくさい	351	657	2,452	119
あいりん	391	1,523	2,449	1,379
かけはし	609	1,788	1,312	160
ふかくさ	115	1,194	2,145	903

【参考】一人あたりの件数

	常設線車(人)	一人あたりの件数
ほくほく	1,019	6.7
きらりんく	4,016	5
らしく	2,659	4
にしじん	2,368	6
なごやか	1,252	6
らくなん	2,086	4.2
らくらう	3,160	5
からしだね	1,618	6
だいで	2,528	4
うきよう	1,863	5
西京	2,360	4.4
ちくさい	3,556	4
あいりん	1,939	7
かけはし	1,944	4
ふかくさ	2,085	6.3
平均	2,295	5.1

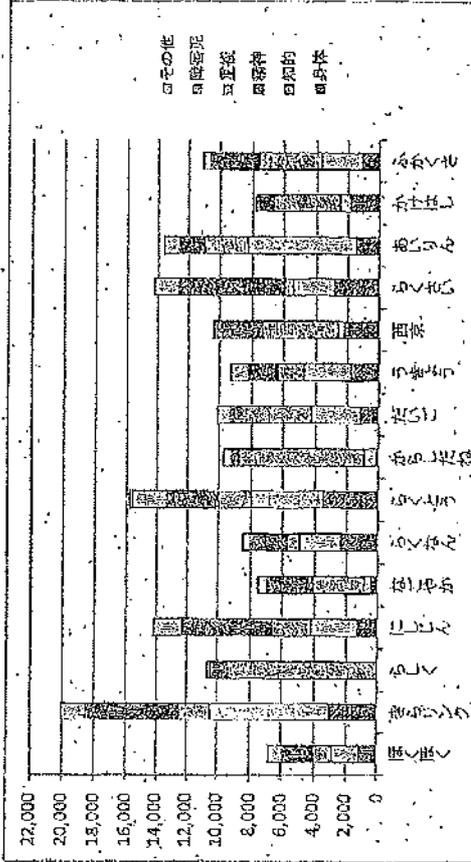


支援センター-182号 資料⑧

資料

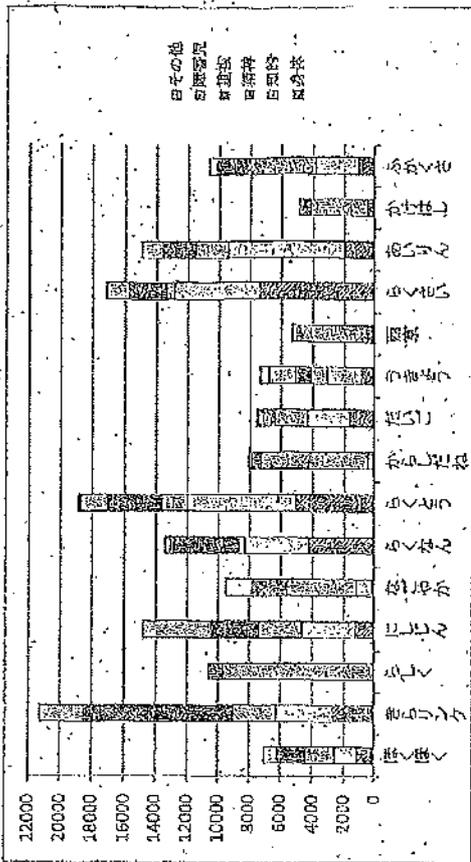
相談件数(障害種別内訳)

身体	知的	精神	重複	障害児	その他	合計
ほくほく	1,121	1,707	1,878	834	87	6,823
きらりんく	2,988	7,488	8,078	1,544	5	20,074
らくらく	32	193	1,117	136	3	20,630
にしじん	1,248	2,972	5,886	1,886	43	14,205
なごやか	426	446	2,708	145	372	7,512
らくらふ	2,354	4,491	2,311	424	128	8,559
らくらふ	175	751	3,327	2,340	205	15,802
からしだね	1,216	3,075	415	3	602	9,708
だいて	1,784	2,964	750	753	12	10,112
まきわ	2,216	405	1,938	1,042	7	9,917
酒家	2,835	2,597	2,578	52	288	10,383
らくま	1,805	6,757	6,728	1,568	7	14,222
あけいん	1,824	718	1,009	53	128	7,774
かけはし	1,124	2,638	3,038	341	82	11,049
あかき	24,944	35,703	41,269	11,977	2,089	169,746



【参考】平成30年度相談件数(障害種別内訳)

身体	知的	精神	重複	障害児	その他	合計
ほくほく	2,228	1,835	2,604	1,300	12	10,232
きらりんく	3,044	1,545	8,000	1,844	1	17,293
らくらく	19	9,738	1,204	34	2	11,142
にしじん	912	2,056	4,178	3,718	147	14,011
なごやか	640	709	2,785	160	744	10,470
らくらふ	3,491	3,117	4,228	506	105	12,227
らくらふ	4,856	7,220	4,319	2,464	200	22,446
からしだね	192	590	632	280	207	5,219
だいて	1,257	2,874	705	444	13	8,195
まきわ	1,393	2,645	1,465	344	88	7,747
酒家	2,043	322	2,209	94	211	8,894
らくま	2,944	4,356	3,586	1,879	14	12,749
あけいん	1,564	8,509	1,846	1,175	8	15,983
かけはし	972	330	702	91	171	5,958
あかき	650	1,644	2,903	339	93	7,601
合計	25,530	49,050	40,736	14,553	1,991	173,046



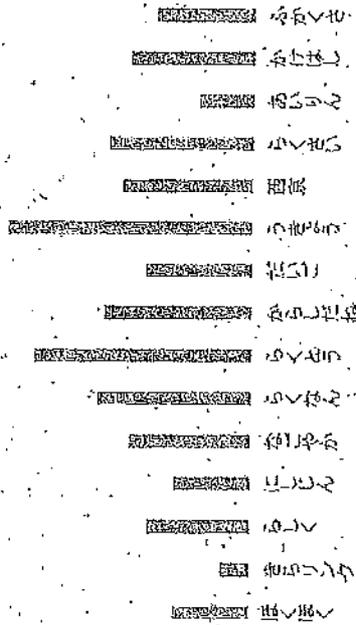
支援センター資料

平成31年度相談新規件数(実利用者数)

新規件数	対前年度比率	
ほくほく	53	52%
きらりんく	21	78%
らしく	74	123%
にしじん	56	89%
なごやか	88	81%
らくなん	112	115%
らくどう	157	117%
からしだね	107	100%
だいて	77	151%
うきよ	175	97%
西京	93	130%
らくさい	103	175%
あいりん	40	85%
かけはし	90	161%
ふかくさ	71	95%
合計	1325	106%

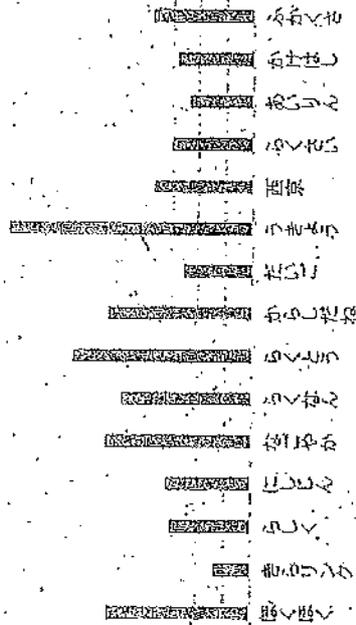
【参考】一人あたりの件数

常勤換算(人)	一人あたりの件数
ほくほく	6.7
きらりんく	5
らしく	4
にしじん	4
なごやか	6
らくなん	4.2
らくどう	5
からしだね	6
だいて	4
うきよ	5
西京	4.4
らくさい	4
あいりん	7
かけはし	4
ふかくさ	5.3
平均	5.1



【参考】平成30年度相談新規件数(実利用者数)

新規件数	
ほくほく	107
きらりんく	27
らしく	60
にしじん	63
なごやか	109
らくなん	97
らくどう	134
からしだね	107
だいて	51
うきよ	181
西京	73
らくさい	60
あいりん	47
かけはし	56
ふかくさ	76
合計	1247



支援センターの
資料⑧

『職員体制』

(センター名：京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」)

障害者地域生活支援センター職員の配置状況(令和2年4月1日現在)

高野村 相談支援	従事業務 ※該当するものに○を記入			職名	勤務形態 ※該当するものに○を記入	氏名	生年月日	支援センター への配属	相談支援に係る 実務経験年数 ※()は翌年を記入	資格等 ※該当するものに○を記入					その他 (記述式)		
	基幹型	指定特定	指定一般							児童相談	相談支援 専門員	社会福 祉士	精神保 健福祉 士	介護保 社士		介護師・ 看護師	相談支 援専門 員
○	○	○	○	○	○	藤井 弘	1958(S33)年 10月12日	1999(H11)年8月	1996(H8)年4月～ 2020(R2)年3月 (計24年)	○	○	○	○	○	○	○	臨床心理士
○	○	○	○	○	○	中條 了	1974(S49)年 8月15日	2015(H27)年8月	1998(H10)年4月～ 2006(H18)年3月、2008 (H20)年4月～2020 (R2)年3月(計20年)	○	○	○	○	○	○	○	臨床心理士 介護支援専門員
○	○	○	○	○	○	山本 洋	1978(S53)年 9月29日	2005(H17)年10月	2005(H17)年10月～ 2020(R2)年3月 (14年6箇月)	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	高瀬 加帆	1992(H4)年 11月13日	2015(H27)年4月	2015(H27)年4月～ 2020(R2)年3月 (計5年)	○	○	○	○	○	○	○	介護職員初任者研 修(ホームヘルパー 2級)
○	○	○	○	○	○	城 紗弥香	1986(S61)年 6月4日	2016(H28)年3月	2009(H21)年4月～ 2018(H30)年9月 (計9年6箇月)	○	○	○	○	○	○	○	認定心理士
○	○	○	○	○	○	田中 稔一	1982(S57)年 7月7日	2016(H28)年4月	2006(H18)年4月～ 2013(H25)年4月、2014 (H26)年4月～2020 (R2)年3月 (計13年1箇月)	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	中村 美恵	1966(S41)年 12月27日	2018(H30)年8月	2004(H16)年5月～ 2005(H17)年11月、2006 (H18)年5月～2020 (R2)年3月 (計14年8箇月)	○	○	○	○	○	○	○	保育士 介護支援専門員
○	○	○	○	○	○	表口 康子	1952(S27)年 8月10日	2019(H31)年4月	2001(H13)年6月～ 2020(R2)年3月(計 18年10箇月)	○	○	○	○	○	○	○	

※ 採用や異動、退職等で職員数に増減が生じる場合は、事前に障害保健福祉推進室まで連絡してください。
※ 資格等の証明書類の提出は不要です。

個人情報保護状況チェック表

記載日 (2021. 5. 13) 事業所名 (支援センターなごやか)

1 個人情報の適正な維持管理のための規程等整備状況等		
現状		改善策 (方向性)
① 個人情報保護規程、マニュアル等を作成し、管理者は周知し、職員は知っているか。	はい・いいえ	・規定等をわかりやすい場所において見る機会を設ける。上半期、年度の事業報告作成時に職員全員で確認する。
② 個人情報を取り扱う職員は誰に限定されているか知っているか	はい・いいえ	
2 個人情報の記載された書類等の保管方法等		
現状		改善策 (方向性)
① 個人情報の記載された書類 (電子データ等含む) は鍵のかかる場所に保管しているか。	はい・いいえ	・未定。
② 個人名や個人情報が記載されている書面は一般の目に触れる机の上や持ち出し可能な箇所に置いていないか。	はい・いいえ	・個人記録回覧文書確認の業務優先順位をあげ、個人情報の書かれた記録等は可能な限り机の引き出し等、鍵のかかる場所に入れる。
③ 外部への持出しを必要最小限にするよう指導しているか。	はい・いいえ	
④ 個人情報の書類を外部に持ち出す場合は、管理者の許可を得たうえで持ち出しとし、返却予定日を所定の用紙に記録し、返却した後は必ず管理者に報告しているか。	はい・いいえ	・日をまたぐ際には、実施している。
⑤ 保管した書類を取り扱う職員を限定し、担当者ないしはあらかじめ管理者より許可された職員以外の者の閲覧と持ち出しを禁止しているか。	はい・いいえ	
⑥ 個人情報は原則ファックス送信しないているか。	はい・いいえ	・回覧文書で確認し合い、注意を促していく。
⑦ 郵送の際は送り先を複数の職員でチェックする等の対策を行っているか。	はい・いいえ	・複数担当のケースについて、まずは実施してみる。

⑧ 廃棄の際、個人情報外部に流出しないように取扱っているか。	はい・いいえ	
⑨ 掲示する書類は、必ず担当者か管理者が検印したもののみにしているか。	はい・いいえ	・支援センターにおいて、個人情報を含む掲示を行うことはないが、サロンの意見箱への返答については検印欄を設ける。
3 パソコン等の電子機器における保護措置の状況		
現状		改善策（方向性）
① インターネット接続の際、職場のパソコン、携帯電話のセキュリティ対策を行っているか。	はい・いいえ	
② インターネット接続の際、個人のパソコン、携帯電話のセキュリティ対策を行っているか。	はい・いいえ	
③ 個人情報へのアクセス制限（データ、ソフト、端末のパスワード設定等）を行っているか。	はい・いいえ	
④ 電子メールで個人情報を送信する際、パスワード設定等の安全管理をおこなっているか	はい・いいえ	・請求 PC に pass を書いたメモを貼り付けてあったので、剥がす。pass 共有のためデスクトップデータとして貼り付けて、データに pass をかける。
⑤ 個人情報が入力された携帯用記憶媒体（USBメモリー、外付け HDD、携帯電話、DVD を含む）については盗難や紛失の予防に努めていますか。	はい・いいえ	
⑥ 個人情報が入力された携帯用記憶媒体（携帯電話を含む）についてパスワード設定を行い、第三者に見られないようセキュリティをかけていますか。	はい・いいえ	
4 その他、個人情報の保護に関して実施していることがあれば教えてください。		
現状		改善策（方向性）

個人情報取扱職員名簿(2021年5月17日 現在)

事業所名 (支援センターなごやか)

役職名	勤務形態	職員氏名
専任職員	常勤	藤井弘
施設長 (統括施設長)	常勤	中條了
副施設長	常勤	山本洋
	常勤	高瀬加帆
	常勤	城紗弥香
主任	常勤	田中稔一
	常勤的非常勤	中村美恵

事業所名 (なごやかサロン)

役職名	勤務形態	職員氏名
副施設長	常勤	山本洋
	常勤的非常勤	表口康子
	サポートスタッフ	小森公明 (京家連)
	サポートスタッフ	佐藤マサコ (京家連)
	サポートスタッフ	山中ひと美 (京家連)
	サポートスタッフ	東秀子 (京家連)
	サポートスタッフ	中島淳子 (京家連)

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年4月～令和3年3月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	91	人
継続	158	人
合計	249	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH CH	入所						
身体	7	39	81	6	24	1	23	107	27	0	0	2	21	0	0	13	354	
知的	24	21	253	78	23	0	17	26	10	0	0	0	2	0	4	41	499	
精神	104	464	842	105	537	2	126	503	174	0	19	4	625	1	17	331	3854	
重複	45	399	789	74	390	6	88	512	264	0	27	63	521	0	1	223	3402	
障害児	3	55	81	31	55	0	60	108	35	3	0	0	69	32	0	13	545	
その他	15	33	104	11	75	0	30	13	32	0	0	21	52	24	3	58	471	
合計	198	1011	2153	305	1104	9	344	1269	542	3	46	90	1290	57	25	679	9125	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	2	134	6	39	1	0	0	7	5	4	0	0	47	2	148	395
知的	22	72	15	38	0	1	1	75	7	1	0	0	34	28	395	689
精神	74	680	247	363	145	12	29	135	0	180	34	41	715	215	1721	4591
重複	83	660	204	459	37	9	3	16	8	142	6	1	825	184	1400	4037
障害児	38	160	14	70	0	0	99	0	5	0	1	0	134	3	223	747
その他	16	45	29	60	16	1	4	28	2	34	15	5	80	49	186	570
合計	235	1751	515	1029	199	23	136	261	27	361	56	47	1835	481	4073	11029

④ケース会議等

	ケース会議 参加件数	ケアプラン 作成件数	セルフプラン 作成援助
身体	6	5	1
知的	1	1	2
精神	30	23	4
重複	26	19	3
障害児	3	4	0
その他	29	2	0
合計	95	54	10

③相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	83件
居住支援	262件
緊急対応	5件
合計	350件

⑤会議・研修等

地域での障害者(児)支援への参加	研修事業		
	センター主催(共催)研修	講師派遣	派遣研修・他都市視察

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年4月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	2	人
継続	98	人
合計	100	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外												合計
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他	
								居宅介護等	通所	短居入所	GH CH	入所					
身体	0	2	16	2	2	0	0	15	3	0	0	0	1	0	0	0	41
知的	1	5	30	19	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	1	58
精神	11	26	78	10	32	0	7	43	15	0	0	0	23	0	1	18	261
重複	3	31	82	10	25	0	8	60	17	0	1	8	47	0	0	26	318
障害児	0	3	5	3	5	0	2	3	1	0	0	0	4	1	0	0	27
その他	2	4	9	0	3	0	2	1	6	0	0	3	1	3	3	1	38
合計	17	71	220	44	67	0	20	120	42	0	1	11	76	4	4	46	743

③相談支援内訳

	制度説明	在宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	1	18	1	4	0	0	0	1	1	0	0	0	3	2	15	46
知的	0	2	3	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	0	51	77
精神	12	48	21	23	4	2	6	33	0	15	0	8	47	10	137	366
重複	1	59	23	31	2	0	0	3	0	18	1	0	78	12	140	368
障害児	6	9	0	4	0	0	3	0	0	0	0	0	7	0	13	42
その他	1	2	1	7	0	0	3	3	0	2	0	0	4	3	17	43
合計	21	138	49	69	6	2	12	59	1	35	1	8	141	27	373	942

④ケース会議等

	ケース会議 参加件数	ケアプラン 作成件数	セルフプラン 作成後 助
身体	0	2	0
知的	0	0	0
精神	0	2	1
重複	1	1	0
障害児	0	1	0
その他	0	1	0
合計	1	7	1

③相談支援内訳のうち

住居サポート事業	
入居支援	8件
居住支援	23件
緊急対応	1件
合計	32件

⑤会議・研修等

地域での障害者(児)支援への参加	研修事業		
	センター主催(共催)研修	講師派遣	派遣研修・他都市視察
新規事業所の立ち上げ			

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和2年4月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

①30代女性/NMO※難病・男性恐怖あり/下京区 ※新規

【概要】

京都府視覚障害者協会・鈴木氏から4/1に計画相談支援の依頼。

4/3再度鈴木氏より電話連絡があり、「本人が、元々お願いしようと思っていた相談支援事業所の男性相談員へ、自分の状態落ち着いたら相談支援をお願いしたいという意向。それまでセルフプランで対応する」との話。

【対応】

なごやかへの支援依頼は一旦保留。(匿名女で台帳修正すること)

②40代男性/知的障害・虐待ケース/中京区(藤井) ※報告

・障害のある4人兄弟。同居している長男、次男が三男を閉め出した問題。

・兄弟4人に対し、相談支援事業所むろまちが関わっている。

→むろまちが中心になって会議を開催し、むろまちからなごやかへ参加の求めがあれば協力する方針。

③50代男性/身体(腎機能障害)・知的障害/中京区(田中) ※報告

・本人から「コーヒの匂いがしない」との訴え。

・発熱、呼吸器症状、倦怠感等はなし。

・関係者には本人の状態は周知した。

・本人はゲームセンターや銭湯など、感染リスクの高い場所に行っている。

・心配な症状ではあるため、ヘルパー事業所が支援に入るのを辞退された。

・日々の生活費を受けとることができない問題。

・帰国者接触者相談センターへ相談したところ「新型コロナウイルス感染の可能性はかなり低いですが、心配なら受診されては」との回答。

・普賢通院されている民医連へ相談し、救急外来への受診同行をする予定。

・火曜日の透析拒否をされている

・昨日からヘルパー利用についても拒否がある。コロナの影響でのヘルパー対応に対する不満等もあるのかもしれないが午後から訪問して状況確認をする予定。

・迎えのヘルパーが調整できなかった場合はキャビックと病院への連絡をしたうえで本人のみで帰ってもらう。

・基本は担当職員への連絡を行い調整を行うが連絡がつかない場合はヘルパーとキャビックへの連絡を行っての調整を行う。

④京都マックからの支援依頼のあった件(藤井) ※継続

・以前になごやかで計画相談支援を担当していた方。

・知的障害、累犯窃盗のある方。

・2020年1月20日に出所している。ホワイトハウスと京都マックの支援あり。

・京都マックの入江さんから、計画相談支援の依頼があった。

→京都マックにて計画相談を担ってもらい、本人の求めがあれば第三者的な立場で定期訪問をしてもよいかと思っている。

⑤年齢不詳男性/障害不明/中京区(高瀬) ※新規

・本人から「失業手当の手続きが複雑なので手伝ってほしい」との電話。

⇒高瀬職員が、失業手当の手続き補助の役割を、他の就労関係機関等で担えるかどうか確認し、その結果次第でなごよかの役割を整理し、本人に伝える。

⑥50代男性/精神(薬物)/左京区(田中) ※継続

昨日の通院で手首の骨折をしていたことがわかり通所、ヘルパーへの連絡は実施している。連休等今後の生活の中で支援している事業所からの連絡があるかもしれない。その際は担当職員への情報集約を行う

⑦40代男性/精神/南区(中村) ※継続

就労についての相談が多くある。自分を肯定してもらいたい部分やこちらを下に見ている態度が見受けられる。また中村職員が対応する時は特定の利用者のことについて聞かれることがある。

⑧40代男性/精神(うつ)/上京区(高瀬) ※継続

・子ども若者支援室 亀高氏からの相談ケース。

・就労のアセスメント評価がいるのでは(アルバイト経験があるから大丈夫では)

・パンという事のみではなく調理などどのようなことに興味があるのか

⇒引き続き対応は高瀬職員が行う。

⑨20代男性/精神/下京区(田中) ※継続

【概要】

・就労B型湯より相談。GIIの探しについて

・3人暮らしをしている

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年5月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	2人
継続	88人
合計	90人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外												合計
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他	
								居宅介護等	通所	短期入所	GH	CH					
身体	0	3	15	0	2	1	0	14	2	0	0	0	3	0	0	0	40
知的	1	0	32	31	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	69
精神	9	26	88	9	39	0	7	40	8	0	0	0	43	0	3	28	300
重複	4	34	98	12	32	0	7	73	20	0	2	5	52	0	0	18	357
障害児	0	5	4	1	3	0	8	9	0	1	0	0	8	2	0	1	42
その他	2	1	4	2	4	0	0	2	2	0	0	3	0	0	0	4	24
合計	16	69	241	55	80	1	24	138	33	1	2	8	108	2	3	53	832

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	15	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	8	0	14	42
知的	0	1	2	1	0	0	0	12	0	0	0	0	0	1	60	77
精神	1	61	30	31	1	0	2	18	0	23	1	3	56	10	145	379
重複	2	79	10	32	0	0	1	0	0	20	0	0	79	16	144	385
障害児	5	13	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	14	1	16	52
その他	0	2	1	7	0	0	0	3	0	1	0	0	2	5	6	27
合計	8	171	46	73	1	0	5	31	0	44	1	3	159	33	385	960

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成件数
身体	0	0	0
知的	0	0	0
精神	1	1	0
重複	0	3	1
障害児	1	1	0
その他	1	0	0
合計	3	5	1

⑤相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	14件
居住支援	41件
緊急対応	1件
合計	56件

⑥会議・研修等

地域での障害者(児)支援への参加	研修事業		
	センター主催(共催)研修	講師派遣	派遣研修・他都市視察
中部障害者地域自立支援協議会5月事務局会議 中京ネットワーク事務局会議 京都市中部障害者自立支援協議会 5月運営会議 令和元年下京こころのネットワーク第1回実務者会議			

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和2年5月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

①40代女性/若年性認知症/下京区(山本) ※継続

【概要】

マンションにて単身で住んでいる女性。ヘルパー支援や社協による金銭管理の関わりあり。山本主任の携帯に「外出先から帰れない」との電話が入り、4/30は中條副施設長と田中職員が対応。5/1は山本主任と寺田職員が車を出して対応できた。連休中の連絡はなかった。漢字が読めず本人と位置確認が分かりにくかった。一人で好きなところへ出かけている方、通所は望んでいない。後見人を本人の申立をしている。着信があっても誤作動か緊急対応のどちらかが判断がつかない。

【今後の対応】

地域定着支援対象者として検討できないか。対象像としては該当すると思われる。

⇒地域定着はあらためて検討していく。

②50代女性/精神/左京区(中村) ※継続

【概要】

本人が物件探しで苦慮している。本人の障害特性として音への過敏性や主治医やスタッフへの攻撃性などが挙げられる。本人の希望する条件にあう物件が見つからない。左京区にある現在の住まいは6/17までの期限。元々「らしく」の支援を受けていたが今は切れている。本人は自分でも動いているが、物件が見つからない。情報が少ない中、どこまで関わりたいのか、戸惑っている。

【今後の対応】

本人と課題の整理を行った上で物件探しを手伝う。

③20代女性/躁うつ病・発達障害/中京区(中條) ※継続

【概要】

・いわゆる病院入院中だが、抱き着き行為等がおちついてきた状態。治療というよりは、環境調整が重要として、退院に向けての話がでている。母から希望のあった一人暮らしやGHの利用について、難しさを感じながらも検討しているところ。カンファレンス開催予定であり、今後は城職員に引き継いでいく。短期入所、生活介護、移動支援、通院介助等の福祉サービスの利用経過あり。

【意見】

- ・行動援護の対象となるのか？
- ・自立生活援助や訪問型の生活訓練、訪問看護など、訪問系の支援で見守りを考えられないか？

④60代女性/精神/中京区(藤井) ※継続

【概要】

・担当者変更の希望。
・支給量の問題でなく、モニタリングの時にしんどくなる、相性の問題と言っていた。
・本当は中條に代わってほしかったという話もあった。
・希望するサービス量が得られていないという状況はあるが、障害福祉サービスにおいて脊柱管狭窄症による支援の必要性など、役所に対して積み重ねていきたいとは思っている。気分変調症による波もあり(支援キャンセルや食事破棄も)、必要性の判断が難しい。

→相談員変更について、他機関に依頼する前になごやか内で考えるべきと思っている。

→母生前時、本人は家事の面で母からしっかりサポートを受けて自分のやりたいことをやれていた生活があった。その時のイメージを今でも同様に強く求めているのではないかと感じている。そのため、ヘルパーさんの支援を受ける生活を考えたときに、支援の必要性や限界・柔軟さ等、様々な課題が生じるのだと思う。

【今後の対応】

なごやか内での担当者変更をまずは考えるとして、中村職員、山本主任への変更を本人に提案する。

⑤20代男性/広汎性発達障害/下京区(中村) ※継続

今後、グループホームを探すにあたっての意見交換。

【意見】

・ハートフルトポスのノア・グレースは空きがある。
・賀陽の利用を希望しているので、まずは見学を調整する(6/1以降)。
・モーツァルト七瀬川つつみは男性2名空きあり。新型コロナウイルスの影響で月末まで見学ストップ。6月以降の対応は要確認。

【今後の対応】中村職員が対応する。

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年6月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	2	人
継続	84	人
合計	86	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WO	IIC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH CH	入所						
身体	1	3	12	0	3	0	0	12	2	0	0	0	8	0	0	0	41	
知的	2	0	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	
精神	12	37	62	2	57	0	7	72	25	0	7	0	73	0	3	28	383	
重複	0	38	90	6	36	0	6	57	18	0	9	7	49	0	0	9	325	
障害児	0	4	6	5	1	0	6	6	1	0	0	0	8	3	0	1	41	
その他	2	2	6	1	5	0	5	0	9	0	0	0	3	4	0	6	43	
合計	17	84	198	20	102	0	24	147	53	0	16	7	141	7	3	44	863	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	11	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	8	0	15	40
知的	0	1	3	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	3	25	38
精神	12	83	29	33	2	0	3	5	0	23	3	7	67	16	138	421
重複	8	88	29	49	2	0	0	3	0	6	0	0	76	13	143	417
障害児	3	12	3	2	0	0	14	0	1	0	0	0	12	0	17	64
その他	0	3	1	7	1	1	0	1	0	0	0	0	2	3	15	34
合計	23	198	67	93	5	1	17	15	2	29	3	7	166	35	353	1014

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成援助
身体	2	0	0
知的	0	0	0
精神	3	2	0
重複	1	0	0
障害児	0	1	0
その他	3	0	0
合計	9	3	0

③相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	11件
居住支援	29件
緊急対応	0件
合計	40件

⑤会議・研修等

地域での障害者(児)支援 への参加	研修事業		
	センター主催(共催)研修	講師派遣	派遣研修・他都市視察
中部障害者地域自立支援協議会事務局会 議 法テラス京都 ヒアリング 医療的ケア専門部会 担当者会議(令和2 年度第1回) WRAP講座 令和元年下京こころのネットワーク第3回実 務者会議			

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和2年6月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの記録等でも可

《今月の相談傾向》

①70代女性/身体障害/居住区不明 (城)

同居の義理姉からの電話相談。

【概要】

本人の「働きたい」との希望で、障害者職業相談室に行ったところ、なごやかを紹介されたということ。

【対応】

相談電話等あれば、城職員が対応する(居住地、氏名確認すること)。

②40代女性/精神/中京区 (中條)

【概要】

・支援センターらしくなんに引き継いだら、本人がらしくなんの対応に不満をもち、第三者委員などにも苦情をされている様子だった。

・本人より、なごやか(中條)への相談支援再開希望。

・以前、ウエノ診療所含めてカンファレンスをした際、支援再開時の枠組みとして3点確認している。①暴言等あれば相談支援中止。②相談員が本人⇄行政や家族との文書のやりとりを仲介しない。③買い物代行等は相談員ではなく、ヘルパー支援が担うこと。

・担当変更も考えたが、新担当に負担を強いることの抵抗感はある。

・女性に対するライバル心強いため、担当は男性職員がよいと思っている。

【意見】

・一人で担うには負担も大きいので、複数担当制をとるのはどうか？

・担当者変更しても、同じことになるので、意味がないのではないかと？

・本人のユニークさも、支援者が暴言等に対して我慢してしまう傾向がある。相談支援を担うのであれば、経過を踏まえて、枠組みは徹底していくべき。できなければ、相わなくてよいと思う。

【対応】

中條が担当。医療機関、行政機関とも共有・協力体制を確認したうえで、上記①～③の枠組みを徹底して関わる。

※その後の報告

6/22(月)に福祉事務所にてケースワーカー立会いのもと、相談支援にあたっての確認内容を書面で本人に提示して確認した。

各項目について本人より同意は得られたものの、「誹謗中傷ととれる発言などがあれば一旦相談支援を中断する」旨の話について「誹謗中傷とはどんな内容のことを言うのか」という質問があり、中條より「相手の人格を否定するような発言(例:アホ、バカ、死ねなど)」を例にとり説明した。本人からは「うちは感情の抑制が利かず感情的に話してしまう恐れがある。感情的になったら相談できなくなるのか」と尋ねられ、中條より「感情的に話す時は相談支援自体が成り立たないので、その時は一旦相談を終えて、時間を置くことを勧める。こちらからの促しに応じなければ相談支援を中断する場合がある」と伝え、本人より了承を得た。

⇒今後、本人からの相談の中で暴言を寄せられることがあれば、「今の状態では相談が受けられない」ことを伝え、電話を切るなどの対応を行う。

③40代女性/精神・知的・発達/南区 (高瀬)

市営住宅の申し込みに際して、緊急連絡先として関係機関を登録することについて

【意見】

・父、兄(障害あり)、本人の世帯で身寄りもないようなので関わりの必要性は感じる

・本人が独立した場合や相談関係が終結した場合の緊急連絡先の変更についての確認が必要ではないか

・賃貸契約はおそらく父親がなっているのであれば、父親の支援者(ケアマネなど)がいるのであればそこにまず相談をする方がよいのではないかと

・居住支援法人や市の担当部署へ本人との支援関係が終了すると緊急連絡先としての対応ができなくなる旨の確認をしないとほうがよいのではないかと

結果

・契約者の確認(父の支援者等で緊急連絡先になれる機関があるのかも)

・その上で関係機関がなければなごやかの事業所名で緊急連絡先となるがその際も本人との支援関係が終了したり転居した際の対応についての確認をしておく

④30代女性/精神/南区 (城)

訪問看護ステーションこくーる |山本氏より相談あり。

【概要】

6/11より岩倉病院へ入院中。父親が退院後の生活支援について支援センター「らしくなん」電話をしたら断わられた。本人からは退院の希望があり、退院後に利用できるサービスについて調整を希望されている。

【対応】

「らしくなん」に事実確認をしてどのように対応をしたか？退院時に相談があった場合は「らしくなん」が対応可能かを「らしくなん」へ確認の電話を行う。

⑤50代男性/精神/東山区 (田中)

いわくら病院 向井PSWより相談あり。

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年7月分

相談事業者名:京都市中區障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	10	人
継続	85	人
合計	95	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)							利用者以外									合計	
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH CH	入所						
身体	0	5	3	1	2	0	5	10	4	0	0	0	0	0	0	0	7	37
知的	2	1	38	10	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	55
精神	10	33	91	13	52	0	8	72	15	0	4	0	66	1	3	29	397	
重複	5	28	69	4	38	0	3	36	23	0	7	6	53	0	0	13	285	
障害児	0	8	6	1	3	0	2	4	0	0	0	0	6	1	0	2	33	
その他	7	5	7	0	6	0	3	2	5	0	0	2	5	4	0	2	48	
合計	24	80	214	29	102	0	23	124	47	0	11	8	130	6	3	54	855	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	16	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	21	42
知的	0	5	1	5	0	1	0	8	0	0	0	0	6	6	50	82
精神	19	80	26	35	4	1	1	16	0	13	7	10	84	17	161	474
重複	11	44	28	43	5	2	0	2	0	3	1	0	71	19	114	348
障害児	2	8	0	1	0	0	8	0	0	0	0	0	13	0	16	48
その他	2	5	5	11	2	0	0	3	0	1	0	0	6	1	22	58
合計	34	158	60	103	11	4	9	29	0	17	8	10	182	43	384	1952

④ケース会議等

	ケース会議 参加件数	ケアプラン 作成件数	セルフプラン 作成援助
身体	2	0	0
知的	0	0	0
精神	2	1	2
重複	7	1	0
障害児	1	0	0
その他	2	0	1
合計	14	2	3

③相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	4件
居住支援	17件
緊急対応	0件
合計	21件

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和2年7月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

①20代女性/精神/中京区（高瀬） ※継続

…寂しさを埋めるためにSNSで女性とつながったことが逆に精神的な負担となっている。カウンセリングを希望されており、どのような情報を提供したらよいか意見をいただきたい。

【意見】

- ・主治医の指示のもとでのカウンセリングであれば自立支援医療の範囲で受けられるが、
- ・民間のカウンセリングとなると料金がかかる。なごやかからの情報提供とともに、主治医にも相談するよう勧めたらどうか。
- ・カウンセリングを受ける目的について本人と確認した方がよい。

②50代女性/知的(療育B)/中京区（中村） ※新規

【概要】

- ・母親からの相談。
- ・祖母(75歳)、本人、長女(28歳、重度の知的障害)の三人暮らし。
- ・平日は横大路福祉工場に通所しており、同法人内の相談支援事業所が計画相談で関わっている。
- ・本人の万引き行為が収まらない。
- ・藤口氏(中京障害保健福祉課)からは「過去に虐待ケースとして対応した経緯があり、親子関係(祖母一人)との関係が悪く、その影響が長女に出ていることから、支援センターの関わりが望まれる」との評価あり。

【対応】

- ・関係機関から情報を収集し、支援状況を確認する。
- ・祖母が来所相談を希望されており、中村職員・

③30代男性/診断名なし/中京区（中條） ※新規

【概要】

- ・母親からの相談。
- ・義父・母・実妹・義妹との5人暮らし。
- ・高校2年生の時に高校中退。以降、自宅への引きこもり状態。一時期心療内科に通院したことはあるが、主治医と合わず中断。
- ・現在、どの相談機関にもつながっていない。
- ・今後のことを相談したい。

【対応】

母親に相談してもらい面談を実施予定。山本主任と中條で対応。

④精神手帳未所持・障害年金未受給の長期入院者の地域移行支援の利用について(田中) ※新規

【概要】

いわゆる病院の地域移行支援利用予定者の中に、精神手帳未所持・障害年金未受給の方がいる。行政に確認すると「障害があるという証明の為診断書が必要。」と言われたが、診断書料は本人負担。本ケースは療育手帳申請の予定がある為何とかなるが、地域移行支援を利用する際のハードルとなることを危惧している。相談受付表を作り替える為、必要項目を聞きながら追加することは可能だが…。

【意見】

- ・実績報告に記入することで行政でも考えてもらえないか
- ・『医師意見書』という形になると医療側が報酬を受け取れない
- ・地域でも福祉サービス利用時間と課題はあるのでは

⑤30代男性/知的/中京区(山本) ※継続

【概要】

最近暴言が多く、以前行ったことがある誓約書を作成して相談の制限をするかどうかを検討している。お願いだけでは伝わらずペナルティが必要と思われる。こちらも暴言を聞いて話を聞くことは「受け入れている」ことにもなる。

【意見】

- ・他機関にも同じように連絡されている。

【対応】

本人と相談を控える日数を話し合い、誓約書作成をする。(面談時、藤井施設長または中條副施設長が同席)

⑥20代女性/精神・発達/中京区（城） ※継続

【概要】

・地域移行支援の利用について検討中。

・いわゆる病院に入院中。衝動性が強く家族の受け止めが厳しく退院先が未確定。最近ADHDに効く薬を開始してから多飲水や対人トラブルが少しずつ落ち着く。今後外出同行予定。本人と動きながら退院先等を検討するが、地域移行支援を利用することで丁寧な関わりが可能かと思っている。本人との関係性の面から、城職員が地域移行支援で動こうと思っているが、意見を聞きたい。

【意見】

- ・移動支援は本人が不調で外出出来ない時はトクヤケン。地域移行なら院内面談でも可能。地域移行で調整してから移動支援等の利用を進めても良いのでは。利用対象の幅も広くなり本人も対象。丁寧なアセスメント等も可能。

【対応】

医療機関に地域移行利用の提案をしていく。本人の負担軽減のこともあり、計画相談・地域移行は城職員が担う。

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年8月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	8人
継続	85人
合計	93人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(リハビリケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH/CH	入所						
身体	0	2	6	1	1	0	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	19
知的	4	0	23	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	32
精神	6	26	50	9	41	0	16	40	8	0	1	0	38	0	0	47	282	
重複	4	31	48	7	35	1	9	34	19	0	1	4	47	0	0	20	260	
障害児	0	4	7	4	12	0	7	10	7	0	0	0	6	7	0	0	64	
その他	0	3	7	0	9	0	3	4	3	0	0	0	5	0	0	4	38	
合計	14	66	141	23	98	1	37	93	39	0	2	4	96	7	0	73	694	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	8	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	11	24
知的	1	2	1	3	0	0	1	7	0	0	0	0	3	3	26	47
精神	2	49	20	20	6	0	2	10	0	15	7	7	58	17	136	349
重複	5	38	8	41	5	0	1	1	0	11	0	0	62	10	114	296
障害児	0	12	3	7	0	0	9	0	2	0	0	0	11	0	24	68
その他	0	5	7	3	0	0	0	1	0	0	0	0	4	3	15	38
合計	8	114	39	75	11	0	13	20	2	27	7	7	140	33	328	822

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成件数
身体	0	1	0
知的	0	0	0
精神	1	0	0
重複	1	2	0
障害児	0	0	0
その他	4	1	0
合計	6	4	0

③相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	5件
居住支援	19件
緊急対応	1件
合計	25件

⑤会議・研修等

地域での障害者(児)支援への参加	研修事業		
	センター主催(共催)研修	講師派遣	派遣研修・他都市視察
中部障害者地域自立支援協議会8月事務局会議 第4回 地域移行MT 相談支援専門員カフェ(2020年度第1回) 京都市中部障害者自立支援協議会 8月運営会議 令和元年下京こころのネットワーク第5回実務者会議 2020年度第2回グループホーム専門部会担当者会議 京都精神保健福祉施設協議会役員会	研修委員会(令和2年度第2回)(6人) 法人中堅職員研修(令和2年度第1回)(17人)		障害者虐待対応に関する業務研修(令和2年度)

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年9月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	11	人
継続	91	人
合計	102	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH CH	入所						
身体	0	3	4	0	2	0	0	8	0	0	0	0	0	1	0	0	1	19
知的	1	1	22	2	2	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	34
精神	6	46	69	7	59	0	11	45	10	0	0	1	60	0	0	20	334	
重複	3	37	66	10	27	1	9	35	20	0	0	8	47	0	0	17	280	
障害児	2	1	13	3	9	0	2	22	5	0	0	0	6	4	0	0	67	
その他	3	2	12	0	6	0	2	0	1	0	0	1	2	2	0	6	37	
合計	15	90	186	22	105	1	27	110	36	0	0	10	117	6	0	46	771	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	8	19
知的	1	2	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	29	40
精神	5	55	9	21	22	0	11	9	0	3	2	3	65	15	145	365
重複	6	39	23	36	4	0	0	1	6	4	1	0	80	9	114	323
障害児	6	28	1	6	0	0	7	0	0	0	0	0	14	0	20	82
その他	0	3	5	8	3	1	0	4	0	3	0	0	9	4	18	58
合計	18	135	39	71	29	1	18	15	6	10	3	3	174	28	334	887

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成援助
身体	0	0	0
知的	0	0	0
精神	4	2	0
重複	1	0	0
障害児	1	1	0
その他	3	0	0
合計	9	3	0

③相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	0件
居住支援	11件
緊急対応	1件
合計	12件

⑤会議・研修等

地域での障害者(児)支援 への参加	研修事業		
	センター主催(共催)研修	講師派遣	派遣研修・他都道府県
中京ネットワーク 事務局会議 地域課題研究会担当者会議(令和2年度第 2回) 中京ネットワーク 実務者会議 ケース会議(竹中博司) 令和元年下京こころのネットワーク第5回実 務者会議	法人内管理職員研修(令和2年度第1回) (9人) 法人全体研修(令和2年度第2回)(20人)		

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和2年9月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

①10代女性/療育B/下京区(山本)※継続

- ・母からの電話相談後、療育手帳取得の帰り本人と母で米所相談される。
- ・母からは職業訓練を受けさせたいと訴えがある。お母さんの意向と本人の意向がどこまで一致しているかわからない。本人にも意向確認したが返答はなかった。
- ・ご本人は受け答えや所作などで小学生くらいの印象を受けた。
- ・面談時の対応としては一般就労と福祉的就労の選択について説明を行った。その結果、障害者職業相談室に行ってみようかと母から話が出た。
- ・今後のかかわりとしては一旦終結。また希望があれば相談を受けることとなる。

②30代男性/うつ/上京区(中條)※継続

経過としてはかれん工房での体験を終え通所に向けて計画相談が必要だが、今までの経過から相談支援事業所こうさいから断れ、支援センター「にしじん」からは委託相談なら対応できると返答をされている。「なごやか」には「みなと寮」の岡本氏より計画相談の依頼が来ている。

(意見)

- ・過去(平成28年度にかかわったとき)と状況が変わっていないように感じる。B型利用することが適切なのか。計画相談ではなく委託相談で受けるという形でもいいのではないかと思う。
- ・過去の関わりの中では対人トラブルが多く、本人のとらえ方で相手の批判をされて関係破綻されてきている印象がある。北海道での牡蠣の皮むき作業が良かったことなどから人とのコミュニケーションをとるところよりも作業を黙々とするようなところが良いのではないかと感じる。
- ・行政機関としては本人がB型利用を希望されているのであれば支給決定はされるのではないか

[結果]

- ・中條副施設長より行政機関、かれん工房への確認をしたうえでまた3者(藤井、中條、山本)での検討をする。

③20代男性/療育B/下京区(中條)※新規

今後の一般就労に向けての進め方と、年金の診断書作成にあたり病院の紹介を求めて相談あり。

④20代女性/発達障害/上京区(城)※新規

主訴としては京都市への転入後の行政での手続きのフォローをしてもらいたい。シェアハウスに住まれるという事でサービス等の導入はできるのかどうか？

[意見等]

- ・相談してもらうことは可能
 - ・訪問看護などもご本人の住居ではあるので可能だとは思いますが…。
 - ・自立支援医療の通院先の登録は一か所
 - ・デューン(訪問看護)同士での引継ぎが可能なのか、可能であればそこに同席をする
 - ・訪問看護利用には主治医の指示が必要なので京都での受診までの間先代の病院での指示を出してもらえないのだろうか
- [結果]
- ・女性職員2名(難しければ中條、山本のどちらか)での初回面談実施を行う。可能であればデューンの引継ぎの時など関係者との同席での実施を行う。
 - ・府外よりシェアハウスへ入居する。転入に関する手続きなどの同行支援を行う予定。
 - ・仙台市在住時フードバンク定期利用、京都市でも利用出来るか相談あり。

(意見)

- ・なごやかに届けてもらったケース(3ヶ月有期限)はあった。
- ・前払い、後払いの配食サービス
- ・子ども食堂(年齢制限は不明)
- ・デイケア、ナイトケア(通院先別でも可能か?)

⑤40代女性/発達障害/中京区(高瀬)※新規

【概要】中京区生活福祉課 金木CWからの依頼ケース。自閉症の特性があり、予定の組み立てが苦手。今後福祉サービスの利用を検討し計画相談での関わりが予想される。自宅内に入ることがあるため女性の担当者が望ましい。

【対応】城職員が担当する。

⑥30代女性/精神/中京区(城)※継続

モニタリングの中で共同実践が出来ていない状況を受けて支援の見直しを行い、夫への支援に切り替えることになった。本人の福祉サービスは更新せず計画相談は終結となり、今後は委託相談の中で対応していく。城職員は夫の計画相談を担当する。

⑦20代男性/知的(療育手帳B)/上京区(城)※新規

【概要】本人より「工房リーフ」の退所希望があり、今後の計画相談が担えなくなることから計画相談事業所を探している。ヘルパー事業所の意見が強く、計画相談が成り立つかが懸念される。

【対応】計画相談の事業所探しについて上京区障害保健課に相談していただく様「工房リーフ」に返答する。

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年10月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	15	人
継続	101	人
合計	116	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外												合計	
	来所	訪問	電話	その他	WO	IIC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設				医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他			
								居宅介護等	通所	短期入所	GI/CH					入所		
身体	1	4	3	0	0	0	4	9	3	0	0	0	0	0	0	0	1	25
知的	3	2	14	0	7	0	1	3	1	0	0	0	1	0	2	5	39	
精神	9	48	97	8	63	0	3	44	16	0	0	0	66	0	6	19	379	
重複	7	27	69	9	27	2	4	31	27	0	0	3	33	0	0	23	262	
障害児	0	4	13	4	5	0	5	15	3	0	0	0	8	3	0	2	62	
その他	1	3	7	7	8	0	3	0	5	0	0	4	3	0	0	2	43	
合計	21	88	203	28	110	2	20	102	55	0	0	7	111	3	8	52	810	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
知的	5	13	0	7	0	0	0	8	0	0	0	0	8	3	25	69
精神	3	69	20	34	25	3	3	17	0	5	1	0	67	24	196	467
重複	5	56	18	35	4	3	1	2	1	17	0	0	62	22	115	341
障害児	1	22	0	5	0	0	12	0	0	0	0	0	22	2	33	97
その他	2	5	2	11	2	0	0	1	0	5	1	1	6	3	21	60
合計	16	178	40	97	31	6	16	29	1	29	2	1	169	54	398	1067

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成援助
身体	1	1	0
知的	1	0	0
精神	5	3	0
重複	3	1	1
障害児	0	0	0
その他	2	0	0
合計	12	5	1

⑤相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	3件
居住支援	29件
緊急対応	0件
合計	32件

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和2年10月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

①20代女性/精神/南区(田中) ※継続

【報告】

- ・ 昨年11月よりサービス利用状況なし。モニタリングもできず。連絡とれず。今年9月末でサービス更新切れ。7月末から訪看(開く)も月1回の往診もできていない。メールでのやりとりはあるようで、本人へ入院勧めている様子。
- ・ 居宅介護事業所や南区障害保健福祉課に相談の上、なごやかより計画相談終結のお知らせ(委託相談での継続可)の文書を、本人へ送付している。

②40代男性/精神/下京区(田中) ※継続

【報告】

10/4義理の姉の父が亡くなったことで横浜に行っていることがわかった。

③50代男性/知的・療育手帳B/中京区(中條) ※新規

【内容】

- ・ 中京区社協・早樫さんからオブザーバーとして、ケース会議への出席依頼。
- ・ 過去、よしだ学園(A型)からなごやか(中條)に連絡があったことがある。
- ・ フィギュア等収集、部屋が物であふれており、高齢の母に適した住環境ではないこと等を検討するための会議。母のケアマネ、中京区社協、よしだ学園(担当者、相談員)、ヘルパーが出席予定。

【意見】

- ・ 物を捨てることは難しいと思う。導線を確保するため、荷物整理する方法を探していけたらと思っているが、他にもご意見があれば伺いたい。
- ・ チラシの収集されている方。自分の意思では捨てられず、こっそり捨てても本人わかる。本人がちよつとずつ捨てることを支援した。本を買う時にヘルパーと一緒に買うようにして入る量を減らしたり、小遣いの金額設定等した方がいる。
- ・ 自閉症傾向のある方。ゴミ箱はきっちり一杯にならないと捨てないとか、物を写真に収めてからでないとか捨てられないとか。何か視覚的に枠組みを設定することが有効であると、医療機関からの評価があった。ゴミ箱の蓋をしめることで、ブラやペットの汚れが気になって洗う行為が改善された。レンタルガレージ。
- ・ 方法よりも、本人のこだわりを理解することに重点において参加してはどうか。
- ・ 母との関係でルールがなし崩しになる可能性や、母亡き後のことも気なる。

④40代男性/知的・療育手帳B/中京区(中村) ※新規

【内容】

- ・ 9/24本人からの電話相談。個人情報と理由に詳しくお話聞けなかったが、翌日保護観察所・内田氏より電話相談。
- ・ 本人はスーパーのレシートを拾って返金求めたりする等の行為が重なり、平成30年3月逮捕。令和2年2月頃に出所。保護観察処分が10/25まで。令和2年3月頃「かがやき」で検査したが、発達障害でないとされた。子どもの頃育った児童養護施設「和敬学園」施設長が身元引受になったが、金銭トラブルとなったようで少しずつ返済。保護課にも返還金が発生しているみたい。
- ・ お金への執着強い。保護観察期間過ぎたら、パチンコや競馬等されると思う。個人情報と言って「てんかん」「療育手帳」「犯罪歴」等のことを話題に出されるのに強く反応される。スイッチが入ると怒鳴り続ける。かがやき、中京生活福祉課、中京障害保健福祉課などの窓口でも怒鳴り続けることがある様子。
- ・ 職員が9/24の電話対応時、こちらから詳しく質問をした際、「そんなん言ったら犯罪に巻き込まれるぞ」と威圧的な反応をされている。

【対応】

- ・ なごやか来所時、本人が怒鳴り続けられた時の対応や、本人に関してさらに必要となる情報等について、藤井、中條、山本、中村とで再度検討する。
- ・ 保護観察所、本人から電話相談がある。主訴としては働くことの相談。
- ・ 藤井施設長、山本主任での面談対応を行った。
- ・ 最初は警戒心高かったが、穏やかに話することができた。B型事業所等の福祉的な就労についての相談を受けていくことはできると伝えている。20日(火)に再度面談予定。(藤井施設長、山本主任)

⑤50代女性/統合失調症/下京区(中村) ※新規

【内容】

- ・ 男性利用者から「なごやか」の情報を聞いての相談。
- ・ 隣の家の音が気になって男性利用者宅で生活している実態がある。
- ・ 坐骨神経痛で外出しづらく、電話相談での希望

【対応】

- ・ 相談については電話に出た職員が聞いていく
- ・ 電話相談は受けつつ、今関わっている支援者に相談をしていけるようなかかわりをしていく。
- ・ 現在関わっている訪問看護コールへの連絡することについて了承をもらう

【内容】

Uber Eatsの仕事をしている。工務店の仕事はコロナで休んでいる。確定申告の「どうして同行できないか？」を求められたが、一定金額は申告しなくていい。利用者の関わりがなくなってしまうのが悩み。

⑦20代女性/精神/中京区(高瀬)※継続

【内容】

調理や生活面のサポートの関わり。10月末に中京区への引っ越し予定。

実弟が母親からの虐待により虐待会議にあがっている。本人も通院が中断している。実弟の支援者とつながっていた方がいい。

【対応】

母親を含めた面談の調整を行う。

⑧年齢不明/精神/中京区(高瀬)※継続

中京区障害保健福祉課 金子氏からの依頼。本人の体調不良、面談までに至っていない。

⑨30代女性/知的・療育B・発達障害/下京区(中村)※新規

本人から片づけを手伝ってほしいと相談、下京保健福祉センターの高津氏より依頼。2年前、支援センター「右京」が関わって週2回、共同実践でヘルパーが入っていたがキャンセルが多い。下京転居の理由は不明。

⇒中村が高津氏と訪問をして、ヘルパーをすぐに導入より本人と関わっていく中でヘルパー事業所をみつけていく。精神障害2級(期限切れ)

⑩20代女性/(精神手帳申請中)解離性障害/中京区(城)※新規

実家は山口県、姉が岡山、父、家賃等は仕送りあり。

瀉血…針をいれて血を抜く行為。入院中にストッキングを首にまいたりしている。

最初にヘルパーが入るのが適切であるか？自宅内で瀉血やリストカットをしていた時の対応。何かあった時の緊急搬送先の確保、枠組み。しっかりとアセスメントをする。多職種がチームを作って関わる方がいい。疑問のなかで経験からではなく、虐待や性被害等の学習機会をつくる。⇒元サリュの瀬端さんが立ち上げた(くらしのコツ)⇒専門機関につなげる、グループワークの紹介など

〈なごやか方向性〉…病院から退院後の生活を聞き、医療機関で何を求めているか？落ち着いているときや在宅での様子はどのような状態か？具体的な対応。予想の対応を考えていく。

緊急対応時や職員の負担を軽減、複数対応(中條副施設長、城職員)

病院のカンファの機会をもてるように、城職員から佐津さんに連絡する。

⑪40代男性/脳梗塞左半身まひ/中京区(中條)※新規

リハビリもしていた。ケアマネがついていて介護保険と障害福祉を利用。日中先を探したい、週1回から始めたい。就労の情報提供とつなぐところまで支援していく。

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年11月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	10	人
継続	100	人
合計	110	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH	CH					入所	
身体	0	5	1	0	4	0	1	13	1	0	0	0	4	0	0	0	29	
知的	2	4	13	0	5	0	1	7	2	0	0	0	0	0	1	3	38	
精神	5	41	82	4	41	0	4	38	9	0	0	0	68	0	0	30	322	
重複	6	40	56	6	34	1	4	31	33	0	0	9	35	0	0	17	272	
障害児	0	3	8	3	5	0	4	15	4	0	0	0	3	2	0	0	47	
その他	1	3	9	0	5	0	8	2	7	0	0	6	3	0	0	10	54	
合計	14	96	169	13	94	1	22	106	56	0	0	15	113	2	1	60	762	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	15	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7	0	9	32
知的	7	15	2	4	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	26	59
精神	1	51	12	26	14	1	1	10	0	16	2	0	53	28	151	366
重複	7	43	21	41	5	2	0	0	0	13	1	1	60	16	109	319
障害児	3	23	1	7	0	0	9	0	0	0	1	0	11	0	16	71
その他	8	6	2	12	3	0	0	0	1	1	11	4	7	7	18	80
合計	26	153	38	90	22	3	10	14	1	30	15	5	140	51	329	927

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成奨励
身体	0	0	0
知的	0	0	1
精神	6	1	0
重複	5	2	0
障害児	0	0	0
その他	4	0	0
合計	15	3	1

③相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	7件
居住支援	24件
緊急対応	0件
合計	31件

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和2年11月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

①50代女性/精神/中京区(高瀬) ※継続

・ネットで知り合った男性とトラブルになったらしく、相手の男性から「会社に行く」等言われ、本人から怖いとの相談。かれん工房通所者なので、齊藤施設長にも相談したところ、緊急時にはなごよかの男性職員の協力等も考えては？との意見があった。本人は、家族への相談について消極的。
→ 緊急対応は警察が行うのが望ましい。現段階から、本人、関係者が警察やストーカー専門相談窓口へ相談しておくのがよいのではないかと。

②20代女性/精神/中京区(山本) ※新規

・以前来所された中京区役所寄り添い支援(ひきこもり担当)から、改めてなごよかへの相談依頼の電話。今週土曜日(11/7)、山本が寄り添い支援係長・廣瀬氏と母との親所面談予定。面談結果を相談受付票にまとめ、次回の相談ミーティングで検討できるようにするつもり。本人はこれまでの経過を関係者から説明してほしいとの希望があり、なごよかの定期面接ができるのであれば、女性職員の対応を求めている。

③30代女性/精神/中京区(城、中條) ※新規

・看護学生。いわくら病院入院中。カンファレンス出席している。病院からは復学目指した在宅支援の必要や、本人の自己対処をリスクの低い行動につなげていくようなアプローチについて話が合った(瀉血→リストカット→〇〇)。本人とも面談しているが、緊張度高く、副作用の訴えもあり、十分話ができなかった。緊急時は、民区連で診てもらおうようにいわくら病院が依頼しているということ。
→ なごよかとの相談関係を構築していく中で、必要なサービス内容も検討する。

④40代女性/視覚障害・精神/上京区(中條) ※継続

・息子を自死で失くされている。息子が滞納していた支払いがあることや、居室の原状回復費用が必要となっている。本人が相続を受けた場合、民法上はそれらの支払いを行うことになる。放棄することもできる。本人自身で手続き難しいという理由で、こちらに後見人申立や相続放棄を依頼されている。行政書士の方などに相談して、進めていこうと思う。
・先日息子が自死。相続放棄を進めたい思いから、家族は行政書士に相談し本人の成年後見制度申請の動きをする意向。主Dr.は「後見ではなく補助相当」との見解。死亡確認後3ヶ月以内に相続放棄を行わないといけない為時間がなく、本人家族で話し合った結果、法テラスを使わず費用を家族が立て替えて進めることになったが、本人に費用を払える経済的余裕はない。後見申立には3ヶ月以上かかる。なごよかから行政書士へ法テラス利用を相談すると「費用は家族が出すと聞いている。」と言われる。家族へ連絡すると三女夫から「家族のことに口を出さず、手続きが止まったらどう責任取る。そのような提案をするなら全てそちらで行え。」と。11/18(水)行政書士と話を予定。このまま家族の意向で進めて良いのか。本人が返せる見込みはない。

(意見)

- ・費用について、法テラス利用の費用と申し立て費用は別である。申立人による費用負担の違いについて確認する必要がある。
- ・後見相当なら自費がかかる、保佐・補助なら費用がかからないというケースも経験したことがある。
- ・相続放棄の期限が緩和されるのであれば、家族も方法を考えてくれるのでは
- ・『本人の最低生活費を下回る生活』が本人にとっての不利益
- ・家族への返済方法について第三者(補助人?)の介入の必要性
- ・行政書士、社協との話し合いを行った。行政書士から本人が払えないことを前提に家族申し立てでの手続きが進んでいると話を受けた。

⑤50代女性/精神/中京区(中村) ※新規

・中京区生活福祉課保護係・武甕(たけみか)氏より電話相談。
・精神手帳2級、うつ、統合失調症感情障害、としもりクリニック通院中。
・過去京都で生活保護受給されていたが、東京で結婚。覚せい剤で逮捕。
・B型事業所通所の希望がある様子。
・金銭管理も難しいようで、武甕氏から区社協にも支援の相談もされている。
・本人は障害保健福祉課でも相談されたようだが、誰がどのような対応をされたかよくわからない。
・武甕氏が本人になごよかへの相談意向を確認することになっている。
→ 武甕氏から相談依頼があれば、再度相談ミーティングで検討する。
→ 武甕氏に、本人が障害保健福祉課の誰にどのような対応をされたか確認してもらおう。(後で、なごよかから中京障害の窓口を確認してもいいと思います)
→ 先週火曜日に面談。中京区社協、生活福祉課の関わりがあり同席される。過去の逮捕歴を気にされている。B型事業所へつないでいく予定。

⑥40代女性/うつ・ハンチントン病疑い/上京(虐待ケース)(中村) ※継続

9/3、保健福祉センター、スマイルエイド(訪看)、中村職員で訪問。父、本人、妹と面談。その後定期面談をするという事で話が終わっていたが、この間、妹から本人への虐待(暴力、暴言)が分かり、11/13(金)11:00~12:00上京区役所 多目的室にて会議を開催予定。父→地域包括、本人→訪看につながっており、妹の相談相手がいない。中村氏は当日学校の送り迎えの支援があり、途中退出しなければならぬ。

【結果】 藤井施設長、中村職員で会議に出席。求められている対応を確認する。

・現在3/w訪問看護導入。

通院介助・居宅介護利用の方向となり、計画相談依頼あり。11/20(金)認定調査。本人への告知について母方叔母(石川氏)は「私からは告知出来ない。」と。

父はパーキンソン病が確定し介護認定おけるも『家族(妹)が元気』という理由で居宅支援が入れない。常時家族は一緒にいるが、それぞれの意向が確認出来ない。妹は「本人が動けないのはサポートしている。」と攻撃的。妹もハンチントンの可能性があるが「自分は元気だから。」と、妹も「んがさ(家事)を抱えているが相談相手がない。本人のヘルパー支援時 妹の話を聞く休憩が

支援者の関わりがバラバラでまとめてもらえる事業所がないので計画相談をお願いしたい

〔意見〕

- ・役所への虐待通報をされているがそのままになっているのは問題
- ・50歳代で生活保護受給者なので障害福祉サービスが優先になるのではないか
- ・介護保険を受けなかった理由はどういったことだろうか
- ・西ノ京包括や高木クリニックの相談員の方などが関わっている為そこでの取りまとめができないのだろうか
- ・医療給付金が確認できれば生活保護の停止になり介護保険になるのではないか
- ・ケースの依頼という形ではなく相談者の藤井氏の困りごとをしっかりとらうかがう必要があるのではないか

〔結果〕

相談者の藤井さんへ連絡を行い、現時点で計画相談を受けるという事ではないが、藤井さん自身の具体的な困りごとについて確認して、必要に応じて来所での対応を行う。

⑬60代男性/精神/下京区(中村) ※継続

西山高原工作所に通所が決まれば相談支援事業所こうさいへ計画相談を依頼して行く

⑭ 50代女性/精神(2級・うつ)/下京区(城) ※継続

〔主訴〕

電話でのカウンセリングは可能か。長男が通っていた総合支援学校(高等部)の担任に相談したら支援センターを紹介され連絡をした。

⇒電話相談の結果、利用について再検討して改めて連絡をいただくことになっている。

〔意見等〕

- ・以前から相談のある澤秀勇氏の母と思われる
- ・関わりのある息子もいる為訪問は難しいかもしれない
- ・状況にもよるが基本来所での相談になるのではないだろうか

〔結果〕

今後連絡があった時に受けた職員が対応する。初回面談は複数での対応。

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和2年12月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	9人
継続	97人
合計	106人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外												合計		
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他			
								居宅介護等	通所	短期入所	GHCH	入所							
身体	0	2	2	1	3	0	1	5	0	0	0	0	2	3	0	0	1	20	
知的	2	2	15	0	3	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	31
精神	10	44	65	9	46	1	16	35	13	0	0	0	6	0	0	0	29	332	
重複	3	35	60	4	41	1	3	23	26	0	0	2	40	0	0	0	34	277	
障害児	0	6	5	2	3	0	5	10	4	2	0	0	5	1	0	0	1	44	
その他	0	2	11	0	8	0	3	0	4	0	0	0	4	0	0	0	4	36	
合計	15	91	158	16	104	2	28	80	49	2	0	4	116	1	0	0	74	740	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	1	10	0	1	1	6	0	0	0	1	0	0	5	0	7	26
知的	5	8	0	4	0	0	0	4	0	1	0	0	3	3	19	47
精神	3	68	18	25	35	2	0	4	0	7	5	0	65	19	145	389
重複	19	61	11	40	3	0	0	0	1	25	2	0	61	17	115	355
障害児	3	11	0	7	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	18	49
その他	0	2	2	4	2	0	0	2	1	0	2	0	9	7	17	48
合計	31	150	31	81	41	2	5	10	2	34	9	0	148	46	324	914

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成援助
身体	0	0	0
知的	0	0	1
精神	1	2	0
重複	2	5	1
障害児	0	0	0
その他	3	0	0
合計	6	7	2

③相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	7件
居住支援	19件
緊急対応	1件
合計	27件

⑤会議・研修等

地域での障害者(児)支援への参加	研修事業		
	センター主催(共催)研修	講師派遣	派遣研修・他都市視察
京都精神保健福祉施設協議会役員会 健康教室(中京区こころ・愛・ふれあいネットワーク)	法人内管理職員研修(令和2年度第2回)(10人)	相談支援従事者初任者研修演習4日 法人内研修委員会(令和2年度第5回)(6人)	支援がないから退院できない!? (居宅介護事業連絡協議会12月定例会)
中部障害者地域自立支援協議会12月事務局会議	法人内中堅職員研修(令和2年度第3回)(13人)	相談支援従事者初任者研修演習5日	
京都市中部障害者自立支援協議会 12月運営会議			
相談支援専門員カフェ(令和2年度第3回)			

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和2年12月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

① 40代女性/身体2級・精神3級/南区(らくどうからの紹介)(中村)※新規

【概要】

生活保護の申請について、母の理容店が閉店になった時に生活が成り立たない。持家があるから保護が受けられないことはない等を説明。

【対応】

今の自分にあった福祉サービスやゆっくと探せる居場所→福祉サービスの説明、しおりと事業所一覧表を渡す。

⇒本人から希望があった場合は山本主任か中村が対応。

② 40代男性/精神/上京区(高瀬) ※継続

【概要】

お金のやりくりと家計管理。ハートフルアイリスで月1回の相談。なごやかでの定期面談の希望。

12月に生活保護が停止になり、来年の3月で保護が切れる前に一緒に考えてほしい。上京社協の日常自立支援事業を希望され、顔あわせの時に訪問。

【対応】

来年3月までの目途で高瀬職員がかかわっていく。

③ 20代女性/精神/中京区(中村)※継続

【概要】

祖母への虐待から中京区保健福祉課の下司氏からの依頼。一人暮らしや生活保護の支援をした。としもり先生から京都マックへ紹介があった。いづから病院に入院中。プライベートの悩みを飲酒で紛らわしているところがあり、本人がマックに入っても何を求めているかわからない。マックさんの生活訓練が切れてしまうと計画も終了をしてしまう。退院までに調整が必要。

【対応】

高瀬職員と中村で相談をして今後の計画相談の方向で進めていく。

④ 50代女性/精神/下京区(城) ※継続

【対応】

北山病院で高瀬職員が同席して面談。

⑤ 宮津市障害福祉課 安田氏からの問い合わせ(高瀬) ※新規

【概要】

宮津市から京都市中京区に転居予定の医療的ケア児(4歳)の件で問い合わせあり。医療的ケア児への支援について京都市の状況に関する情報提供を希望されていた。

【対応】

医療的ケア児の受け入れを行っている放課後等デイサービスや支援センター等での相談支援の状況などを伝え、障害保健福祉課や児童相談所への確認を勧める。

⑥ 20代女性/精神/中京区(中村) ※継続

本日退院。明日から京都マックに通所予定。

今月15日に計画案への同意を得る予定だが、その間支給決定がない中での対応となってしまうため、再度行政に確認した所、中京区障害保健福祉課大塚氏より「一旦申請を受け付けて後から計画案を受け取る」ことで9日からの支給決定が出る見込み。

⑦ 66歳男性/精神/宮津市(もみじヶ丘病院に入院中)(中條・田中)※新規

なごやか宛に本人よりハガキが届いた。「作業所とグループホームを探しています。折り返しお便りください」という内容。返答を希望されており、その対応について検討した。

→以前にもみじヶ丘病院に地域移行支援のパンフレットを送付したことがあり、そこに記載されているなごやかへの連絡先を見て問い合わせた可能性はある。対応として、田中職員より「もみじヶ丘病院」のSWに連絡し、相談することになった。

・病院の担当者ややりとりした。前日担当医に同じ話をされていた様子。今すぐ退院を考えられる状態ではないような話があった。

→地域移行希望について、病院だけが判断するものではないため、管轄の保健所などへも状況伝え、相談しておこうと思う。

⑧ 50代男性/精神/中京区(山本)※新規

福祉・後見センター京都中央からの相談対応

主訴①

「主となる相談員やコーディネーターがおらず、よりよいサービス利用のための調整や、情報集約、障害特性考慮した支援方針示す等の役割不在」

→山本:セルフプランが認められているため、サービス調整の責任は本人であるし、それを認めた行政にも責任がある状況。サービス調整で困ることがあれば、本人から(本人を中心として)役所に相談するのがよい。それを保佐人が担える範囲でサポートされたらよいのではないかと。相談内容は「なんとなくサービス調整役がいる」というぼんやりとしたものでないほうがよい。

【対応】

高瀬より関野氏へ連絡。ご本人との面談の機会を調整していただく。

⑭ 20代女性／発達／上京区(支援センター洛南より相談)(日本)※新規

【概要】

母より支援センターらくなんに相談。本人の母に対する暴言あり。母が区役所に相談し、宇治おうぼく病院へ入院となったが、退院後も状況変わらず。母と妹は住んでいたマンションを売って本人と別居している。らくなんからはご本人へできること、できないことを明確に返していたところ、担当者、支援センターの変更を希望。すでに支援センター「にしじん」に相談し「母を交えることは出来ない」伝えられ、なごやかへの相談を促されている。なごやかにもらくなん・にしじんと同じ対応を求められている。担当は女性希望。複数対応が望ましい。

【意見・質問】

- ・ご本人が母に求めていることは何か。
- ・母の住まいを本人はご存じなのか？
- ・主治医はどう見ているのか。
- ・ヘルパーとの関係。
- ・どうやって単身生活をしているのか。金銭管理など。
- ・これまでは緊急時に入院という対応を取られてきたのか。

【対応】

以上の質問を事前に情報収集。初回面談の対応は役職者＋女性職員でも可能か確認する。

⑮ 30代男性/精神/中京区(高瀬)※新規

【概要】

訪問看護ステーションチャオの関野氏よりご相談。ご本人は就労を希望しており、農業をしたいので京都を出たいという話もしている。現在左京区にあるヘルパー事業所で、農業関係者とのつながりがある職員と相談し、ヘルパーとお散歩等しながら徐々に関係をつくっていったらという話をしている。なごよかのことは「生活全体のコーディネート・相談にのってくれるところ」と紹介され、ご本人からもあってみたいと希望あり。

【対応】

高瀬より関野氏へ連絡。ご本人との面談の機会を調整していただく。

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和3年1月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	6人
継続	97人
合計	103人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH	CH					入所	
身体	0	2	4	0	2	0	2	7	1	0	0	0	1	0	0	0	0	19
知的	2	0	17	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	6	32
精神	9	41	45	9	40	1	13	23	23	0	0	0	40	0	0	29	273	
重複	2	34	54	3	30	0	6	47	17	0	3	5	51	0	0	20	272	
障害児	0	2	5	1	2	0	4	6	1	0	0	0	5	5	0	0	31	
その他	1	4	10	0	14	0	4	0	2	0	0	2	15	11	0	5	68	
合計	14	83	135	15	88	1	29	85	46	0	3	7	112	16	1	60	695	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	8	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	9	23
知的	0	3	1	6	0	0	0	4	1	0	0	0	3	3	26	46
精神	1	33	18	35	15	1	0	5	0	13	0	0	46	18	109	294
重複	6	56	14	35	4	0	0	0	0	7	0	0	73	17	107	319
障害児	2	6	1	4	0	0	11	0	1	0	0	0	9	0	13	47
その他	2	3	2	3	1	1	1	4	0	4	0	0	9	3	24	57
合計	11	109	36	86	20	2	12	14	2	24	0	0	142	43	287	786

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成補助
身体	0	0	0
知的	0	0	0
精神	4	4	0
重複	1	0	0
障害児	0	0	0
その他	5	0	0
合計	10	4	0

③相談支援内訳のうち

居宅サポート事業	
入居支援	1件
居住支援	18件
緊急対応	0件
合計	19件

⑤会議・研修等

地域での障害者(児)支援への参加	研修事業		
	センター主催(共催)研修	講師派遣	派遣研修・他都市視察
中部障害者地域自立支援協議会1月事務局会議 グループホーム専門部会 担当者会議 支援センターヒアリング(zoom使用) 事業所見学会内(フェルビー) 関係団体要望活動の話し合い(ZOOM)	法人内全体研修(令和2年度第4回)(24人)		

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年1月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

①20代女性/精神・発達/下京区(城) ※継続

<概要>

退院後単身生活をする予定。初めての単身生活となる為本人・支援者の不安も高く、場合によっては地域定着の依頼が入る可能性があり、事業所として受けられるかを確認したい。

<意見>

- ・緊急対応がないのであれば『障害者休日・夜間相談受付センター』でも対応可能では
 - ・実際に緊急対応をしないといけないケースか、代替案が持てないのか、頻度はどうか
 - ・男性職員が対応する場合もあることへの理解をもらう必要がある
 - ・他の関係機関も含めた体制を考える必要がある
- ⇒上記を踏まえて改めて必要性等を確認し、再度検討する。

②50代男性/統合失調症/上京区(中條) ※新規

<概要>

支援センター「かけはし」からの依頼。妻と伏見区で生活していたが、妻に入った遺産を巡るトラブルから離婚調停中。実家に戻るが追い出され、現在ホワイトハウス入所中、本人希望で上京区にて物件探し中で1月に転居予定。転居後の計画相談、HII事業所探しの依頼。

<意見>

- ・本人がどの支援センターを選ぶか、希望の確認が必要、
 - ・経済状況、実家を追い出された理由、区分4の理由等、計画として関わる必要があるか
 - ・相談員は男性か？女性か？
- ⇒本人に3支援センターの情報提供していただき、希望されるのであれば依頼を受ける方向で。計画相談での対応が必要であれば計画で対応する(対応予定者:山本相談員)。
- …中條副施設長から宮本氏へ返答

③50代女性/シェーグレン症候群/中京区(城) ※継続

<概要>

中京保健福祉センターから依頼。単身生活。病状の進行で不安が高く、平日に仕事をしている為休日に相談出来るところが欲しい、計画相談を受けてもらいたいとの希望。他機関へ調整するも休日対応不可・難病対応不可等を理由に断られる。

<意見>

- ・土日はシフト制であり必ずしも担当者・女性職員が対応出来るとは限らないことへの理解が必要では
 - ・平日の夜間は出会えないか
 - ・サービス協会朱雀事務所では対応してもらえないのか、事業所探しの幅を広げてみては(結の風、アップトゥ等)
 - ・本人がどれくらいのことを求めてくるか
- 対応⇒①土日しているがシフト制で必ずしも担当者・女性職員が出勤しているわけではない
- ②相談支援事業所探しの手伝いの提案(結の風、アップトゥ等)
- …城から大塚氏へ返答

④50代男性/身体・知的/中京区(田中) ※継続

<概要>

透析後の血圧低下に伴いともしんどくなることで、透析の介護タクシーの後の自宅までの迎とその後の家事援助について追加での相談が先週あった。透析通院日の月・水の15:30過ぎからタクシー降車場所への迎え(身体介護0.5h)とそのまま家事援助(1h~1.5h買い物、掃除、洗濯など)が必要。ヘルパー事業所の調整を行っているが、断られている状況がある

<意見>

フィオレット、まごのて西陣、しんせいケア、まごのて一条などの事業所はどうかと意見が上がる

⑤20代男性/身体・高次脳機能/下京区(田中) ※継続

<概要>

本人から「このままでは腐ってしまいそうなので京阪沿線で行ける作業所を探してほしい」と相談があった。希望の内容が「内職などの仕事ではなく先につながるがしたい」という具体的なイメージがしにくいことや京阪沿線、「ほんとはあまり作業所に行きたいとは思っていない」ということなどから継続しないのではないかと相談員思いもある中で事業所探しに難航している。

<意見>

- ・京阪沿線沿いということであゆみ舎や楽々堂などはどうか

⑥40代男性/身体/中京区(中條) ※継続

<概要>

- ・介護保険がメイン、身体障害で電動車いす利用
- ・東西線沿線で通所先(就労B型)を探している。11月に風音(かのん・就労B型)を見学したが、本人より「他の事業所も見学したい」と希望があり、引き続き事業所探しを続けていくことになった。

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和3年2月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	2人
継続	103人
合計	105人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外												合計		
	来所	訪問	電話	その他	WO	HC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他			
								居宅介護等	通所	短期入所	GH	CH						入所	
身体	1	3	2	0	1	0	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17
知的	3	1	18	6	4	0	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	44
精神	7	53	54	16	31	0	4	31	18	0	1	0	36	0	0	0	26	277	
重複	5	29	51	2	32	0	10	42	26	0	1	2	33	0	0	0	14	247	
障害児	1	6	3	2	4	0	8	4	1	0	0	0	4	3	0	0	3	39	
その他	1	5	12	1	4	0	1	2	1	0	0	0	6	0	0	0	8	41	
合計	18	97	140	27	76	0	30	86	47	0	2	2	79	3	0	0	58	665	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	8	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10	21
知的	2	10	1	4	0	0	0	3	4	0	0	0	3	3	32	62
精神	7	40	20	45	9	0	0	5	0	14	0	0	47	17	140	344
重複	6	45	13	36	2	1	0	1	0	6	0	0	56	16	94	276
障害児	5	6	1	14	0	0	10	0	0	0	0	0	6	0	20	62
その他	1	4	2	1	1	0	0	2	0	6	1	0	12	5	15	50
合計	21	113	37	102	12	1	10	11	5	26	1	0	124	41	311	815

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成援助
身体	1	1	0
知的	0	1	0
精神	1	4	0
重複	3	2	0
障害児	0	0	0
その他	1	0	0
合計	6	8	0

③相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	3件
居住支援	15件
緊急対応	0件
合計	18件

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年2月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

①20代女性/精神/中京区(田中) ※継続

◇新規ケース対応後の経過報告

- ・他ケースで関わりのある心理士から依頼のあったケース。
- ・心理士は積慶園所属のショートステイ事業(五条大宮)に現在携わっている。
- ・田中、城とで初回来所面接、訪問行っている。
- ・主訴は転居希望だが、資金がない。ガールズバーで働いている。
- ・自殺願望の強い方。今後手帳や自立支援医療等も利用できるよう考えている。

②50代男性/精神/上京区(山本) ※継続

◇新規ケース対応後の経過報告

- ・電話相談の方。上京単身生活の本人、高知県の弟、滋賀県の妹からの相談。
- ・本人は音に過敏で他住民への迷惑行為があり、管理会社から転居を迫られている。
- ・この間、上京保健福祉センターや仲介業者にも相談している。
- ・弟・本人・支援機関とで転居のこと等を相談する機会を設定していく予定。

③5歳男性/知的・発達/下京区(山本) ※新規

発達相談所 舟田氏より障害児相談支援の依頼あり。

(検討結果)⇒ 障害児相談支援の実績(各職員が1ケースは担当するように考えること)、母の育児負担や精神的不安定さ、他相談支援事業所の状況等から、当センターで障害児相談支援を担うことにする。担当は高瀬職員。初回面接時には山本主任も同席する。

2/15に初回面接。山本主任、高瀬職員で自宅訪問。

2/15に山本職員と高瀬で初回訪問。ご本人と母と面談。お子さんは母に促されて挨拶をしたり、ゲームの画面をみせてくれるなど人見知りなく元気な印象。母は本人が他の子に手を挙げたりしており、ずっと謝ってばかりいたという話もあった。現在通っている事業所が4月より児童発達支援から放課後等デイサービスに切り替わる予定。そのことも受給者証を確認して初めて認識された様子。今後新しく計画書を作成して提出予定。会議は現在の事業所、児童福祉センター、可能であれば小学校へお声掛けし、開催の見込み。

④50代女性/身体(脳梗塞による

右上肢障害不全麻痺)/中京区(高瀬) ※新規

壬生老人センター 安田CMより通所事業所調整への協力依頼あり。

(検討結果)⇒ リハセン1Fの高次脳機能障害者支援センターにアセスメントへの協力を求め、安田ケアマネを含めた顔合わせの機会等に必要にあわせて同席する。介護保険優先の方であるが、必要性によっては障害福祉サービスが利用できるため、アセスメントの結果次第では当センターとしても事業所探しに協力していく。担当は高瀬職員。関係者への連絡。面接への同席等、山本主任が担う。

⑤20代女性/精神/中京区(中村) ※継続

・計画相談開始したが、京都マックの通所中断。本人との連絡もとれず、確定版への署名がもらえていない。

(意見)⇒ ステージ理論等に基づいて、本人が望む関わりを再確認する。計画相談の継続は経過を見ながら判断していつてはどうか。

⑥50代女性/身体4級/中京区(高瀬) ※新規

・・・リハセンへご本人のアセスメントが可能か相談。「基本的には今かかっている病院へ」と案内されたが、病院名と手の可動域、名前等教えてもらえればお伝えできることもあるかもしれないとのこと。ケアマネさんに報告すると微妙な反応だったが、とりあえず確認する方向で了解取れている。リハセンに再度情報を伝え、水曜に返答いただける予定。

⑦20代女性/発達・精神/中京区(城) ※継続

1/25退院。下京区で一人暮らしをされている。月～金とまるいクリニックのデイ・ナイトを利用。ご本人の不安もあり、2月中は送迎を相談員・ヘルパー・母でサポートしている。今週に入りご本人さんの様子が上がり気味。サロンで男性と手をつなぐなどの様子も見られる。入院中に調整されたデボ剤の量が、まるいクリニックでは減っている為、まるいクリニックとも情報を共有している。ヘルパーさんは水・土・日の夕方の方の居宅支援と、月～金の夕方と水曜日朝の送迎に入ってくれている。

⑧年齢女性/発達/中京区(城・高瀬) ※継続

本人より「あまり話しかけてこない美容院はあるか?」と問い合わせ有。情報をもらいたい。

(意見等)

- ・精神科病院に美容師が出張で来てくれる所もある。
- ・ネット予約だと「映られたくない」等も選べる場合もある。
- ・義父が南区で美容院をしている為、お願い出来なくはない。

⑨50代女性/精神/中京区(山本) ※新規

保護観察所からの依頼ケース、就B型調整中。覚醒剤使用歴あり、現在保護観察中。本人は触法行為をオープンにしたくない。本人希望で計画相談にて介入していくが、本人からのアセスメントにも制限が出てくる。情報把握している状態で関係機関から問い合わせがあった場合どう対応すべきか(現時点では求め無)、認定調査時の対応はどうすべきか。本人の個人情報保護権利も理解出来るが…。とても力のある方。

(意見)

・初犯か?主Dr.の見解は?再犯リスクが低いのであれば重点を置かなくても良いのでは。本人の承諾得てないことも含めて関係機関へ伝えては?

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和3年3月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者(実利用人員)

新規	12	人
継続	107	人
合計	119	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人, 家族, 保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WO	IIC	相談支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(デイケア含む)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH/CH	入所						
身体	0	4	6	0	2	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22
知的	1	5	9	0	1	0	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	9	37
精神	7	42	59	9	36	0	24	23	10	0	6	3	48	0	1	24	292	
重複	3	35	46	1	33	0	19	38	18	0	3	4	34	0	1	12	247	
障害児	0	9	6	2	3	0	7	4	8	0	0	0	6	0	0	3	48	
その他	2	1	22	1	3	0	2	0	3	0	0	0	5	0	0	10	49	
合計	13	96	148	13	78	0	60	78	39	0	9	7	93	0	2	59	695	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(デイケア含む)	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
知的	1	10	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3	27	45
精神	8	53	23	28	8	0	0	6	0	32	6	3	60	23	106	356
重複	7	52	6	35	1	1	0	3	0	12	0	0	67	17	91	292
障害児	2	10	3	13	0	0	9	0	1	0	0	0	10	0	17	65
その他	0	5	0	7	1	0	0	4	0	12	0	0	10	6	18	63
合計	18	134	33	86	10	1	9	14	5	56	6	3	150	49	269	843

④ケース会議等

	ケース会議 参加件数	グループ 作成件数	セルフプラ ン作成件数
身体	0	0	0
知的	0	0	0
精神	2	1	1
重複	1	2	0
障害児	0	0	0
その他	1	0	0
合計	4	3	1

⑤相談支援内訳のうち

居住サポート事業	
入居支援	20件
居住支援	15件
緊急対応	0件
合計	35件

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年3月分

相談事業者名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

①50代男性/精神/中京区(山本) ※継続

【報告】

日中活動の場として就労継続支援B型事業があることを伝え、『絵と音』『WAKUWAKU座』等を紹介した。今はセルフプランではあるが就労継続支援B型事業の利用であれば計画相談も検討する。

②60代男性/精神/上京区(山本) ※継続

【報告】

両親の遺族年金を本人が受給。本人は1回しかドアを蹴っていないと言っていたが、弟から何回も大声をだしていたと聞いている。今後、訪問看護の体調確認が望ましいだろうと弟さんと話している。3/11(木)弟さん含めて来所面談にきょうのくらしがかり-長谷川さんに同席をお願いした。

③30代男性/精神/中京区(中條) ※継続

【報告】

原状回復費用について、2/22(日)みやこ安心すまいセンター法律相談へ行った。敷金からはみ出した分の請求額について、国交省ガイドラインに照らして費用が高額であり、生活保護と母は年金生活で払えないことを家主に伝えることの助言を受けた。家主から調停をおこされた場合は両者が対面で協議の中で決めていく。

みやこ安心すまいセンター⇒貸貸や不動産のトラブル、40分(無料)でアドバイスが受けられる。

④20代女性/精神/中京区(田中) ※継続

【報告】

事故物件で300万円くらいしか売れない。保護課からは違うところがいいのではないかとされている。

⑤40代女性/身体・精神/中京区(城) ※継続

【報告】

2月末に訪問。進行性難病があり鉛筆が持ちづらい。保健福祉センターから計画相談の依頼があった。病気で生活のしづらさ、仕事を続けていきたい。計画より本人が希望するのであればセルフプラン、委託で定期的な訪問や関わりをしていく。

⑥20代女性/精神/上京区(城) ※継続

【報告】

一人暮らしのしんどさ、自分の名前を記入することは障害特性上、とられる意識があり拒否、代行代筆がわかるようにする。押印は本人の許可がとれた。

⑦年齢不明女性/高次脳障害/中京区(高瀬) ※継続

【報告】

高次機能障害からは病状固定がしている。医学的検知からわからない。ケアマネから支援センターに相談したのは長い目で見た時に情報が欲しかった。高齢ヘルパーよりも障害ヘルパーの方が本人理解あり。訪問看護、リハ、高瀬職員がアセスメントをして、事業所探しをしていく。

⑧50代男性/精神・知的/右京区(山本)

○圏域外の方からの電話相談への対応について

電話対応できないことについてお伝えしているが、ずっとかかってくる中で着信拒否の設定をすることについてどうか。

・気持ちとしては拒否の対応はしたくないという思いがある

・電話を出ることでその後しばらくかかってこない。(日に3回くらいは電話がある)

・拒否をするなら本人にきちんと伝えてからの実施をした方がいい

・今の圏域での体制に対しての本人が満足できていないところもある(本人の満足する形を作るのは難しいかもしれないが)

※今の形で電話を受けることを継続

⑨30代女性/上京区/身体障害/上京区(中村) ※新規

○計画相談の依頼

・24時間のヘルパー対応の調整

・医療との連携も必要

・急な変更等の調整については他でもできるような対応が必要(連絡のツールなど)

・落ち着いたところでの相談支援事業所への引継ぎも視野に考えておく

⇒城、中村の2名での対応を行い中條副施設長に24時間のヘルパー調整等の対応などの支援について確認や助言をもらう。

⑩50代女性/身体(視覚障害)・精神/中京区(田中) ※継続

○日中活動のできる事業所についての情報提供を求めている。

・相談票の作成

・本人が日中何をしたいと望んでいるか

《その他》

(法人にあっては、名称及び代表者名。 記名押印又は署名。)

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2020年 4月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 7日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
19	40	0	0	0	0	0	0	0	0	19	40

注1: 新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2: 延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※京都市の指示により、4/9～サロンを閉所している(専任職員は通常通り勤務。サポートスタッフは月水木金のみ、2時間の短縮勤務)。利用者からの電話連絡は毎日10件程度で、「外出先がないことで困っている」「一人でさみしい」や、日々の生活や対人関係における不安感、在宅ワークのしんどさ、給付金について等の話がある。たまにしか来所されない方は、閉所の情報が届いておらず、直接来所された際にお伝えする形となっている。電話を所持しておられない女性利用者1名が、閉所中も頻回に来所され、支援センター職員やサロン専任職員に相談を求められることが続いている。

5. その他

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

6. 職員の勤務状況

専任職員: 10:30~19:30

サポートスタッフ: 15:45~19:15(3.5h) ※4/9より、15:45~17:45(2h)

	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金
専任職員	表口	表口	表口	表口	表口	表口		表口	表口	表口
サポートスタッフ	東 山中	佐藤	山中	佐藤	小森	小森		東 山中	佐藤	山中

	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月
専任職員	表口	表口	表口		表口	表口	表口	表口		表口
サポートスタッフ			小森		山中	山中	佐藤			佐藤

	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木
専任職員			表口	表口	表口	表口	表口			表口
サポートスタッフ		東	佐藤	山中			佐藤			佐藤

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2020年 5月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 0日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

京都市からの指示により、5/7以降もサロン開所。専任職員は通常通り勤務。サポートスタッフは月水木金のみ、2時間の短縮勤務。利用者からの電話連絡は毎日10件程度(6,7名の特定の利用者)で、ご自身の日常生活における話などがあり、傾聴対応。たまにしか来所されない方は、閉所の情報が届いておらず、直接来所された時にお伝えしている。電話を所持されていない方の転居に関する来所相談が継続されており、支援センター職員も対応。室内共有部分、共有備品のアルコール消毒は当日勤務職員が継続実施。

5. その他

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

6. 職員の勤務状況

専任職員:10:30~19:30

サポートスタッフ:15:45~17:45(2h)

	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日
専任職員	表口	表口					表口	表口	表口	表口
サポートスタッフ	山中						佐藤	山中		

	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水
専任職員	表口			表口	表口	表口		表口		
サポートスタッフ	佐藤		東	佐藤	山中			佐藤		山中

	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土
専任職員	表口		表口	表口	表口			表口		表口
サポートスタッフ	佐藤	山中			山中		東	佐藤	小森	

	31 日
専任職員	表口
サポートスタッフ	

(法人にあっては、名称及び代表者名。記名押印又は署名。)

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2020年 6月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 24 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
18	170	1	1	0	0	1	1	1	1	21	173

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。

5. その他

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2020年 7月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 23 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
8	185	0	0	0	0	0	0	0	0	8	185

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
 ※七夕飾りを設置し、利用者が願い事を書けるようにしている。
 ※新型コロナ感染について、密を心配する声やマスクしていない人への不満等の声あり。
 ※6/11に“ひまわりの会”の中心的な役割を担ってきた利用者の方から、“ひまわりの会”の20周年記念行事についての協力依頼あり。6/23に利用者の方と話し合いの機会をもっている。当サロンで協力できる範囲を超えた活動であることについて理解が得られず、話し合いはうまくいかなかった。なごやかサロンとしては、今後も当事者会の開催に場所の提供等協力していくつもりであるが、案内において“ひまわりの会”という名称を用いることはトラブルの原因にもなり得るため、使用しない予定でいる。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2020年 9月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 23 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
4	154	0	0	0	0	1	1	2	2	7	157

注1: 新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2: 延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
※モニタリングのため定期面談を実施した利用者2名。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。また、9/7からは、利用者名簿記入を職員が行うように変更した。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2020年 10月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)
2. 開所日数 26 日
3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
4	191	1	1	0	0	0	0	0	0	5	192

注1: 新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2: 延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
 ※モニタリングのため定期面談を実施した利用者1名。(10/2)
 ※当事者会、参加者が1名のみで成立せず。(10/4)
 ※利用者間での将棋対戦が頻繁に行われている。
 ※ハロウィンイベント実施。利用者によるクイズやウクレレ演奏等。(10/31)
 ※宗教色の強い話をされる利用者に対して注意を行っている。また、敷地周辺でタバコのポイ捨てあり、利用者へ注意している。
 ※利用者から投書1通あり。当事者会が参加者にとってよりよい場となるようにという要望。(10/10)

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。また、9/7からは、利用者名簿記入を職員が行うように変更した。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2020年 11月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)
2. 開所日数 24 日
3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
7	156	0	0	0	0	0	0	1	1	8	157

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
 ※利用者間での将棋対戦やオセロ対戦がよく行われている。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。また、9/7からは、利用者名簿記入を職員が行うように変更した。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2020年 12月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)
2. 開所日数 23 日
3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
7	158	0	0	0	0	0	0	1	1	8	159

注1: 新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2: 延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。

※利用者間での将棋対戦やおセロ対戦がよく行われている。

※12/26(土)13:30~14:30 クリスマス会実施。参加者12名。利用者による司会やクイズ、歌。サポートスタッフによる楽器演奏、参加者間でのプレゼント交換など実施。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。また、9/7からは、利用者名簿記入を職員が行うように変更した。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 1月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 22 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
4	142	0	0	0	0	0	0	0	0	4	142

注1: 新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2: 延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
 ※緊急事態宣言が発出されたことを受け、1/16に予定していた新年会を中止とした。
 ※利用者、サポートスタッフ間で、将棋や囲碁などを通じた交流がある。
 ※利用者との定期、不定期の面談実施。
 ※他利用者からの宗教的な話に反応される利用者があり、サロンや支援センターに電話等での相談があった。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 2月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)
2. 開所日数 22 日
3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
5	167	0	0	0	0	0	0	1	1	6	168

注1: 新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2: 延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
 ※利用者、サポートスタッフ間で、将棋や囲碁などを通じた交流がある。
 ※利用者との定期、不定期の面談実施。
 ※相談支援事業所より、利用者の紹介あり。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 3月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 24 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)										
5	165	0	0	0	0	0	0	2	2	7	167

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
 ※利用者、サポートスタッフ間で、将棋や囲碁などを通じた交流がある。
 ※支援センター実習生(佛敎大学・川戸さん)受け入れ。(3/12)
 ※利用者からの定期・不定期の相談対応。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

1 地域移行に係る保健・医療・福祉関係者による協議

(1)地域移行促進事業 実務者会議

実施回数	9回	
参加者数 (延)	125人	
実 務 者 担 当 者	いわくら病院	安河内, 須堯, 福井
	川越病院	西村, 北山
	京都博愛会病院	黒田
	京都市北部障害者地域生活支援センター「らしく」	宮崎, 中原
	京都市東部障害者地域生活支援センター「からしだねセンター」	二木
	京都市西部障害者地域生活支援センター「西京」	新谷, 長澤
	京都市南部障害者地域生活支援センター「かけはし」	川田, 白髪, 宮本
	京都市南部障害者地域生活支援センター「ふかくさ」	片岡, 植松, 仲松
	相談支援事業所「ひといろ」	丸山
	相談支援事業所「しばふあーれ」	金井
	相談支援事業所「LL」	松坂
	京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」	藤井, 田中, 高瀬
京都市こころの健康増進センター 相談援助課	港, 横田	
内 容	<p>○地域移行対象者の状況共有と意見交換 障害福祉サービスにおける地域移行支援の新規利用者や退院支援の必要のある方について、課題や支援について検討し、情報共有を行った。 今年度は新型コロナウイルスの影響で病院訪問が難しくなり、病院側からも対象者を出しにくい状況となったため、前年度よりもケース数が減少した。 個別ケースの支援に関する課題としては『病状が安定しない』『入退院が頻回』『こだわりが強い』『人を選ぶ傾向がある』『本人の希望する退院先と、現実的に地域生活が続けられる環境との折り合いがつかない』『車いすでの生活をしたことがない』『病識や服薬意識が薄い』『家族が退院に対して強い不安がある』といったことが挙げられている。</p> <p>[報告, 相談者数]21名 [地域移行支援利用者数]11名 [退院者数]6名 [退院せず終了]2名 [平均年齢]51.9歳 [平均総入院日数]5273.8日</p>	
	<p>○相談しやすいツール作りやシステムに関する検討 これまで使用していた相談票(地域移行利用相談票)を使いやすく変更するとともに、地域移行支援の利用希望はまだないが退院に向けて相談したいケースがある時に使用する相談票(退院相談票)を新たに作成した。今後はこれらの相談票を各医療機関へ周知していく。</p>	
	<p>○地域移行の普及啓発 地域移行支援が広がらない理由として、具体的な支援の流れや実際の動きについてまだあまり知られていないと思われることから、病院及び事業所の現状と、普及啓発のためどのような取組ができるかを検討した。病院については、院内の多職種に地域移行支援を知ってもらうことや、系列の事業所のみで退院支援をしている病院との連携等が課題として挙げられた。また、事業所については、契約に至るまでの過程や費用対効果等について周知し、実際に地域移行支援に取り組む事業所を増やすことが課題として挙げられた。 これらの課題について、まずは平成31年度に作成したパンフレットを活用し、病院内での退院支援の理解・促進に向けて取り組みたいと考え、パンフレットの活用状況について、京都府下の精神科病院(14か所)へアンケート調査を実施。今後はアンケートの回答結果から具体的な取組について検討していく。</p>	
	<p>○その他検討事項 関係機関研修会の実施に向けての検討</p>	

(2)事業内容検討会議

開催日	書面開催(令和3年3月4日資料送付)
参加者	合計16機関
	きょうかれん
	地域移行に係るピアサポーター
	いわくら病院
	川越病院
	京都博愛会病院
	京都市北部障害者地域生活支援センター「らしく」
	京都市東部障害者地域生活支援センター「からしだねセンター」
	京都市西部障害者地域生活支援センター「西京」
	京都市南部障害者地域生活支援センター「かけはし」
	京都市南部障害者地域生活支援センター「ふかくさ」
	相談支援事業所「ひといろ」
	相談支援事業所「しほふあーれ」
	相談支援事業所「[LL]」
	京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
京都市こころの健康増進センター 相談援助課	
京都市障害保健福祉推進室	
内容	<p>○今年度の取組状況や実務者会議で把握した課題等</p> <p>[取り組んだこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市精神障害者地域移行促進事業実務者会議の実施 ・地域移行に係るピアサポート活動 ・精神障害者の地域移行促進に係る普及啓発 <p>[実務者会議で把握した課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、退院が遅延になったり、外部の支援機関がテレワークで動けず支援を進められなかったり、移動支援を利用していたが病院から外出することが難しくなり、その間に契約が切れてしまったことがあった ・入院が長期化することで退院の意欲が落ちてしまう ・丁寧な支援が必要でありケース数を増やすことが難しい ・退院について家族の理解や協力を得ることが難しい ・障害福祉サービスにおける地域移行支援の利用に至るまでの支援が難しい
	<p>○次年度の取組について</p> <p>[課題]</p> <p>(継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援の難しさ(支援開始の基準、受け手となる事業所の少なさ、報酬に関すること) ・入院患者の意欲喚起(入院の長期高齢化) ・家族の協力や理解についての困難さ ・住居確保の難しさ ・地域移行の実施病院の拡大(障害福祉サービスにおける地域移行支援の利用までは至らないが退院について相談ができる環境づくり) ・地域定着支援の般化 <p>(新規)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による支援の進めにくさ
	<p>[目標]</p> <p>『地域移行の実施までの困難さの共有や解消に向けた取組』</p> <p>令和2年度に取り組む課題及び目標として挙がっていた内容について、次年度も引き続き取り組んでいく必要があると考える。また、ZOOMを活用する等の工夫をしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による支援の進めにくさについても取り組んでいく必要がある。</p>

2 入院中の精神障害者の地域移行・地域定着支援に係る事項

(1) 地域移行支援事業

ア 地域移行支援実施人数

11人

No.	年代性別	疾患	直近の入院年数	相談日	利用開始日	医療機関	相談支援事業所	担当地域			支援状況	終了日	地域定着支援
								支給決定	退院先及び居住形態				
1	50代女性	F2	22年10か月	平成30年4月	平成30年7月	第二北山病院	支援センター なごやか	宇治市	支援終了	—	支援終了	令和2年8月	無
2	50代女性	F2	9か月	平成31年2月	平成31年6月	川越病院	相談支援事業所 ひといろ	精華町	左京区	独居	退院	令和2年8月	無
4	50代女性	F2, G40	2年1か月	令和元年11月	令和2年2月	いわくら病院	相談支援事業所 ひといろ	左京区	支援継続中	—	支援継続中	—	—
5	50代男性	F2	10か月	令和元年12月	令和2年1月	川越病院	相談支援事業所 しほふあーれ	中京区	中京区	独居	退院	令和2年6月	有
6	50代女性	F2	2年	令和2年12月	令和2年1月	川越病院	相談支援事業所 しほふあーれ	北区	支援終了	—	支援終了		無
10	60代男性	F2	7年6か月	令和2年7月	令和2年9月	いわくら病院	支援センター なごやか	中京区	中京区	GH	退院	令和3年3月	無
11	20代女性	F2, F84	6か月	令和2年7月	令和2年9月	いわくら病院	支援センター なごやか	中京区	下京区	独居	退院	令和3年1月	無
12	70代男性	F2	5年10か月	令和2年9月	令和2年10月	京都博愛会病院	支援センター なごやか	北区	支援継続中	—	支援継続中	Kyoto: 追記お願いします。	無
13	50代男性	F2	1年4か月	令和2年9月	令和2年11月	川越病院	相談支援事業所 アイル	中京区	支援継続中	—	支援継続中		無
14	60代男性	F2	1年4か月	令和2年8月	令和2年9月	いわくら病院	支援センター なごやか	左京区	左京区	独居	退院	令和2年11月	無
16	50代女性	不明	25年	不明	令和3年2月	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	不明	支援継続中	—	支援継続中	—	—

※総入院期間：30年

※総入院期間：10年以上

※総入院期間：25年3か月

※総入院期間：26年
※地域移行再利用

イ 地域移行支援実施結果

退院	5人
次年度継続	4人
退院に至らず支援終了	2人

(2) 地域移行の利用に関する相談、利用までの関わり

ア 地域移行支援利用前の相談人数

10人

No.	年代性別	疾患	直近の入院年数	相談日	医療機関	相談支援事業所	退院が難しい理由	支援状況
3	50代女性	F2	2年4か月	令和元年11月	いわくら病院	支援センター なごやか	退院の希望はあるが病状が不安定	中断 病状が不安定
7	60代女性	F2	1年7か月	令和2年5月	京都博愛会病院	支援センター なごやか	本人が希望する退院と現実的に可能な退院について違いがある	支援継続中 —
8	50代男性	F2, F7, F84	10年	令和2年6月	いわくら病院	支援センター なごやか	退院に対する不安が強い	支援継続中 —
9	30代男性	F2	—	令和2年1月	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	サービス利用を拒否される	支援継続中 Kyoto: ここちょっと意味が分かりづらいです。疾患の予後が予測しにくいため、退院後の支援についてなごやかに相談があった、というように経緯を口頭でご説明されていたと支援継続しています。修正をお願いします。
15	60代男性	F2	—	—	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	病識が低い	支援継続中
17	40代男性	F2	—	—	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	家族が治療に拒否的	終結 他市町村へ退院
18	20代男性	F2	2年	令和2年12月	いわくら病院	支援センター なごやか	退院に対する不安が強い	支援継続中 —
19	30代男性	B22.0	5か月	令和3年3月	いわくら病院	支援センター なごやか	住居や支援等の調整が済んでおり退院後の見守りが必要で相談から退院までの期間が短いため	終結 退院に向けて圏域の相談機関へ引き継ぎした
20	40代男性	F2	4か月	令和3年3月	いわくら病院	支援センター なごやか	家族と本人の退院に向けた話し合いが完了したため	終結 退院に向けて圏域の相談機関へ引き継ぎした
21	60代女性	F2	40年	令和3年3月	いわくら病院	相談支援事業所 しほふあーれ	不安	支援継続中 —

Kyoto:
やっぱりFコード（F0）にしてもらってよいですか？
精神科病院に入院しているのにFコードの病名がないと不思議な感じがするなーと思ったのと、F02.4に「HIV脳症」という記載があったので・・・何れもすみません。

イ 地域移行支援につなぐ関わり(延回数)

	電 話	面 接
本 人	25	28
家 族	0	3

ウ 関係機関連絡(延回数)

医療機関	51
相談支援事業所	8
福祉サービス関連事業所	2
その他	5

(3) 地域移行支援に係るケース会議参加

4 回

(4) 普及啓発活動

合計実施回数 23 回

合計参加人数 729 人

対象者	場所	実施回数	参加人数	内容
病院職員	いわくら病院 会議室	8	60	院内地域移行会議の参加
患者	いわくら病院 6病棟	2	35	入院患者相談会による普及啓発
障害福祉サービス 従事者	京都テルサ	1	485	相談支援従事者初任者研修にて地域移行支援事業等の制度説明
法テラス職員、 その他	なごやか 面談室	1	1	法テラス広報誌掲載の為地域移行・地域定着について説明実施
ハッピーフィールド 通所者、職員	ハッピーフィールド 烏丸御池	1	11	ピアサポートグループへの参加と事業説明
地域支援者、 当事者、行政	京都府精神保健福 祉 総合センター	6	85	京都府のピアサポーター育成研修会実施に向けて会議参加
学生	京都文教大学	1	24	京都文教大学にて普及啓発の実施
学生	同志社大学	1	7	同志社大学にて普及啓発の実施
学生	花園大学	1	15	花園大学にて普及啓発の実施
当事者	なごやか 会議室	1	6	ユーザーネットワークとの懇談

3 地域移行に係るピアサポーターの養成・活用

(1)登録者数(令和2年度末時点)

13人

(2)普及啓発

合計実施回数 27 回

合計ピア従事人数 55 人

合計参加人数 760 人

内容	実施場所	実施回数	ピア従事 延人数	ピア従事 実人数	参加人数
ピアサロン(入院患者との相談会)	いわくら病院	3	10	5	60
京都府ピアサポーター育成研修会の運営会議参加	京都府精神保健福祉総合センター、ZOOM	6	7	3	61
京都府ピアサポーター育成研修会にて活動説明とシンポジストとして参加	ZOOM(なごやか)	1	2	2	50
相談支援専門員初任者研修の動画撮影	—	1	1	1	485
学生に向けての体験談等の講演	京都文教大学	1	3	3	24
学生に向けての体験談等の講演	同志社大学	1	1	1	7
学生に向けての体験談等の講演	花園大学	1	1	1	32
WRAP講座の実施	ZOOM(なごやか)	3	1	1	35
当事者団体との懇談	なごやか会議室	1	1	1	6
WEB上での広報活動に係る検討	なごやか会議室	7	28	4	—
通信を作成しWEB上での広報実施	—	2	—	—	—

(3)育成

合計実施回数 5 回

合計参加人数 24 人

内容(事業名)	実施場所	実施回数	ピア参加 延人数	ピア参加 実人数
勉強会	なごやか	5	24	6

4 精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する必要な研修の企画及び実施

(1)精神障害者支援体制加算研修

日付	対象者	実施場所	参加人数	内容
12月18日	関係機関 (精神科病院, 支援センター, 相談支援事業所, 行政関係者)	京都テルサ	45	和歌山県での取り組みについての講演及び京都市での実践報告

決 算 報 告 書

令和2年度

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

【法人総括】

社会福祉法人 京都光彩の会
(社会福祉法人 新会計基準に拠る会計処理)

目 次

		ページ
【法人決算報告書】		
1	資金収支計算書 (第1号の1様式)	1
2	事業活動計算書 (第2号の1様式)	2
3	貸借対照表 (第3号の1様式)	3
【社会福祉事業区分内訳表】		
4	社会福祉事業区分 資金収支内訳表 (第1号の3様式)	4-5
5	社会福祉事業区分 事業活動内訳表 (第2号の3様式)	6-7
6	社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表 (第3号の3様式)	8-9
(計算書類に対する注記)		
7	計算書類に対する注記(法人全体用)	10-11
(附属明細書)		
8	寄附金収益明細書 (別紙3②)	12
9	補助金事業等収益明細書 (別紙3③)	13
10	事業区分間及び拠点区分間貸付金(借入金)残高明細書 (別紙3⑤)	14
11	基本金明細書 (別紙3⑥)	15
12	国庫補助金等特別積立金明細書 (別紙3⑦)	16
【京都光彩の会拠点区分】		
13	京都光彩の会拠点区分 資金収支計算書 (第1号の4様式)	18-19
14	京都光彩の会拠点区分 事業活動計算書 (第2号の4様式)	20-21
15	京都光彩の会拠点区分 貸借対照表 (第3号の4様式)	22
16	計算書類に対する注記(京都光彩の会拠点区分用)	23-24
(附属明細書)		
17	基本財産及びその他の固定資産(有形・無形固定資産)の明細書 (別紙	25
18	拠点区分事業活動明細書 (別紙3⑩)	26-27
19	サービス区分貸付金(借入金)明細書 (別紙3⑭)	28
20	就労支援事業別事業活動明細書(多機能型) (別紙3⑮-2)	29
21	就労支援事業明細書(多機能型) (別紙3⑯-2)	30

【西山高原工作所拠点区分】

22	西山高原工作所拠点区分 資金収支計算書 (第1号の4様式)	32-33
23	西山高原工作所拠点区分 事業活動計算書 (第2号の4様式)	34-35
24	西山高原工作所拠点区分 貸借対照表 (第3号の4様式)	36
25	計算書類に対する注記(西山高原工作所拠点区分用)	37-38

(附属明細書)

26	基本財産及びその他の固定資産(有形・無形固定資産)の明細書(別紙3)	39
27	就労支援事業別事業活動明細書 (別紙3⑬)	40
28	就労支援事業明細書 (別紙3⑭)	41

【財産目録】

29	財産目録 (別紙4)	42
----	------------	----

【地域生活支援センター「なごやか」】

30	地域生活支援センター「なごやか」 資金収支計算書	44-45
31	地域生活支援センター「なごやか」 事業活動計算書	46-47
32	地域生活支援センター「なごやか」 貸借対照表	48
33	委託金事業等収益明細書	49
34	財産目録	50

【京都市朱雀工房】

35	京都市朱雀工房 資金収支計算書	52-53
36	京都市朱雀工房 事業活動計算書	54-55
37	京都市朱雀工房 貸借対照表	56
38	財産目録	57

資金収支計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位：円) 1頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	献金支援事業収入	11,960,000	11,553,554	406,446	
	障害福祉サービス等事業収入	185,420,000	185,141,232	278,768	
	經常経費寄附金収入	1,140,000	1,227,000	△87,000	
	受取利息配当金収入		123	△123	
	その他の収入	410,000	181,000	229,000	
	事業活動収入計(1)	198,930,000	198,102,909	827,091	
	支出				
	大件費支出	140,490,000	140,196,775	293,225	
	事業費支出	13,800,000	13,226,948	573,052	
事務費支出	32,780,000	34,465,765	△1,685,765		
貸付支援事業支出	12,970,000	12,222,176	747,824		
事業活動支出計(2)	200,040,000	200,111,664	△71,664		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,110,000	△2,008,755	898,755		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	固定資産取得支出		407,000	△407,000	
	施設整備等支出計(5)		407,000	△407,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△407,000	407,000		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動による収入		3,257,040	△3,257,040	
	その他の活動収入計(7)		3,257,040	△3,257,040	
	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		3,257,040	△3,257,040	
	予備費支出(10)	△1,110,000		△1,110,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		841,285	△841,285	
	前期末支払資金残高(12)		63,710,546	△63,710,546	
	当期末支払資金残高(11)+(12)		64,551,831	△64,551,831	

法人名	社団法人東京都労働会
施設名	
会計年度	社団法人東京都労働会

事業活動計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位:円) 1頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備考
サービス活動増減の部	収 益					
	就労支援事業収益	11,553,554	14,769,197	△3,215,643	78.23%	
	障害福祉サービス等事業収益	185,141,232	167,834,229	17,307,003	110.31%	
	経常経費寄附金収益	1,227,000	900,828	326,172	136.21%	
	サービス活動収益計(1)	197,921,786	183,504,254	14,417,532	107.86%	
	費用					
	人件費	140,196,775	137,960,505	2,236,270	101.62%	
	事業費	13,226,948	10,563,730	2,663,218	125.21%	
	事務費	34,465,765	31,992,985	2,472,780	107.73%	
	就労支援事業費用	12,345,432	14,786,502	△2,441,070	83.49%	
減価償却費	760,394	784,563	△24,169	96.92%		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△593,265	△566,133	△27,132	104.79%		
サービス活動費用計(2)	200,402,049	195,522,152	4,879,897	102.50%		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△2,480,263	△12,017,898	9,537,635	20.64%		
サービス活動外増減の部	収 益					
	受取利息配当金収益	123	123		100.00%	
	その他のサービス活動外収益	181,000	607,329	△426,329	29.80%	
	サービス活動外収益計(4)	181,123	607,452	△426,329	29.82%	
費用						
サービス活動外費用計(5)						
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	181,123	607,452	△426,329	29.82%		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△2,299,140	△11,410,446	9,111,306	20.15%		
特別増減の部	収 益					
	その他の特別収益	3,257,040		3,257,040		
	特別収益計(8)	3,257,040		3,257,040		
	費用					
	国庫補助金等特別積立金積立額	407,000		407,000		
特別費用計(9)	407,000		407,000			
特別増減差額(10)=(8)-(9)	2,850,040		2,850,040			
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	550,900	△11,410,446	11,961,346	△4.83%		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	64,050,184	75,460,630	△11,410,446	84.88%	
	当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	64,601,084	64,050,184	550,900	100.86%	
	基本金取崩額(14)					
	その他の積立金取崩額(15)					
	その他の積立金積立額(16)					
	繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	64,601,084	64,050,184	550,900	100.86%	

法人名	社会福祉法人京都福祉の会
施設名	
会計年度	社会福祉法人京都福祉の会

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

1頁

勘定科目	資産の部		増減	勘定科目	負債の部		増減
	当年度末	前年度末			当年度末	前年度末	
流動資産	65,820,080	65,488,864	331,216	流動負債	1,219,209	1,606,022	△386,813
現金預金	14,048,056	20,043,151	△5,995,095	事業未払金	83,754	458,369	△374,615
事業収支金	49,811,837	43,642,380	6,169,457	預り金	973,955	903,653	70,302
商品・製品	15,350	17,450	△2,100	前受金	161,500	244,000	△82,500
原材料	33,690	154,846	△121,156				
前払金	1,911,147	1,631,037	280,110				
固定資産	4,745,437	5,098,831	△353,394	負債の部合計	1,219,209	1,606,022	△386,813
基本財産	1,000,000	1,000,000		純資産の部			
定期預金	1,000,000	1,000,000		基本金	3,400,000	3,400,000	
その他の固定資産	3,745,437	4,098,831	△353,394	解 写基金	3,400,000	3,400,000	
建物	683,794	1,056,769	△372,975	国庫補助金等特別積立金	1,345,224	1,531,489	△186,265
機械及び装置	25	30,696	△30,671	長期繰越活動増減差額	64,601,084	64,050,184	550,900
車両運搬具	3	3		(うち当期活動増減差額)	550,900	△11,410,446	11,961,346
器具及び備品	645,579	442,831	202,748				
ソフトウェア	216,036	368,532	△152,496	純資産の部合計	69,346,308	68,981,673	364,635
その他の固定資産	2,200,000	2,200,000		負債及び純資産の部合計	70,565,517	70,587,695	△22,178
資産の部合計	70,565,517	70,587,695	△22,178				

法人名	社会福祉法人京都光福会
施設名	
事業区分	社会福祉事業

資金収支内訳表

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位:円)

勘定科目	光福の会 点	西山高原工 所	合 計	内部取引消去	事業区分合計
収 入					
就労支援事業収入	7,051,928	4,501,626	11,553,554		11,553,554
就労支援事業収入	7,051,928	4,501,626	11,553,554		11,553,554
障害福祉サービス等事業収入	159,412,651	25,728,581	185,141,232		185,141,232
自立支援給付費収入	101,952,660	24,878,805	126,831,465		126,831,465
利用者負担金収入	210,515	42,472	252,987		252,987
補足給付費収入	1,600,000		1,600,000		1,600,000
その他の事業収入	55,649,476	807,304	56,456,780		56,456,780
経営経費寄附金収入	1,107,000	120,000	1,227,000		1,227,000
受取利息配当金収入	123		123		123
その他の収入	167,000	14,000	181,000		181,000
受入研修費収入	163,000	14,000	177,000		177,000
雑収入	4,000		4,000		4,000
事業活動収入計(1)	167,738,702	30,364,207	198,102,909		198,102,909
支 出					
人件費支出	119,116,811	21,079,964	140,196,775		140,196,775
職員給料支出	61,069,183	11,282,196	72,351,379		72,351,379
職員賞与支出	17,916,488	3,364,828	21,281,316		21,281,316
職員諸手当支出	10,433,336	2,080,131	12,513,467		12,513,467
非常勤職員給与支出	13,411,089	990,240	14,401,329		14,401,329
退職給付支出	2,932,589	484,322	3,416,891		3,416,891
法定福利費支出	13,354,146	2,878,247	16,232,393		16,232,393
事業費支出	11,335,032	1,891,916	13,226,948		13,226,948
給食費支出	2,091,241		2,091,241		2,091,241
保健衛生費支出	401,596	58,778	460,374		460,374
教養娯楽費支出	365,488	56,390	421,878		421,878
日用品費支出	519,683	12,863	532,546		532,546
水道光熱費支出	3,977,960	538,509	4,516,469		4,516,469
消耗器具備品費支出	3,083,162	704,934	3,788,096		3,788,096
教育指導費支出	491,906	282,000	773,906		773,906
車輛関係費支出	403,996	238,442	642,438		642,438
事務費支出	28,649,987	5,815,778	34,465,765		34,465,765
福利厚生費支出	932,988	210,264	1,143,252		1,143,252
旅費交通費支出	556,749	4,040	560,789		560,789
研修研究費支出	130,141	23,720	153,861		153,861
事務消耗品費支出	675,062	191,566	866,628		866,628
印刷製本費支出	1,408,592	421,451	1,830,043		1,830,043
修繕費支出	378,395	167,683	546,078		546,078
通信運搬費支出	2,486,861	289,020	2,777,881		2,777,881
広報費支出	28,415	5,000	33,415		33,415
業務委託費支出	4,560,523	55,000	4,615,523		4,615,523
手数料支出	1,084,752	5,348	1,090,100		1,090,100
保険料支出	718,640	73,810	792,450		792,450
貸借料支出	5,191,048	1,158,845	6,349,893		6,349,893
土地・建物賃借料支出	9,248,000	3,080,004	12,328,004		12,328,004
租税公課支出	539,600	21,500	561,100		561,100
保守料支出	347,645	26,927	374,572		374,572
諸会費支出	311,604	59,000	370,604		370,604
雑支出	48,972	22,600	71,572		71,572
就労支援事業支出	7,588,878	4,633,298	12,222,176		12,222,176
就労支援事業販売原価支出	7,588,878	4,633,298	12,222,176		12,222,176
事業活動支出計(2)	166,690,708	33,420,956	200,111,664		200,111,664
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,047,994	△3,056,749	△2,008,755		△2,008,755

資金収支内訳表

(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		光彰の会 点	西山高原工作 所	合 計	内部取引消去	事業区分合計
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等収入計(4)					
	支出					
	固定資産取得支出	203,500	203,500	407,000		407,000
	器具及び備品取得支出	203,500	203,500	407,000		407,000
	施設整備等支出計(5)	203,500	203,500	407,000		407,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△203,500	△203,500	△407,000		△407,000
その他の活動による収支	収入					
	その他の活動による収入	3,257,040		3,257,040		3,257,040
	その他の活動による収入	3,257,040		3,257,040		3,257,040
	その他の活動収入計(7)	3,257,040		3,257,040		3,257,040
その他の活動による収支	支出					
	その他の活動支出計(8)					
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,257,040		3,257,040		3,257,040
	予備費支出(10)					
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	4,101,534	△3,260,249	841,285		841,285
	前期末支払資金残高(12)	68,582,366	△4,871,820	63,710,546	22,100,492	85,811,038
	当期末支払資金残高(11)+(12)	72,683,900	△8,132,069	64,551,831	22,100,492	86,652,323

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	
事業区分	社会福祉事業

事業活動内訳表

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		光彩の会 点	西山高原工 所	合 計	内部取引消去	事業区分合計
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収益					
	就労支援事業収益	7,051,928	4,501,626	11,553,554		11,553,554
	就労支援事業収益	7,051,928	4,501,626	11,553,554		11,553,554
	障害福祉サービス等事業収益	159,412,651	25,728,581	185,141,232		185,141,232
	自立支援給付費収益	101,952,660	24,878,805	126,831,465		126,831,465
	利用者負担金収益	210,515	42,472	252,987		252,987
	補正給付費収益	1,600,000		1,600,000		1,600,000
	その他の事業収益	55,649,476	807,304	56,456,780		56,456,780
	経常経費寄附金収益	1,107,000	120,000	1,227,000		1,227,000
	サービス活動収益計(1)	167,571,579	30,350,207	197,921,786		197,921,786
費 用	人件費	119,116,811	21,079,964	140,196,775		140,196,775
	職員給料	61,069,183	11,282,196	72,351,379		72,351,379
	職員賞与	17,916,488	3,364,828	21,281,316		21,281,316
	職員諸手当	10,433,336	2,080,131	12,513,467		12,513,467
	非常勤職員給与	13,411,089	990,240	14,401,329		14,401,329
	退職給付費用	2,932,569	484,322	3,416,891		3,416,891
	法定福利費	13,354,146	2,878,247	16,232,393		16,232,393
	事業費	11,335,032	1,891,916	13,226,948		13,226,948
	給食費	2,091,241		2,091,241		2,091,241
	保健衛生費	401,596	58,778	460,374		460,374
教養娯楽費	365,488	56,390	421,878		421,878	
日用品費	519,683	12,863	532,546		532,546	
水道光熱費	3,977,960	538,509	4,516,469		4,516,469	
消耗器具備品費	3,083,162	704,934	3,788,096		3,788,096	
教育指導費	491,906	282,000	773,906		773,906	
車両関係費	403,996	238,442	642,438		642,438	
事務費	28,649,987	5,815,778	34,465,765		34,465,765	
福利厚生費	932,988	210,264	1,143,252		1,143,252	
旅費交通費	556,749	4,040	560,789		560,789	
研修研究費	130,141	23,720	153,861		153,861	
事務消耗品費	675,062	191,566	866,628		866,628	
印刷製本費	1,408,592	421,451	1,830,043		1,830,043	
修繕費	378,395	167,683	546,078		546,078	
通信運搬費	2,488,861	289,020	2,777,881		2,777,881	
広報費	28,415	5,000	33,415		33,415	
業務委託費	4,560,523	55,000	4,615,523		4,615,523	
手数料	1,084,752	5,348	1,090,100		1,090,100	
保険料	718,640	73,810	792,450		792,450	
賃借料	5,191,048	1,158,845	6,349,893		6,349,893	
土地・建物賃借料	9,248,000	3,080,004	12,328,004		12,328,004	
租税公課	539,600	21,500	561,100		561,100	
保守料	347,645	26,927	374,572		374,572	
諸会費	311,604	59,000	370,604		370,604	
雑費	48,972	22,600	71,572		71,572	
就労支援事業費用	7,607,414	4,738,018	12,345,432		12,345,432	
就労支援事業販売原価	7,607,414	4,738,018	12,345,432		12,345,432	
減価償却費	746,828	13,566	760,394		760,394	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△579,699	△13,566	△593,265		△593,265	
サービス活動費用計(2)	166,876,373	33,525,676	200,402,049		200,402,049	
サービス活動増減差額(3)-(1)(2)	695,206	△3,175,469	△2,480,263		△2,480,263	
# 収 益	受取利息配当金収益	123		123		123
	その他のサービス活動外収益	167,000	14,000	181,000		181,000

事業活動内訳表

(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		光彩の会 点	西山高原工 作 所	合 計	内部取引消去	事業区分合計
ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	受入研修費収益	163,000	14,000	177,000		177,000
	雑収益	4,000		4,000		4,000
	サービス活動外収益計(4)	167,123	14,000	181,123		181,123
	費用					
	サービス活動外費用計(5)					
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	167,123	14,000	181,123		181,123
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	862,329	△3,161,469	△2,299,140		△2,299,140
特 別 増 減 の 部	以 益					
	その他の特別収益	3,257,040		3,257,040		3,257,040
	その他の特別収益	3,257,040		3,257,040		3,257,040
	特別収益計(8)	3,257,040		3,257,040		3,257,040
費 用						
	国庫補助金等特別積立金積立額	203,500	203,500	407,000		407,000
	特別費用計(9)	203,500	203,500	407,000		407,000
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	3,053,540	△203,500	2,850,040		2,850,040
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	3,915,869	△3,364,969	550,900		550,900
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	67,791,533	△3,741,349	64,050,184		64,050,184
	当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	71,707,402	△7,106,318	64,601,084		64,601,084
	基本金取崩額(14)					
	その他の積立金取崩額(15)					
	その他の積立金取崩額					
	工賃変動積立金取崩額					
	長期預り金積立資産取崩額					
	その他の積立金積立額(16)					
	その他の積立金積立額					
	施設整備等積立額					
工賃変動積立金積立額						
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)-(15)-(16)	71,707,402	△7,106,318	64,601,084		64,601,084

法人名	特定権限法人京都五穀の会
施設名	
事業区分	社会福祉事業

貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	光彩の会 拠点	西山高原工作所	合 計	内部取引消去	事業区分合計
流動資産	81,087,803	7,795,420	88,883,223		88,883,223
現金預金	12,171,293	1,876,763	14,048,056		14,048,056
事業未収金	44,218,037	5,593,800	49,811,837		49,811,837
商品・製品	15,350		15,350		15,350
原材料	7,960	25,730	33,690		33,690
前払金	1,612,020	299,127	1,911,147		1,911,147
拠点区分間貸付金	15,835,873		15,835,873		15,835,873
サブ・ピマ区分間貸付金	7,227,270		7,227,270		7,227,270
固定資産	3,555,482	1,189,955	4,745,437		4,745,437
基本財産	1,000,000		1,000,000		1,000,000
定期預金	1,000,000		1,000,000		1,000,000
その他の固定資産	2,555,482	1,189,955	3,745,437		3,745,437
建物	683,793	1	683,794		683,794
機械及び装置	15	10	25		25
車輦運搬具	3		3		3
器具及び備品	455,635	189,944	645,579		645,579
ソフトウェア	216,036		216,036		216,036
その他の固定資産	1,200,000	1,000,000	2,200,000		2,200,000
資産の部合計	84,643,285	8,985,375	93,628,660		93,628,660

貸借対照表内訳表

(平成3年3月31日現在)

(単位:円)

勘定科目	光栄の会 拠点	西山南原工作所	合 計	内部取引消去	事業区分合計
流動負債	8,380,593	15,901,759	24,282,352	△23,063,143	1,219,209
事業未払金	46,500	37,254	83,754		83,754
預り金	945,323	28,632	973,955		973,955
前受金	161,500		161,500		161,500
拠点区分間借入金		15,835,873	15,835,873	△15,835,873	
サードパーティ区分間借入金	7,227,270		7,227,270	△7,227,270	1,219,209
負債の部合計	8,380,593	15,901,759	24,282,352	△23,063,143	3,400,000
基本金	3,400,000		3,400,000		3,400,000
第一号基本金	3,400,000		3,400,000		3,400,000
国庫補助金等特別積立金	1,155,290	189,934	1,345,224		1,345,224
次期繰越活動増減差額	71,707,402	△7,106,318	64,601,084	△23,063,143	41,537,941
(うち当期活動増減差額)	3,915,869	△3,364,969	550,900	△23,063,143	△22,512,243
純資産の部合計	76,262,692	△6,916,384	69,346,308	△23,063,143	46,283,165
負債及び純資産の部合計	84,643,285	8,985,375	93,628,660	△46,126,286	47,502,374

計算書類に対する注記（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物、機械及び装置、車両運搬具並びに器具及び備品等は定額法による。

リース資産 該当なし

(3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金は、一般財団法人京都府民間社会福祉施設職員共済会から京都社会福祉事業企業年金基金に移行しているため、計上していない。
- ・賞与引当金は重要性に乏しいため、計上していない。
- ・徴収不能引当金は計上していない。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

- ・京都社会福祉事業企業年金基金の退職金制度
- ・独立行政法人福祉医療機構が定める社会福祉施設職員等退職手当共済制度

5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類

第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式

(2) 事業区分別内訳表

当法人では、社会福祉事業のみを実施しているため、作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表

第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式

(4) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

① 光彩の会拠点区分

ア 本部サービス区分

イ なごやかサロン サービス区分

ウ グループホーム賀陽 サービス区分

エ グループホーム山ノ内 サービス区分

オ グループホーム光 サービス区分

カ 京都朱雀工房 サービス区分

キ ワークステーションかれん工房 サービス区分

ク 相談支援事業所こうさい

② 西山高原工作所拠点区分

6. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

7. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

8. 担保に供している資産
該当なし

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	8,145,299	7,461,505	683,794
機械及び装置	17,088,135	17,088,110	25
車輛運搬具	1,424,610	1,424,607	3
器具及び備品	10,223,939	9,578,360	645,579
ソフトウェア	1,788,480	1,572,444	216,036
合計	38,670,463	37,125,026	1,545,437

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	49,811,837	0	49,811,837
未収金	0	0	0
未収補助金	0	0	0
合計	49,811,837	0	49,811,837

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

期末時点で満期保有目的の債権は保有していない。

12. 関連当事者との取引の内容
該当なし

13. 重要な偶発債務
該当なし

14. 重要な後発事象
該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

・『特定非営利活動法人ステップアップ』から、令和2年8月27日に、清算により『3,257,040円』の譲渡を受けた。

寄附金収益明細書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人 光彩の会

(単位：円)

寄附者の属性	区分	件数	寄附金額	うち基本金 組入額	寄附金額の拠点区分ごとの内訳	
					光彩の会	西山高原工作所
法人の役職員 京都市 (支え合い支援金) その他	経 常	15	557,000		557,000	
		6	600,000		500,000	100,000
		3	70,000		50,000	20,000
			-			
区分小計		24	1,227,000	-	1,107,000	120,000
	施 設		-			
			-			
			-			
			-			
区分小計		-	-	-	-	-
	償 還		-			
			-			
			-			
			-			
区分小計		-	-	-	-	-
合 計		24	1,227,000	-	1,107,000	120,000

補助金事業等収益明細書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人 光彩の会

(単位：円)

交付団体及び交付の目的	区分	交付金額	補助金事業に係る利用者からの収益	交付金額等合計	うち国庫補助金等特別積立金積立額	交付金額等合計の拠点区分ごとの内訳	
						光彩の会	西山高原工作所
高齢者雇用助成金 京都市	障害事業	300,000	-	300,000	-	300,000	-
		1,325,290	-	1,325,290	-	1,015,986	309,304
区分小計		1,625,290	-	1,625,290	-	1,315,986	309,304
京都府	施設	3,864,000	-	3,864,000	-	3,366,000	498,000
		区分小計	3,864,000	-	3,864,000	-	3,366,000
区分小計		-	-	-	-	-	-
区分小計		-	-	-	-	-	-
区分小計		-	-	-	-	-	-
合計		5,489,290	0	5,489,290	0	4,681,986	807,304

事業区分間及び拠点区分間貸付金(借入金) 残高明細書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人 光彩の会

1) 事業区分間貸付金(借入金)明細書

(単位:円)

貸付事業区分名	借入事業区分名	金額	使用目的等
短期			
小計			
長期			
小計			
合計			

2) 拠点区分間貸付金(借入金)明細書

(単位:円)

貸付拠点区分名	借入拠点区分名	金額	使用目的等
京都光彩の会	西山高原工作所	15,835,873	運転資金
小計		15,835,873	
長期			
小計			
合計		15,835,873	

基本金明細書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人 光彩の会

(単位 円)

区分並びに組入れ 及び取崩しの事由	合 計	各拠点区分ごとの内訳	
		光彩の会	西山高原工作所
前期繰越額	3,400,000	3,400,000	0
第一号基本金	3,400,000	3,400,000	
第二号基本金	0		
第三号基本金	0		
第一号 基本 金	当期組入額	0	
		0	
		0	
	計	0	0
第二号 基本 金	当期取崩額	0	
		0	
		0	
	計	0	0
第二号 基本 金	当期組入額	0	
		0	
		0	
	計	0	0
第三号 基本 金	当期取崩額	0	
		0	
		0	
	計	0	0
当期末残高	当期組入額	0	
		0	
		0	
	計	0	0
当期末残高	3,400,000	3,400,000	0
第一号基本金	3,400,000	3,400,000	0
第二号基本金	0	0	0
第三号基本金	0	0	0

国庫補助金等特別積立金明細書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人光彩の会

(単位：円)

区分並びに積立て及び取崩しの事由	補助金の種類			合 計	各拠点区分の内訳	
	国庫補助金	地方公共団体補助金	その他の団体からの補助金		光彩の会	西山高原工作所
前期繰越額				1,531,489	1,531,489	-
プロジェクター		203,500		203,500	203,500	-
ナロジェクター		203,500		203,500	-	203,500
当期積立額				-	-	-
当期積立額合計		407,000	-	407,000	203,500	203,500
サービス活動費用の控除項目として計上する取崩額				593,265	579,699	13,566
当期取崩額				-	-	-
当期取崩額合計				593,265	579,699	13,566
当期末残高				1,345,224	1,155,290	189,934

拠点区分 光彩の会

令和2年度

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

法人名	公益財団法人 光彩の会
施設名	光彩の会 会館
所在地	東京都中央区 豊洲

光彩の会資金収支計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日)

(単位:円) 1頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	7,760,000	7,051,928	708,072	
	就労支援事業収入	7,760,000	7,051,928	708,072	
	障害福祉サービス等事業収入	160,720,000	159,412,651	1,307,349	
	自立支援給付費収入	103,250,000	101,952,660	1,297,340	
	利用者負担金収入	100,000	210,515	△110,515	
	補給給付費収入	1,700,000	1,600,000	100,000	
	その他の事業収入	55,670,000	55,649,476	20,524	
	經常経費寄附金収入	1,020,000	1,107,000	△87,000	
	受取利息配当金収入		123	△123	
	その他の収入	380,000	167,000	213,000	
	受入研修費収入	240,000	163,000	77,000	
	雑収入	140,000	4,000	136,000	
	事業活動収入計(1)	169,880,000	167,738,702	2,141,298	
支出	人件費支出	119,590,000	119,116,811	473,189	
	職員給料支出	60,950,000	61,069,183	△119,183	
	職員賞与支出	17,900,000	17,916,488	△16,488	
	職員諸手当支出	11,680,000	10,433,336	1,246,664	
	非常勤職員給与支出	12,530,000	13,411,089	△881,089	
	退職給付支出	3,180,000	2,932,569	247,431	
	法定福利費支出	13,350,000	13,354,146	△4,146	
	事業費支出	12,300,000	11,335,032	964,968	
	給食費支出	2,120,000	2,091,241	28,759	
	保健衛生費支出	260,000	401,596	△141,596	
	教養娯楽費支出	530,000	365,488	164,512	
	日用品費支出	650,000	519,683	130,317	
	水道光熱費支出	4,100,000	3,977,960	122,040	
	消耗器具備品費支出	3,080,000	3,083,162	△3,162	
	教育研修費支出	980,000	491,906	488,094	
	印刷製本費支出	580,000	403,996	176,004	
	事務費支出	27,420,000	28,649,987	△1,229,987	
	福利厚生費支出	820,000	932,988	△112,988	
	旅費交通費支出	560,000	556,749	3,251	
	研修研究費支出	310,000	130,141	179,859	
	業務消耗品費支出	840,000	675,062	164,938	
	印刷製本費支出	1,700,000	1,408,592	291,408	
	修繕費支出	830,000	378,395	451,605	
	通信運搬費支出	2,670,000	2,488,861	181,139	
	広報費支出	60,000	28,415	31,585	
	業務委託費支出	3,130,000	4,560,523	△1,430,523	
	手数料支出	750,000	1,084,752	△334,752	
保険料支出	770,000	718,640	51,360		
賃借料支出	4,260,000	5,191,048	△931,048		
土地・建物賃借料支出	9,340,000	9,248,000	92,000		
租税公課支出	600,000	539,600	60,400		
保守料支出	320,000	347,645	△27,645		
諸会費支出	420,000	311,604	108,396		
雑支出	40,000	48,972	△8,972		
就労支援事業支出	8,370,000	7,588,878	781,122		
就労支援事業販売原価支出	8,370,000	7,588,878	781,122		
事業活動支出計(2)	167,680,000	166,690,708	989,292		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,200,000	1,047,994	1,152,006		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	固定資産取得支出		203,500	△203,500	
	器具及び備品取得支出		203,500	△203,500	
施設整備等支出計(5)		203,500	△203,500		

光彩の会資金収支計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位：円) 2頁

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
		施設整備等資金収支差額(4)=(4)-(5)		△203,500	203,500		
その他の活動による収支	収入	その他の活動による収入		3,257,040	△3,257,040		
		その他の活動による収入		3,257,040	△3,257,040		
		その他の活動収入計(7)		3,257,040	△3,257,040		
	支出						
		その他の活動支出計(8)		3,257,040	△3,257,040		
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			2,200,000		
		予備費支出(10)	2,200,000		2,200,000		
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		4,101,534	△4,101,534		
		前期末支払資金残高(12)		68,582,366	△68,582,366		
		当期末支払資金残高(11)+(12)		72,683,900	△72,683,900		

法人名	社会福祉法人光彩の会
施設名	京都支店
期首月日	前年4月1日

光彩の会事業活動計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位：円) 1頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備考
サービス活動増減の部	収益					
	定款支援事業収益	7,051,928	8,692,369	△1,640,441	81.13%	
	就労支援事業収益	7,051,928	8,692,369	△1,640,441	81.13%	
	障害福祉サービス等事業収益	159,412,651	147,115,274	12,297,377	108.36%	
	自立支援給付費収益	101,952,660	94,554,263	7,398,397	107.82%	
	利用者負担金収益	210,515	117,363	93,152	179.37%	
	補正給付費収益	1,600,000	1,850,000	△250,000	86.49%	
	その他の事業収益	55,649,476	50,593,648	5,055,828	109.99%	
	経常経費寄附金収益	1,107,000	880,828	226,172	125.68%	
	サービス活動収益計(1)	167,571,579	156,688,471	10,883,108	106.95%	
費用	人件費	119,116,811	117,472,234	1,644,577	101.40%	
	職員給料	61,069,183	55,033,737	6,035,446	110.97%	
	職員手当	17,916,488	17,698,364	218,124	101.23%	
	職員諸手当	10,433,336	12,890,943	△2,457,607	80.94%	
	非常勤職員給与	13,411,089	14,831,394	△1,420,305	90.42%	
	退職給付費用	2,932,569	3,257,036	△324,467	90.04%	
	法定福利費	13,354,146	13,760,760	△406,614	97.05%	
	事業費	11,335,032	9,466,429	1,868,603	119.74%	
	給食費	2,091,241	2,535,247	△444,006	82.49%	
	保健衛生費	401,596	163,072	238,524	246.27%	
夜間娯楽費	365,488	540,171	△174,683	67.66%		
日用品費	519,683	405,915	113,768	128.03%		
水道光熱費	3,977,960	4,010,646	△32,686	99.19%		
消耗器具備品費	3,083,162	374,439	2,708,723	823.41%		
教育指導費	491,906	990,500	△498,594	49.66%		
車輛関係費	403,996	446,439	△42,443	90.49%		
事務費	28,649,987	26,838,140	1,811,847	106.75%		
福利厚生費	932,988	745,233	187,755	125.19%		
旅費交通費	556,749	621,518	△64,769	89.58%		
研修研究費	130,141	357,071	△226,930	36.45%		
事務消耗品費	675,062	691,594	△16,532	97.61%		
印刷製本費	1,408,592	1,631,681	△223,089	86.33%		
旅費		382	△382	0.00%		
雑費	378,395	578,724	△200,329	65.38%		
通信運搬費	2,488,861	2,557,881	△69,020	97.30%		
会議費		602	△602	0.00%		
印刷費	28,415	58,180	△29,765	48.84%		
雑費委託費	4,560,523	2,722,694	1,837,829	167.50%		
手数料	1,084,752	197,381	887,371	549.57%		
雑費	718,640	582,544	136,096	123.36%		
貸借料	5,191,048	4,687,232	503,816	110.75%		
土地・建物賃借料	9,248,000	9,628,000	△380,000	96.05%		
租税公課	539,600	744,462	△204,862	72.48%		
保守料	347,645	381,298	△33,653	91.17%		
渉外費		189,435	△189,435	0.00%		
諸会費	311,604	378,100	△66,496	82.41%		
雑費	48,972	84,128	△35,156	58.21%		
就労支援事業費用	7,607,414	8,693,312	△1,085,898	87.51%		
就労支援事業販売戻金	7,607,414	8,693,312	△1,085,898	87.51%		
減価償却費	746,828	784,563	△37,735	95.19%		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△579,699	△566,133	△13,566	102.40%		
サービス活動費用計(2)	166,876,373	162,688,545	4,187,828	102.57%		

光彩の会事業活動計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位：円) 2頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備 考
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		695,206	△6,000,074	6,695,280	△11.59%	
サービス活動外増減の部	取 受取利息配当金収益	123	123		100.00%	
	取 その他のサービス活動外収益	167,000	420,329	△253,329	39.73%	
	取 受入研修費収益	163,000	111,600	51,400	146.06%	
	取 雑収益	4,000	308,729	△304,729	1.30%	
	取 サービス活動外収益計(4)	167,123	420,452	△253,329	39.75%	
費用	サービス活動外費用計(5)					
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	167,123	420,452	△253,329	39.75%	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		862,329	△5,579,622	6,441,951	△15.45%	
特別増減の部	取 その他の特別収益	3,257,040		3,257,040		
	取 その他の特別収益	3,257,040		3,257,040		
	取 特別収益計(8)	3,257,040		3,257,040		
	費用 国庫補助金等特別積立金積立額	203,500		203,500		
	費用 特別費用計(9)	203,500		203,500		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	3,053,540		3,053,540			
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		3,915,869	△5,579,622	9,495,491	△70.18%	
繰越活動増減差額(12)		67,791,533	73,371,155	△5,579,622	92.40%	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		71,707,402	67,791,533	3,915,869	105.78%	
活動増減差額の部	基本金取崩額(14)					
	その他の積立金取崩額(15)					
	その他の積立金取崩額					
	工費要積立金取崩額					
	長期預り金積立資産取崩額					
その他の積立金積立額(16)						
その他の積立金積立額						
病児療養等積立額						
工費要積立金積立額						
長期繰越活動増減差額(17)=(13)-(14)-(15)-(16)	71,707,402	67,791,533	3,915,869	105.78%		

法人名	社会福祉法人平龍会
施設名	民間光彩の会
拠点区分	光彩の会 拠点

光彩の会貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円) 1頁

勘定科目	資産の部			勘定科目	負債の部		
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	81,087,803	80,073,839	1,013,964	流動負債	8,380,593	11,449,627	△3,069,034
現金・預金	12,171,293	17,271,917	△5,100,624	事業未収金	46,500	458,369	△411,869
事業未収金	44,218,037	39,327,674	4,890,363	預り金	945,323	875,487	69,836
商品・製品	15,350	17,450	△2,100	前受金	161,500	244,000	△82,500
原材料	7,960	24,396	△16,436	ホービス区分間借入金	7,227,270	9,871,771	△2,644,501
前払金	1,612,020	1,331,910	280,110				
拠点区分間貸付金	15,835,873	12,228,721	3,607,152				
ホービス区分貸付金	7,227,270	9,871,771	△2,644,501				
固定資産	3,555,482	4,098,810	△543,328	負債の部合計	8,380,593	11,449,627	△3,069,034
基本財産	1,000,000	1,000,000		純資産の部			
定期預金	1,000,000	1,000,000		基本金	3,400,000	3,400,000	
その他の固定資産	2,555,482	3,098,810	△543,328	第一号基本金	3,400,000	3,400,000	
建物	683,793	1,056,768	△372,975	医師補助金等特別積立金	1,155,290	1,531,489	△376,199
機械及び装置	15	30,686	△30,671	次期繰越活動増減差額	71,707,402	67,791,533	3,915,869
車両運搬具	3	3		(うち当期活動増減差額)	3,915,869	△5,579,622	9,495,491
器具及び備品	455,635	442,821	12,814				
ソフトウェア	216,036	368,532	△152,496	純資産の部合計	76,262,692	72,723,022	3,539,670
その他の固定資産	1,200,000	1,200,000		負債及び純資産の部合計	84,643,285	84,172,649	470,636
資産の部合計	84,643,285	84,172,649	470,636				

計算書類に対する注記（光彩の会拠点区分用）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物、機械及び装置、車両運搬具並びに器具及び備品等は定額法による。

リース資産 該当なし

(3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金は、一般財団法人京都府民間社会福祉施設職員共済会から京都社会福祉事業企業年金基金に移行しているため、計上していない。
- ・賞与引当金は重要性に乏しいため、計上していない。
- ・徴収不能引当金は計上していない。

2. 採用する退職給付制度

- ・京都社会福祉事業企業年金基金の退職金制度
- ・独立行政法人福祉医療機構が定める社会福祉施設職員等退職手当共済制度

3. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 光彩の会拠点区分計算書類

第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式

(2) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3⑪）

ア 本部サービス区分

イ なごやかサロン サービス区分

ウ グループホーム賀陽 サービス区分

エ グループホーム山ノ内 サービス区分

オ グループホーム光 サービス区分

カ 京都朱雀工房 サービス区分

キ ワークステーションかれん工房 サービス区分

(3) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3）は省略している。

4. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

5. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	7,176,737	6,492,944	683,793
機械及び装置	6,384,130	6,384,115	15
車輛運搬具	1,424,610	1,424,607	3
器具及び備品	7,675,149	7,219,514	455,635
ソフトウェア	1,788,480	1,572,444	216,036
合計	24,449,106	23,093,624	1,355,482

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	44,218,037	0	44,218,037
未収金	0	0	0
未収補助金	0	0	0
合計	44,218,037	0	44,218,037

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

期末時点で満期保有目的の債権は保有していない。

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を

明らかにするために必要な事項

該当なし

基本財産及びその他の固定資産(有形・無形固定資産)の明細書

(目) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

社会福祉法人 京都光彩の会
拠点区分 光彩の会

資産の種類及び名称	期首帳簿価額(A)	当期中間増加額(B)	当期中間償却額(C)	当期中間減少額(D)	期末帳簿価額 (E=A+B-C-D)	減価償却累計額(F)	期末取得原価(G=E+F)	摘要
基本財産(有形固定資産)								
土地								
建物								
基本財産合計								
その他の固定資産(有形固定資産)								
土地								
建物	1,066,768		372,975		683,793	6,492,944	7,176,737	6,665,000
機械及び装置	30,686		30,671		15	6,384,115	6,384,130	2,319,576
車両運搬具	3				3	1,424,607	1,424,610	1,424,400
器具及び備品	442,821	350,000	190,686	113,566	465,635	7,219,514	7,675,149	3,271,940
その他の固定資産(有形固定資産)計	1,530,278	203,500	594,332	485,576	1,139,446	21,521,180	22,660,626	13,880,916
その他の固定資産(無形固定資産)								
ソフトウェア	368,532	297,488	152,486	94,133	216,636	1,572,444	1,788,480	470,666
その他の固定資産(無形固定資産)計	368,532	297,488	152,486	94,133	216,636	1,572,444	1,788,480	470,666
基本財産及びその他の固定資産計	1,898,810	1,531,488	203,500	746,828	1,355,482	23,093,624	24,449,106	14,151,582
将来入金予定の償還補助金の額								
差	引							

(注) 1. 「うち国庫補助金等の額」については、設備資金元金償還補助金がある場合には、償還補助総額を記載した上で、国庫補助金扶助計算を行うものとする。ただし、「将来入金予定の償還補助金の額」欄では、「明細帳簿価額」のうち国庫補助金等の額は「実際」に補助金を受けた場合に「当期中間」のうち国庫補助金等の額を「表示」することにより、「差引」欄の「期末帳簿価額」のうち国庫補助金等の額が貸借対照表上の国庫補助金等特別積立金取崩と一致することが確認できる。

2. 「当期中間」には減価償却除前の増加額、「当期中間」には当期中間償却額を控除した減少額を記載する。

法人名	社会福祉法人聖徳会
所在地	兵庫県神戸市
拠点区分	本部、支店

光彩の会事業活動明細書

(目 今 和 2 年 4 月 1 日 至 令 和 3 年 3 月 31 日)

(単位：円)

字 レ ス 活 動 増 減 の 相 用	勘定科目	本部合計	なまやまやま	ナルマ	ナルマ	ナルマ	東 部 市 業 務 工 務	ア ー ン ン ン の 人 工 費	社 会 支 援 費 等 (2 万 円)	ゆ め こ 工 程	合 計	対 照 勘 定 科 目	
													サマニ
収益	慶安堂事業収益												
	独立支援給付費収益												
	知田青負掛金収益												
	植足給付費収益												
	その他の事業収益												
	経常経費等附加収益	548,000	100,000	110,000			149,000	100,000			1,107,000		1,107,000
	サマニ又活動収益計(1)	548,000	44,801,413	12,985,345	12,827,905	11,938,677	45,885,529	29,249,812	3,834,898	5,500,000	167,571,579		167,571,579
費用	人件費		36,724,796	6,292,123	6,610,213	5,397,701	36,626,512	18,989,267	3,337,115	5,139,084	119,116,811		119,116,811
	職員給料		18,837,559	2,467,836	2,840,876	2,612,236	19,339,046	10,477,356	2,077,354	2,416,920	61,069,183		61,069,183
	職員賞与		5,355,422	540,891	845,649	550,141	5,887,010	3,276,736	675,140	785,499	17,916,488		17,916,488
	職員旅費		3,789,740	339,536	406,531	420,000	3,279,225	1,431,120	480,121	307,063	10,433,336		10,433,336
	非常勤職員給与		2,992,110	2,308,392	1,794,279	1,284,750	2,668,255	1,229,475	80,000	1,053,828	13,411,089		13,411,089
	退職給付費用		976,559	114,018	124,792	116,307	1,037,006	474,887	44,500	44,500	2,932,569		2,932,569
	法定福利費		4,779,406	521,450	588,086	414,267	4,415,970	2,099,693	531,274	13,354,146		13,354,146	
	事業費	27,044	1,514,056	1,697,819	1,970,847	2,179,315	2,231,844	1,414,355	254,978	44,774	11,335,032		11,335,032
	給食費		6,153	668,400	930,071	486,617	164,565	83,958	14,312	2,091,241		2,091,241	
	保健衛生費		60,840	49,935	21,124	6,862	173,534	19,260	365,488	401,596	401,596		401,596
	教養娯楽費	2,844	36,099	13,000	58,444	53,200	124,385	96,923	40,446	9,107	365,488		365,488
	日用品費		12,371	57,464	135,331	51,965	842,657	475,134	798	798	519,683		519,683
	水道光熱費		842,657	429,580	728,796	659,136	842,657	671,668	200,220	34,869	3,977,960		3,977,960
	消耗器具備品費	24,200	384,119	412,123	29,764	854,218	471,981	671,668	200,220	3,083,162		3,083,162	
	旅費交通費		104,500				387,406			491,906			491,906
	雑費		67,317	67,317	67,317	67,317	67,316	67,412		403,996			403,996
	事務費	5,190,048	5,390,595	4,966,663	4,213,485	4,314,422	4,406,090	4,280,723	242,819	316,142	28,849,987		28,849,987
	福利厚生費	17,840	286,822	64,230	49,805	49,164	297,913	135,694	4,500	37,020	932,988		932,988
	旅費	16,370	234,374	15,440			170,865	8,380	59,750	51,570	556,749		556,749
	研修研究費		109,541				16,600		4,000		130,141		130,141
	事務消耗品費	29,807	75,778	73,655	74,835	55,242	221,013	50,000	32,032	62,700	675,062		675,062
	印刷製本費	91,427	234,368	223,593	218,643	156,482	278,173	134,799	71,107	1,408,592		1,408,592	
	修繕費			165,460	122,210	31,025	909	58,800			378,395		378,395

サービス区分間貸付金(借入金)残高明細書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人 光彩の会

拠点区分 光彩の会

(単位:円)

貸付サービス区分名	借入サービス区分名	金額	使用目的等
本部会計	グループホーム賀陽	66,603	運転資金
なごやか	朱雀工房	3,250,030	運転資金
なごやか	かわん工房	1,256,770	運転資金
なごやか	グループホーム賀陽	2,653,867	運転資金
合計		7,227,270	

就労支援事業明細書（多機能型事業所等用）

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

(単位：円)

社会福祉法人 光彩の会
拠点区分 光彩の会

勘定科目	合計	就労移行支援						就労継続支援B型						就労継続支援D型					
		小計		清掃事業	所内事業	小計		喫茶事業	所内事業	小計		配食事業	喫茶事業	清掃事業	所内事業				
		小計	小計			小計	小計												
I 材料費																			
1 期首材料棚卸高	41,846	7,852		7,852	15,458	5,860	9,598	18,536	18,536										
2 当期材料仕入高	1,322,471	135,218		135,218	409,259	243,993	165,266	777,994	757,450										
3 期末材料棚卸高	1,364,317	143,070		143,070	424,717	249,853	174,864	796,530	775,986										
計	23,310	7,675		7,675	10,275	2,600	7,675	5,360	5,360										
当期材料費	1,341,007	135,395		135,395	414,442	247,253	167,189	791,170	770,626										
II 労務費																			
1 利用者工賃	5,359,010	1,526,895		1,526,895	494,713	214,587	1,298,272	2,319,256	469,182										
当期労務費	5,359,010	1,526,895		1,526,895	494,713	214,587	1,298,272	2,319,256	469,182										
III 外注加工費																			
当期外注加工費	-	-		-	-	-	-	-	-										
IV 経費																			
1 福利厚生費	15,120	7,560		7,560	7,560		7,560	115,500	11,252										
2 旅費交通費	320	320		320	-			13,447	300,000										
3 器具什器費	115,500	-		-	-			11,252	300,000										
4 消耗品費	29,837	3,929		3,929	12,461	12,461		50,000	220										
5 印刷製本費	-	-		-	-			-	50,000										
6 水道光熱費	300,000	-		-	-			-	50,000										
7 燃料費	-	-		-	-			-	396,972										
8 修繕費	-	-		-	-			-	50,000										
9 通信運搬費	4,220	1,454		1,454	1,996	220	1,776	770	220										
10 租税公課	243,800	66,700		66,700	55,300	30,500	44,800	121,800	35,500										
11 損害保険料	-	-		-	-			-	50,000										
12 賃借料	192,560	71,280		71,280	21,280	5,600	71,280	50,000	50,000										
13 雑費	6,040	440		440	5,600	5,600		-	50,000										
当期経費	907,397	151,683		151,683	134,197	28,781	125,416	601,517	396,972										
当期就労支援総事業費	7,607,414	1,813,973		1,813,973	520,542	1,293,431	2,081,498	3,711,943	1,636,780										
期首仕掛品棚卸高	-	-		-	-		-	-	-										
期末仕掛品棚卸高	7,607,414	1,813,973		1,813,973	520,542	1,293,431	2,081,498	3,711,943	1,636,780										
当期就労支援事業費	7,607,414	1,813,973		1,813,973	520,542	1,293,431	2,081,498	3,711,943	1,636,780										

拠点区分 西山高原工作所

令和2年度

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

法人名	社会福祉法人京都共済会
施設名	西山高原工作所
所在地	西山高原工作所

西山高原工作所資金収支計算書

(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

(単位:円) 1頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	4,200,000	4,501,626	△301,626	
	就労支援事業収入	4,200,000	4,501,626	△301,626	
	障害福祉サービス等事業収入	24,700,000	25,728,581	△1,028,581	
	自立支援給付費収入	23,900,000	24,878,805	△978,805	
	利用者負担金収入		42,472	△42,472	
	その他の事業収入	800,000	807,304	△7,304	
	通常経費寄附金収入	120,000	120,000		
	その他の収入	30,000	14,000	16,000	
	受入研修費収入	30,000	14,000	16,000	
	事業活動収入計(1)	29,050,000	30,364,207	△1,314,207	
支出	人件費支出	20,900,000	21,079,964	△179,964	
	職員給料支出	11,300,000	11,282,196	17,804	
	職員賞与支出	3,400,000	3,364,828	35,172	
	職員諸手当支出	2,100,000	2,080,131	19,869	
	非常勤職員給与支出	1,100,000	990,240	109,760	
	退職給付支出	500,000	484,322	15,678	
	法定福利費支出	2,500,000	2,878,247	△378,247	
	事業費支出	1,500,000	1,891,916	△391,916	
	保健衛生費支出	10,000	58,778	△48,778	
	教育標準費支出	100,000	56,390	43,610	
日用品費支出		12,863	△12,863		
水道光熱費支出	370,000	538,509	△168,509		
消耗器具備品費支出	500,000	704,934	△204,934		
教育指導費支出	300,000	282,000	18,000		
車両運搬費支出	220,000	238,442	△18,442		
事務費支出	5,360,000	5,815,778	△455,778		
福利厚生費支出	150,000	210,264	△60,264		
旅費交通費支出	30,000	4,040	25,960		
研修研究費支出	40,000	23,720	16,280		
事務消耗品費支出	130,000	191,566	△61,566		
印刷製本費支出	300,000	421,451	△121,451		
修繕費支出	200,000	167,683	32,317		
通信運搬費支出	150,000	289,020	△139,020		
広告費支出		5,000	△5,000		
業務委託費支出	100,000	55,000	45,000		
手数料支出	10,000	5,348	4,652		
保険料支出	40,000	73,810	△33,810		
賃借料支出	1,000,000	1,158,845	△158,845		
土地・建物賃借料支出	3,050,000	3,080,004	△30,004		
租税公課支出	10,000	21,500	△11,500		
保守料支出	50,000	26,927	23,073		
諸会費支出	70,000	59,000	11,000		
雑支出	30,000	22,600	7,400		
就労支援事業支出	4,600,000	4,633,298	△33,298		
就労支援事業元原価支出	4,600,000	4,633,298	△33,298		
	事業活動支出計(2)	32,360,000	33,420,956	△1,060,956	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△3,310,000	△3,056,749	△253,251	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	固定資産取得支出		203,500	△203,500	
	器具及び備品取得支出		203,500	△203,500	
	施設整備等支出計(5)		203,500	△203,500	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△203,500	203,500	
その他	収入				
	その他の活動収入計(7)				
支出					

西山高原工作所資金収支計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位:円) 2頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
の活動による収支	出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
	子関係支出(10)	△3,310,000		△3,310,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△3,260,249	3,260,249	
	前期末支払資金残高(12)		△4,871,820	4,871,820	
	当期末支払資金残高(13)=(12)		△8,132,069	8,132,069	

西山高原工作所事業活動計算書

(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

(単位：円) 1頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備考	
サービス活動増減の部	収 就労支援事業収益	4,501,626	6,076,828	△1,575,202	74.08%		
	収 就労支援事業収益	4,501,626	6,076,828	△1,575,202	74.08%		
	障害福祉サービス等事業収益	25,728,581	20,718,955	5,009,626	124.18%		
	自立支援給付費収益	24,878,805	20,602,443	4,276,362	120.76%		
	利用者負担金収益	42,472	116,512	△74,040	36.45%		
	その他の事業収益	807,304		807,304			
	経常経費寄附金収益	120,000	20,000	100,000	600.00%		
	サービス活動収益計(1)	30,350,207	26,815,783	3,534,424	113.18%		
	費用	人件費	21,079,964	20,488,271	591,693	102.89%	
	職員給料	11,282,196	11,101,052	181,144	101.63%		
職員賞与	3,364,828	3,429,667	△64,839	98.11%			
職員諸手当	2,080,131	2,027,216	52,915	102.61%			
非常勤職員給与	990,240	973,285	16,955	101.74%			
退職給付費用	484,322	526,492	△42,170	91.99%			
法定福利費	2,878,247	2,430,559	447,688	118.42%			
事業費	1,891,916	1,097,301	794,615	172.42%			
保健衛生費	58,778	2,178	56,600	2698.71%			
教養娯楽費	56,390	138,331	△81,941	40.76%			
日用品費	12,863	18,789	△5,926	68.46%			
水道光熱費	538,509	363,793	174,716	148.03%			
消耗器具備品費	704,934	148,544	556,390	474.56%			
教育指導費	282,000	301,000	△19,000	93.69%			
車輿関係費	238,442	124,666	113,776	191.26%			
事務費	5,815,778	5,154,845	660,933	112.82%			
福利厚生費	210,264	141,860	68,404	148.22%			
旅費交通費	4,040	66,050	△62,010	6.12%			
研修研究費	23,720	72,883	△49,163	32.55%			
事務消耗品費	191,566	75,832	115,734	252.62%			
印刷製本費	421,451	304,046	117,405	138.61%			
感摺費	167,683	150,000	17,683	111.79%			
通信運搬費	289,020	130,676	158,344	221.17%			
広報費	5,000		5,000				
業務委託費	55,000		55,000				
手数料	5,348	7,838	△2,490	68.23%			
保険料	73,810	37,456	36,354	197.06%			
賃借料	1,158,845	992,328	166,517	116.78%			
土地・建物賃借料	3,080,004	3,047,983	32,021	101.05%			
租税公課	21,500	4,667	16,833	460.68%			
保守料	26,927	61,037	△34,110	44.12%			
議会費	59,000	47,000	12,000	125.53%			
雑費	22,600	15,189	7,411	148.79%			
就労支援事業費用	4,738,018	6,093,190	△1,355,172	77.76%			
就労支援事業販売原価	4,738,018	6,093,190	△1,355,172	77.76%			
減価償却費	13,566		13,566				
国庫補助金等特別積立金取崩額	△13,566		△13,566				
サービス活動費用計(2)	33,525,676	32,833,607	692,069	102.11%			
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△3,175,469	△6,017,824	2,842,355	52.77%			
サービス	収 その他のサービス活動外収益	14,000	187,000	△173,000	7.49%		
	収 受入研修費収益	14,000	126,000	△112,000	11.11%		
	雑収益		61,000	△61,000	0.00%		

西山高原工作所事業活動計算書

(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

(単位：円) 2頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備考
活動外増減の部	サービス活動外収益計(4)	14,000	187,000	△173,000	7.49%	
	費用					
	サービス活動外費用計(5)					
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	14,000	187,000	△173,000	7.49%	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△3,161,469	△5,830,824	2,669,355	54.22%	
特別増減の部	収益					
	特別収益計(8)					
	費用					
	国庫補助金等特別積立金積立額	203,500		203,500		
	特別費用計(9)	203,500		203,500		
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△203,500		△203,500		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△3,364,969	△5,830,824	2,465,855	57.71%	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	△3,741,349	2,089,475	△5,830,824	△179.06%	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△7,106,318	△3,741,349	△3,364,969	189.94%	
活動増減差額の部	基本金取崩額(14)					
	その他の積立金取崩額(15)					
	その他の積立金取崩部					
	工賃変動積立金取崩額					
	長期預り金積立資産取崩額					
	その他の積立金積立額(16)					
	その他の積立金積立額					
	施設整備等積立額					
	工賃変動便益金積立額					
当期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)		△7,106,318	△3,741,349	△3,364,969	189.94%	

法人名	社会福祉法人京都華僑の家
施設名	西山高原工作所
拠点区分	西山高原工作所

西山高原工作所貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円) 1頁

勘定科目	資産の部			増減	勘定科目	負債の部			増減
	当年度末	前年度末	増減			当年度末	前年度末	増減	
流動資産	7,795,420	7,515,517	279,903	流動負債	15,901,759	12,256,887	3,644,872		
現金預金	1,876,763	2,771,234	△894,471	事業未収金	37,254		37,254		
事業未収金	5,593,800	4,314,706	1,279,094	預り金	28,632	28,166	466		
原材料	25,730	130,450	△104,720	拠点区分間借入金	15,835,873	12,228,721	3,607,152		
前払金	299,127	299,127							
固定資産	1,189,955	1,000,021	189,934	負債の部合計	15,901,759	12,256,887	3,644,872		
その他の固定資産	1,189,955	1,000,021	189,934						
建物	1	1		純資産の部	189,934		189,934		
機械及び装置	10	10		留保推助金等特別積立金	△7,106,318	△3,741,349	△3,364,969		
器具及び備品	189,944	10	189,934	次期繰越活動増減差額	△3,364,969	△5,830,824	2,465,855		
その他の固定資産	1,000,000	1,000,000		(うち当期活動増減差額)	△6,916,384	△3,741,349	△3,175,035		
				純資産の部合計	8,985,375	8,515,538	469,837		
資産の部合計	8,985,375	8,515,538	469,837	負債及び純資産の部合計	8,985,375	8,515,538	469,837		

計算書類に対する注記（西山高原工作所拠点区分用）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物、機械及び装置、車両運搬具並びに器具及び備品等は定額法による。

リース資産 該当なし

(3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金は、一般財団法人京都府民間社会福祉施設職員共済会から京都社会福祉事業企業年金基金に移行しているため、計上していない。
- ・賞与引当金は重要性に乏しいため、計上していない。
- ・徴収不能引当金は計上していない。

2. 採用する退職給付制度

- ・京都社会福祉事業企業年金基金の退職金制度
- ・独立行政法人福祉医療機構が定める社会福祉施設職員等退職手当共済制度

3. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 光彩の会拠点区分計算書類

第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式

(2) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙4）

サービス区分はない。

(3) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3）は省略している。

4. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

5. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	968,562	968,561	1
機械及び装置	10,704,005	10,703,995	10
車輛運搬具	0	0	0
器具及び備品	2,548,790	2,358,846	189,944
合計	14,221,357	14,031,402	189,955

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	5,593,800	0	5,593,800
未収金	0	0	0
未収補助金	0	0	0
合計	5,593,800	0	5,593,800

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

期末時点で満期保有目的の債権は保有していない。

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を

明らかにするために必要な事項

該当なし

基本財産及びその他の固定資産(有形・無形固定資産)の明細書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

社会福祉法人 京都光彩の会
拠点区分 西山高原工作所

資産の種類及び名称	期首帳簿価額(A)	当期増加額(B)	当期減価償却額(C)	当期減少額(D)	期末帳簿価額 (E=A+B-C-D)	減価償却累計額(F)	期末取得原価(G=E+F)	備考
基本財産(有形固定資産)								
土地								
建物								
基本財産合計								
その他の固定資産(有形固定資産)								
土地								
建物								
機械及び装置	10				10	968,561	968,000	968,000
運搬車両						10,703,995	9,101,645	10,704,006
器具及び備品	10	203,500	203,500		189,944	189,984	2,388,846	783,566
その他の固定資産(有形固定資産)計	21	203,500	203,500		189,955	189,984	14,031,402	10,885,211
その他の固定資産(無形固定資産)								
その他の固定資産(無形固定資産)計								
基本財産及びその他の固定資産計	21	203,500	203,500		189,955	189,984	14,031,402	10,885,211
将来入金予定の償還補助金の繰 差 引								

(注) 1. 「うち国庫補助金等の額」については、償還資金元金償還補助金がある場合には、償還補助金額を記載した上で、国庫補助金額計算を行うものとする。
ただし、「将来入金予定の償還補助金の繰差引」欄では、「期首帳簿価額」のうち「国庫補助金等の額」は「マイナス」表示し、実際に補助金を受けた場合に「当期増加額」のうち「国庫補助金等の額」を「プラス」表示する。とにより、「差引」欄の「期末取得原価」の「うち国庫補助金等の額」が貸借対照表上の国庫補助金等特別積立金効果と一致することが確認できる。
2. 「当期増加額」には減価償却控除額の増加額、「当期減少額」には当期減価償却額を控除した減少額を記載する。

就労支援事業明細書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人 光彩の会

拠点区分 西山高原工作所

(単位：円)

勘定科目	合計	印刷事業	縫製事業	請負事業	独自製品事業
I 材料費					
1 期首材料棚卸高	130,450	102,300	10,500	4,150	13,500
2 当期材料仕入高	749,275	676,888	63,465	500	8,422
計	879,725	779,188	73,965	4,650	21,922
3 期末材料棚卸高	25,730	7,530	3,580	4,320	10,300
当期材料費	853,995	771,658	70,385	330	11,622
II 労務費					
1 利用者工賃	2,143,189	1,374,212	384,795	263,978	120,204
当期労務費	2,143,189	1,374,212	384,795	263,978	120,204
III 外注加工費					
当期外注加工費	631,400	631,400	-		
IV 経費					
1 福利厚生費	-				
2 旅費交通費	300			300	
3 器具什器費	-				
4 消耗品費	8,781	990		2,665	5,126
5 印刷製本費	217,157	217,157			
6 水道光熱費	-				
7 燃料費	-				
8 修繕費	-				
9 通信運搬費	399,764	399,104	660		
10 租税公課	121,300	94,300	11,000	12,600	3,400
11 損害保険料	-				
12 賃借料	362,132	362,132			
13 雑費	-				
当期経費	1,109,434	1,073,683	11,660	15,565	8,526
当期就労支援総事業費	4,738,018	3,850,953	466,840	279,873	140,352
期首仕掛品棚卸高	-				
合計	4,738,018	3,850,953	466,840	279,873	140,352
期末仕掛品棚卸高	-				
当期就労支援事業費	4,738,018	3,850,953	466,840	279,873	140,352

就労支援事業別事業活動明細書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人 光彩の会

拠点区分 西山高原工作所

(単位：円)

勘定科目	合計	印刷事業	縫製事業	請負事業	独自製品事業
収益					
就労支援事業収益	4,501,626	3,684,908	408,115	279,873	128,730
就労支援事業活動収益計	4,501,626	3,684,908	408,115	279,873	128,730
就労支援事業経費原価	-				
原価製品(商品)原価					
当期就労支援事業製造原価	4,738,018	3,850,953	466,840	279,873	140,352
当期就労支援事業仕入高	-				
合計	4,738,018	3,850,953	466,840	279,873	140,352
期末製品(商品)棚卸高					
差引	4,738,018	3,850,953	466,840	279,873	140,352
就労支援事業経管費	-				
就労支援事業活動費用計	4,738,018	3,850,953	466,840	279,873	140,352
就労支援事業活動増減差額	-236,392	-166,045	-58,725	-	-11,622

財 産 目 録

別紙4

社会福祉法人 京都光彩の会

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有価	-	運転資金として	-	-	49,684
普通預金	京都中央信用金庫	-	運転資金として	-	-	13,998,372
普通預金						
小 計						14,048,056
事業未収金			訓練給付費他			49,811,837
未収補助金			市補助金			0
前払金			グループホーム家賃等			1,911,147
商品・原材料			商品・原材料			49,040
徴収不能引当金						0
流動資産合計						65,820,080
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地						0
建物						0
定期預金	定期預金京都中央信用金庫					1,000,000
基本財産合計						1,000,000
(2) その他の固定資産						
土地						0
建物	火災損害賠償等		施設整備のため	8,145,299	7,461,505	683,794
構築物				0	0	0
機械及び装置	パソコン等		施設整備のため	17,088,135	17,088,110	25
車輜運搬具	バイク等		業務補助のため	1,424,610	1,424,607	3
器具及び備品	エアコン等		施設整備のため	10,223,939	9,578,360	645,579
ソフトウェア	相談支援ソフト		業務補助のため	1,788,480	1,572,444	216,036
退職給付資産						
施設積立資産	定期預金京都中央信用金庫					
他の固定資産	敷金・保証金					2,200,000
その他の固定資産合計						3,745,437
固定資産合計						4,745,437
資産合計						70,565,517
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分社会保険料他					83,754
他未払金						0
預り金	3月分源泉所得税他					973,955
賞与引当金						0
前受金	利用料等前受金					161,500
流動負債合計						1,219,209
2 固定負債						
設備資金借入金						0
退職給付引当金						0
他の固定負債						0
固定負債合計						0
負債合計						1,219,209
差引純資産						69,346,308

決 算 報 告 書

令和2年度

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

京都市指定管理事業所

京都市中部障害者地域生活支援センター

「なごやか」

社会福祉法人 京都光彩の会

(社会福祉法人 新会計基準に拠る会計処理)

支援センター資金収支計算書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位:円) 1頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	障害福祉サービス等事業収入	47,130,000	44,701,413	2,428,587	
	自立支援給付費収入	10,000,000	8,859,107	1,140,893	
	地域相談支援給付費収入	1,500,000	718,736	781,264	
	計画相談支援給付費収入	8,500,000	8,140,371	359,629	
	その他の事業収入	37,130,000	35,842,306	1,287,694	
	補助金事業収入	30,000	47,000	△17,000	
	受託事業収入	37,100,000	35,795,306	1,304,694	
	経常経費等附金収入	100,000	100,000		
	その他の収入	40,000	35,500	4,500	
受入研修費収入	40,000	35,500	4,500		
事業活動収入計(1)		47,270,000	44,836,913	2,433,087	
事業活動による支出	支出				
	人件費支出	37,750,000	36,724,796	1,025,204	
	職員給料支出	19,500,000	18,837,559	662,441	
	職員賞与支出	5,400,000	5,355,422	44,578	
	職員諸手当支出	3,900,000	3,789,740	110,260	
	非常勤職員給与支出	3,100,000	2,992,110	107,890	
	退職給付支出	1,100,000	976,559	123,441	
	法定福利費支出	4,750,000	4,773,406	△23,406	
	事業費支出	2,030,000	1,514,056	515,944	
	給食費支出		6,153	△6,153	
	保健衛生費支出		60,840	△60,840	
	教養娯楽費支出	50,000	36,099	13,901	
	日用品費支出	80,000	12,371	67,629	
	水道光熱費支出	900,000	842,657	57,343	
	消耗器具用品費支出	300,000	384,119	△84,119	
	教育指導費支出	600,000	104,500	495,500	
	車輦関係費支出	100,000	67,317	32,683	
	事務費支出	5,280,000	5,390,595	△110,595	
	福利厚生費支出	250,000	286,822	△36,822	
	旅費交通費支出	250,000	234,374	15,626	
研修研究費支出	200,000	109,541	90,459		
事務消耗品費支出	200,000	75,778	124,222		
印刷製本費支出	450,000	234,368	215,632		
修繕費支出	50,000		50,000		
通信運搬費支出	600,000	382,408	217,592		
事務委託費支出	2,200,000	2,981,983	△781,983		
手数料支出	30,000	1,640	28,360		
保険料支出	150,000	58,018	91,982		
賃借料支出	700,000	880,908	△180,908		
租税公課支出	10,000		10,000		
保守料支出	30,000	26,603	3,397		
諸会費支出	150,000	118,152	31,848		
雑支出	10,000		10,000		
事業活動支出計(2)		45,060,000	43,629,447	1,430,553	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		2,210,000	1,207,466	1,002,534	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
施設整備等による支出	支出				
	施設整備等支出計(5)				
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					
その他の活動	収入				
	その他の活動収入計(7)				
その他の活動	支出				

支援センター資金収支計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位:円) 2頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
動による収支					
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
	予備費支出(10)	2,210,000		2,210,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		1,207,466	△1,207,466	
	前期末支払資金残高(12)		25,184,935	△25,184,935	
	当期末支払資金残高(11)+(12)		26,392,401	△26,392,401	

支援センター事業活動計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位:円) 1頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備 考
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収益					
	運営施設サービス等事業収益	44,701,413	43,880,069	821,344	101.87%	
	自立支援給付費収益	8,859,107	8,716,021	143,086	101.64%	
	地域相談支援給付費収益	718,736	1,013,765	△295,029	70.90%	
	計画相談支援給付費収益	8,140,371	7,702,256	438,115	105.69%	
	その他の事業収益	35,842,306	35,164,048	678,258	101.93%	
	補助金等受取収益	47,000		47,000		
	受託事業収益	35,795,306	34,916,188	879,118	102.52%	
	その他の事業収益		46,860	△46,860	0.00%	
	利用料収入		201,000	△201,000	0.00%	
経常経費高増収収益	100,000		100,000			
サービス活動収益計(1)	44,801,413	43,880,069	921,344	102.10%		
サ ー ビ ス 活 動	費用					
	人件費	36,724,796	34,732,098	1,992,698	105.74%	
	職員給料	18,837,559	13,863,315	4,974,244	135.88%	
	職員賞与	5,355,422	5,439,520	△84,098	98.45%	
	職員手当	3,789,740	3,942,899	△153,159	96.12%	
	非常勤職員給与	2,992,110	5,973,442	△2,981,332	50.09%	
	退職給付費用	976,559	1,024,288	△47,729	95.34%	
	法定福利費	4,773,406	4,488,634	284,772	106.34%	
	事業費	1,514,056	1,765,444	△251,388	85.76%	
	炊食費	6,153	225,452	△219,299	2.73%	
	保健衛生費	60,840	3,696	57,144	1646.10%	
	教養娯楽費	36,099	16,005	20,094	225.55%	
	日用品費	12,371	3,219	9,152	384.31%	
	水道光熱費	842,657	894,550	△51,893	94.20%	
	消耗器具備品費	384,119	1,822	382,297	21082.27%	
	教育指導費	104,500	539,000	△434,500	19.39%	
	車輛関係費	67,317	81,700	△14,383	82.40%	
	事務費	5,390,595	4,815,693	574,902	111.94%	
	福利厚生費	286,822	197,968	88,854	144.88%	
	旅費交通費	234,374	250,120	△15,746	93.70%	
	研修研究費	109,541	240,371	△130,830	45.57%	
	事務消耗品費	75,778	192,383	△116,605	39.39%	
	印刷製本費	234,368	489,650	△255,282	47.86%	
	通信運搬費	382,408	434,387	△51,979	88.03%	
	業務委託費	2,981,983	1,861,347	1,120,636	160.21%	
	手数料	1,640	4,364	△2,724	37.58%	
	保険料	58,018	136,464	△78,446	42.52%	
貸借料	880,908	823,012	57,896	107.03%		
租税公課		5,800	△5,800	0.00%		
保守料	26,603	26,305	298	101.13%		
諸会費	118,152	138,000	△19,848	85.62%		
雑費		15,522	△15,522	0.00%		
減価償却費	30,671	81,972	△51,301	37.42%		
サービス活動費用計(2)	43,660,118	41,395,207	2,264,911	105.47%		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,141,295	2,484,862	△1,343,567	45.93%		
サ ー ビ ス 活 動	収益					
	その他のサービス活動外収益	35,500	64,000	△28,500	55.47%	
	没入研修費収益	35,500	64,000	△28,500	55.47%	

支援センター事業活動計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位:円) 2頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備考
外 増 減 の 部	サービス活動外収益計(4)	35,500	64,000	△28,500	55.47%	
	費用					
	サービス活動外費用計(5)					
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	35,500	64,000	△28,500	55.47%	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,176,795	2,548,862	△1,372,067	46.17%	
特 別 増 減 の 部	収益					
	特別収益計(8)					
	費用					
	特別費用計(9)					
	特別増減差額(10)=(8)-(9)					
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	1,176,795	2,548,862	△1,372,067	46.17%	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	25,215,614	22,666,752	2,548,862	111.24%	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	26,392,409	25,215,614	1,176,795	104.67%	
	基本金取崩額(14)					
	その他の積立金取崩額(15)					
	その他の積立金取崩額 に資する積立金取崩額 長期預り金積立資産取崩額					
その他の積立金積立額(16)						
その他の積立金積立額 施設整備等積立額 工費変動積立金積立額						
	繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	26,392,409	25,215,614	1,176,795	104.67%	

法人名	社会福祉法人 北都基福会
施設名	地域生活支援センター「なごみ」(中野区)
〒	165-8502 東京都中野区

支援センター貸借対照表

(令和 3年 5月 31日現在)

(単位：円) 1頁

勘定科目	資産の部			増減	勘定科目	負債の部			増減
	当年度末	前年度末	増減			当年度末	前年度末	増減	
流動資産	26,450,134	25,334,787	1,115,347	流動負債	57,733	149,852	△92,119		
現金預金	1,700,419	2,854,772	△1,154,353	事業未収金	57,733	94,453	△94,453		
事業未収金	10,820,154	7,176,220	3,643,934	預り金		55,399	2,334		
前払金	100,840	400,840	△300,000						
拠点区分間貸付金	13,828,721	12,228,721	1,600,000						
ポイント区分間貸付金		2,674,234	△2,674,234	負債の部合計	57,733	149,852	△92,119		
固定資産		30,679	△30,679						
その他の固定資産	8	30,679	△30,679	純資産の部					
機械及び装置	1	30,672	△30,671	長期繰越活動増減差額	26,392,409	25,215,614	1,176,795		
器具及び備品	7	7	△30,671	(うち当期活動増減等類)	1,176,795	2,548,862	△1,372,067		
				純資産の部合計	26,392,409	25,215,614	1,176,795		
資産の部合計	26,450,142	25,365,466	1,084,676	負債及び純資産の部合計	26,450,142	25,365,466	1,084,676		

委託金事業等収益明細書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人京都光彩の会

(単位：円)

交付団体及び交付の目的	区分	交付金額	交付金額等合計の事業所ごとの内訳	
			京都市朱雀工房	地域生活支援センター 「なごやか」
支援センター運営事業 委託料	障害事業	31,065,647		31,065,647
京都市地域移行支援事業 運営委託料		3,715,800		3,715,800
京都市こころのふれあい 交流サロン運営委託料(実績分)		1,013,859		1,013,859
区分小計		35,795,306	-	35,795,306
	施設			
区分小計			-	-
区分小計		-	-	-
合 計		35,795,306	0	35,795,306

財 産 目 録

別紙4

地域生活支援センター「なごやか」

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許貯蓄	-	運転資金として	-	-	13,950
普通預金	京都中央信用金庫	-	運転資金として	-	-	1,686,469
普通預金		-		-	-	
	小 計					1,700,419
事業未収金		-	訓練給付費他	-	-	10,820,154
未収補助金		-	市補助金	-	-	0
前払金		-	施設保険料	-	-	100,840
帰属区分間貸付金		-	運転資金として	-	-	0
その他区分間貸付金		-	運転資金として	-	-	13,828,721
流動資産合計						26,450,134
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地		-		-	-	0
建物		-		-	-	0
定期預金	定期預金京都中央信用金庫	-		-	-	0
基本財産合計						0
(2) その他の固定資産						
土地		-		-	-	0
建物		-		-	-	0
構築物		-		0	0	0
機械及び装置	パソコン等	-	施設整備のため	153,360	153,369	1
車両運搬具		-		-	-	0
器具及び備品	エアコン等	-	施設整備のため	1,768,319	1,768,312	7
ソフトウェア	相談支援ソフト	-	業務補助のため	1,026,000	1,026,000	0
退職給付資産		-		-	-	0
施設積立資産	定期預金京都中央信用金庫	-		-	-	0
他の固定資産	敷金・保証金	-		-	-	0
その他の固定資産合計						8
固定資産合計						8
資産合計						26,450,142
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分社会保険料他	-		-	-	0
他未払金		-		-	-	0
預り金	3月分源泉所得税他	-		-	-	57,733
前受金	利用料等前受金	-		-	-	0
その他区分間借入金	事業運営費等	-		-	-	0
流動負債合計						57,733
2 固定負債						
設備資金借入金		-		-	-	0
退職給付引当金		-		-	-	0
他の固定負債		-		-	-	0
固定負債合計						0
負債合計						57,733
差引純資産						26,392,409

決 算 報 告 書

令和2年度

自：令和2年4月1日

至：令和3年3月31日

京都市指定管理事業所

就労移行・就労継続支援B型事業所

京都市朱雀工房

社会福祉法人 京都光彩の会

(社会福祉法人 新会計基準に拠る会計処理)

朱雀工房資金収支計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位：円) 1頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	3,700,000	3,741,028	△41,028	
	就労支援事業収入	3,700,000	3,741,028	△41,028	
	障害福祉サービス等事業収入	40,770,000	41,995,501	△1,225,501	
	自立支援給付金収入	39,900,000	40,324,012	△424,012	
	利用者負担金収入	100,000	78,881	21,119	
	その他の事業収入	770,000	1,592,608	△822,608	
	経常経費寄附金収入	100,000	149,000	△49,000	
	その他の収入	200,000	127,500	72,500	
	受入研修費収入	200,000	127,500	72,500	
	事業活動収入計(1)	44,770,000	46,013,029	△1,243,029	
	支出				
	人件費支出	35,800,000	36,626,512	△826,512	
職員給料支出	19,200,000	19,339,046	△139,046		
職員賞与支出	5,800,000	5,887,010	△87,010		
職員諸手当支出	3,500,000	3,279,225	220,775		
非常勤職員給与支出	2,000,000	2,668,255	△668,255		
退職給付支出	1,000,000	1,037,006	△37,006		
法定福利費支出	4,300,000	4,415,970	△115,970		
事業費支出	2,320,000	2,231,844	88,156		
保健衛生費支出	60,000	164,565	△104,565		
教養娯楽費支出	250,000	173,534	76,466		
日用品費支出	130,000	124,385	5,615		
水道光熱費支出	900,000	842,657	57,343		
消耗器具備品費支出	450,000	471,981	△21,981		
教育指導費支出	380,000	387,406	△7,406		
車輦関係費支出	150,000	67,316	82,684		
事務費支出	3,530,000	4,406,090	△876,090		
福利厚生費支出	250,000	297,913	△47,913		
旅費交通費支出	150,000	170,865	△20,865		
研修研究費支出	70,000	16,600	53,400		
事務消耗品費支出	250,000	221,013	28,987		
印刷製本費支出	350,000	278,173	71,827		
修繕費支出		900	△900		
通信運搬費支出	450,000	608,596	△158,596		
業務委託費支出	800,000	1,086,983	△286,983		
手数料支出	130,000	198,410	△68,410		
保険料支出	130,000	183,080	△53,080		
賃借料支出	600,000	1,099,502	△499,502		
租税公課支出	250,000	114,800	135,200		
保守料支出		26,603	△26,603		
雑費支出	100,000	90,652	9,348		
雑支出		12,000	△12,000		
就労支援事業支出	3,860,000	3,890,111	△30,111		
就労支援事業販原価支出	3,860,000	3,890,111	△30,111		
事業活動支出計(2)	45,510,000	47,154,557	△1,644,557		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△740,000	△1,141,528	401,528		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活	収入				
	その他の活動による収入		3,257,040	△3,257,040	
	その他の活動による収入		3,257,040	△3,257,040	
支出					
その他の活動収入計(7)		3,257,040	△3,257,040		

朱雀工房資金収支計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位:円) 2頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
動 に よ る 収 支					
	その他の活動支出計(6)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			3,257,040	△3,257,040
	予備費支出(10)	△740,000		△740,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(8)+(9)-(10)		2,115,512	△2,115,512	
	前期末支払資金残高(12)		5,597,485	△5,597,485	
	当期末支払資金残高(13)=(12)		7,712,997	△7,712,997	

法人名	社会福祉法人朱雀工務局
施設名	京都府朱雀工場
サービス種別	福祉サービス

朱雀工房事業活動計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日)

(単位：円) 1頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備考
サービス活動増減の部	収益					
	就労支援事業収益	3,741,028	4,152,147	△411,119	90.10%	
	就労支援事業収益	3,741,028	4,152,147	△411,119	90.10%	
	障害福祉サービス等事業収益	41,995,501	32,796,887	9,198,614	128.05%	
	自立支援給付費収益	40,324,012	32,030,345	8,293,667	125.89%	
	利用者負担金収益	78,881	106,542	△27,661	74.04%	
	その他の事業収益	1,592,608	660,000	932,608	241.30%	
	経常経費等附金収益	149,000	30,000	119,000	496.67%	
	サービス活動収益計(1)	45,885,529	36,979,034	8,906,495	124.09%	
	費用					
人件費	36,626,512	34,342,038	2,284,474	106.65%		
職員給与	19,339,046	18,145,350	1,193,696	106.58%		
職員賞与	5,887,010	5,200,132	686,878	113.21%		
職員諸手当	3,279,225	3,769,703	△490,478	86.99%		
非常勤職員給与	2,668,255	1,460,759	1,207,496	182.66%		
退職給付費用	1,037,006	1,178,356	△141,350	88.00%		
法定福利費	4,415,970	4,587,738	△171,768	96.26%		
事業費	2,231,844	2,052,966	178,878	108.71%		
保健衛生費	164,565	40,310	124,255	408.25%		
娯楽娯楽費	173,534	307,068	△133,534	56.51%		
日用品費	124,385	151,645	△27,260	82.02%		
水道光熱費	842,657	894,550	△51,893	94.20%		
消耗品費	471,981	134,880	337,101	349.93%		
教育指導費	387,406	433,500	△46,094	89.37%		
車両関係費	67,316	91,013	△23,697	73.96%		
事務費	4,406,090	3,665,395	740,695	120.21%		
福利厚生費	297,913	250,110	47,803	119.11%		
旅費交通費	170,865	169,271	1,594	100.94%		
研修研究費	16,600	90,500	△73,900	18.34%		
事務消耗品費	221,013	83,106	137,907	265.94%		
印刷製本費	278,173	249,246	28,927	111.61%		
総務費	900	47,484	△46,584	1.90%		
通信運搬費	608,596	436,615	171,981	139.39%		
業務委託費	1,086,983	861,347	225,636	126.20%		
手数料	198,410	119,791	78,619	165.63%		
保険料	183,080	96,926	86,154	188.89%		
賃借料	1,099,502	735,612	363,890	149.47%		
租税公課	114,800	400,462	△285,662	28.67%		
保守料	26,603	26,305	298	101.13%		
請合費	90,652	87,500	3,152	103.60%		
雑費	12,000	11,120	880	107.91%		
就労支援事業費用	3,895,471	4,156,904	△261,433	93.71%		
就労支援事業販売原価	3,895,471	4,156,904	△261,433	93.71%		
減価償却費	329,616	329,616		100.00%		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△194,133	△194,133		100.00%		
サービス活動費用計(2)	47,295,400	44,352,786	2,942,614	106.63%		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△1,409,871	△7,373,752	5,963,881	19.12%		
サービス活動	収益					
	その他のサービス活動外収益	127,500	58,550	68,950	217.76%	
	受入研修費収益	127,500	44,600	82,900	285.87%	
雑収益		13,950	△13,950	0.00%		

朱雀工房事業活動計算書

(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位:円) 2頁

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備考
外 増 減 の 部	サービス活動外収益計(4)	127,500	58,550	68,950	217.76%	
	サービス活動外費用計(5)					
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	127,500	58,550	68,950	217.76%	
経常増減差額(7)=(2)-(3)+(6)		△1,282,371	△7,315,202	6,032,831	17.53%	
特 別 増 減 の 部	その他の特別収益	3,257,040		3,257,040		
	その他の特別収益	3,257,040		3,257,040		
	特別収益計(8)	3,257,040		3,257,040		
	特別費用計(9)					
特別増減差額(10)=(8)-(9)		3,257,040		3,257,040		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		1,974,669	△7,315,202	9,289,871	△26.99%	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	3,554,648	10,869,850	△7,315,202	32.70%	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	5,529,317	3,554,648	1,974,669	155.55%	
	基本金取崩額(14)					
	その他の積立金取崩額(15)					
	その他の積立金取崩額					
活 動 増 減 差 額 の 部	二債変動積立金取崩額					
	長期預り金積立資産取崩額					
	その他の積立金積立額(16)					
	その他の積立金積立額					
	施設整備等積立額					
工賃変動積立金積立額						
繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)		5,529,317	3,554,648	1,974,669	155.55%	

法人名	住友信託店入取振込の会
施設名	京都府生駒工業
〒	〒612 区生駒市生駒1-1

令和 3年 5月28日

朱雀工房貸借対照表

(令和 3年 5月31日現在)

(単位：円)

勘定科目	資産の部			増減	勘定科目	負債の部			増減
	当年度末	前年度末	増減			当年度末	前年度末	増減	
流動資産	11,044,063	11,090,658	△46,595	流動負債	3,313,116	5,469,863	△2,156,747		
現金預金	2,394,802	5,042,364	△2,647,562	預り金	63,086	61,096	1,990		
事業未収金	6,630,282	5,964,504	665,778	サービス区分借入金	3,250,030	5,408,767	△2,158,737		
商品・製品	15,350	17,450	△2,100						
原材料	2,600	5,860	△3,260						
前払金	60,480	60,480							
拠点区分間貸付金	1,940,549		1,940,549						
固定資産	1,481,726	1,811,342	△329,616	負債の部合計	3,313,116	5,469,863	△2,156,747		
基本財産	1,000,000	1,000,000							
定期預金	1,000,000	1,000,000		純資産の部					
その他の固定資産	481,726	811,342	△329,616	基本金	3,400,000	3,400,000			
機械及び装置	6	6		第一号基本金	3,400,000	3,400,000			
器具及び備品	265,684	442,804	△177,120	同事業別積立金	283,356	477,489	△194,133		
ソフトウェア	216,036	368,532	△152,496	次期繰越活動増減差額	5,529,317	3,554,648	1,974,669		
				(うち当期活動増減差額)	1,974,669	△7,315,202	9,289,871		
				純資産の部合計	9,212,673	7,432,137	1,780,536		
資産の部合計	12,525,789	12,902,000	△376,211	負債及び純資産の部合計	12,525,789	12,902,000	△376,211		

財 産 目 録

別紙4

京都市朱雀工房

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金千円号高	-	運転資金として	-	-	
普通預金	京都中央信用金庫	-	運転資金として	-	-	2,394,802
普通預金		-		-	-	
小 計						2,394,802
事業未収金		-	訓練給付費他	-	-	6,630,282
未収補助金		-	市補助金	-	-	0
前払金		-	施設保険料	-	-	60,480
商品・原材料		-	商品・原材料	-	-	17,950
繰越区分留保付金		-	運転資金として	-	-	1,940,549
流動資産合計						11,044,063
2 固定資産						
(1) 基本財産						
上地		-		-	-	0
建物		-		-	-	0
定期預金	定期預金京都中央信用金庫	-		-	-	1,000,000
基本財産合計						1,000,000
(2) その他の固定資産						
土地		-		-	-	0
建物		-		-	-	0
構築物		-		0	0	0
機械及び装置	パソコン等	-	施設整備のため	3,244,570	3,244,564	6
車両運搬具		-		-	-	
器具及び備品	エアコン等	-	施設整備のため	1,955,140	1,689,456	265,684
ソフトウェア	相談支援ソフト	-	業務補助のため	762,480	546,444	216,036
退職給付資産		-		-	-	
施設積立資産	定期預金京都中央信用金庫	-		-	-	
他の固定資産	敷金・保証金	-		-	-	
その他の固定資産合計						481,726
固定資産合計						1,481,726
資産合計						12,525,789
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分社会保険料他	-		-	-	0
借入金		-		-	-	0
預り金	3月分源泉所得税他	-		-	-	63,086
前受金	利用料等前受金	-		-	-	0
リース負債	事業運営費等	-		-	-	3,250,030
流動負債合計						3,313,116
2 固定負債						
設備資金借入金		-		-	-	0
退職給付引当金		-		-	-	0
他の固定負債		-		-	-	0
固定負債合計						0
負債合計						3,313,116
差引純資産						9,212,673